

518-101



1200501489670

518

101

添附物

附函

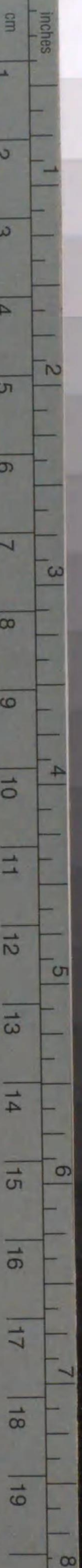
1枚

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



5.9.4

特別都市計畫委員會會議事速記錄

第十二號

復

興

局

正誤表

(重ナルモノ)

特別都市計畫委員會議事速記録第十二號

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一五	一〇	減免規定	減免規定	一五三	三	土壓ノ計畫	土壓ノ計算
二一	三	浸水ノ狀況	浸水ノ狀況	一五四	二一	減サスト	減サスト ケレドモ浸水シナイ地 域ニ付テハコノ規定ヲ 適用スル (ヲ入レルコト)
三〇	八	面積	面積 幹事朗讀(入レルコト)	一六一	七	此ノ規定ヲ適用スル (ノ次ニ)	適用スル (ヲ入レルコト)
四二	終ヨリ三 行前	明治神宮内外苑	明治神宮内外苑		終ヨリ三	解題	解釋
六一	八	第二條第二項第三項	第二條第二項及第三項		終ヨリ三	私モ思ツタ	私モ解ツタ
六九	二	左權ナコト	左權ナコト		終ヨリ三	大變好都合	大變好都合
七六	九	和昭五年一月	昭和五年一月	一八七	一〇	荒川放水ガ	荒川放水路ガ
八一	三	東京府知事牛塚虎太郎 君代理東京府技師	東京府知事牛塚虎太郎 君代理地方技師	一八八	一	アリマセヌカ	アリマセヌ
	一〇	東京府知事牛塚虎太郎 君代理東京府技師	東京府知事牛塚虎太郎 君代理地方技師	一八九	一	國庫事業	尙事業
一一八	終ヨリ三 四	質間	質間	二〇〇	六	不究全	不究全
一一九	四	適當デナイカ	適當デナイカ	二二九	一〇	其ノ殘留ニ當ル	其ノ殘務ニ當ル
一二二	五	アリマ線	アリマス	二五五	九	市財政ノ	都合ニ依リ事業ノ (ヲ入レルコト)
一二四	七	伊東委員	伊藤委員	二七〇	終ヨリ二	於テハ 地帶	於テハ前項ノ地帶 (削除)
一二六	終ヨリ五	浸入狀況	浸入狀況	二七二	七	更メ昭和五年度	更メ昭和四年度
一三一	二	域ヲ取りマシテ	地域ヲ取りマシテ	二七八	六	於テハ 地帶	於テハ前項ノ地帶 (削除)
一三四	五	一坪リ	一坪當リ	二八二	終ヨリ三 全部	指數一箇年	指數一箇當
一四六	九八	地域	地帶	二八九	七	雨水汚水	雨水及汚水
一四七	終ヨリ四	モノデハナイト	モノデハナイカト	三〇三	終ヨリ五	以降ノ年度ヲ	以降ノ年割ヲ
一四九	終ヨリ二	何トカ問題	何トカ云フ問題	三〇七	四	約一分四分	約一分四厘
一五一	終ヨリ五	一負擔	一般負擔	三〇九	七	約三分一分五厘	約三割一分五厘

H18-101

特別都市計畫委員會議事速記録第十二號目次

發行所寄贈本

一、特別都市計畫委員會委員席次(昭和五年一月十八日現在)

二、第二十五回總會(昭和五年一月十八日開會)

一、報第一〇號 委員幹事異動報告……………七

一、議第一二六號 東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件……………九

一、議第一二七號 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件……………一〇

一、議第一二八號 東京都市計畫郊外下水道決定ノ件……………一〇

一、議第一二九號 東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割決定ノ件……………一〇

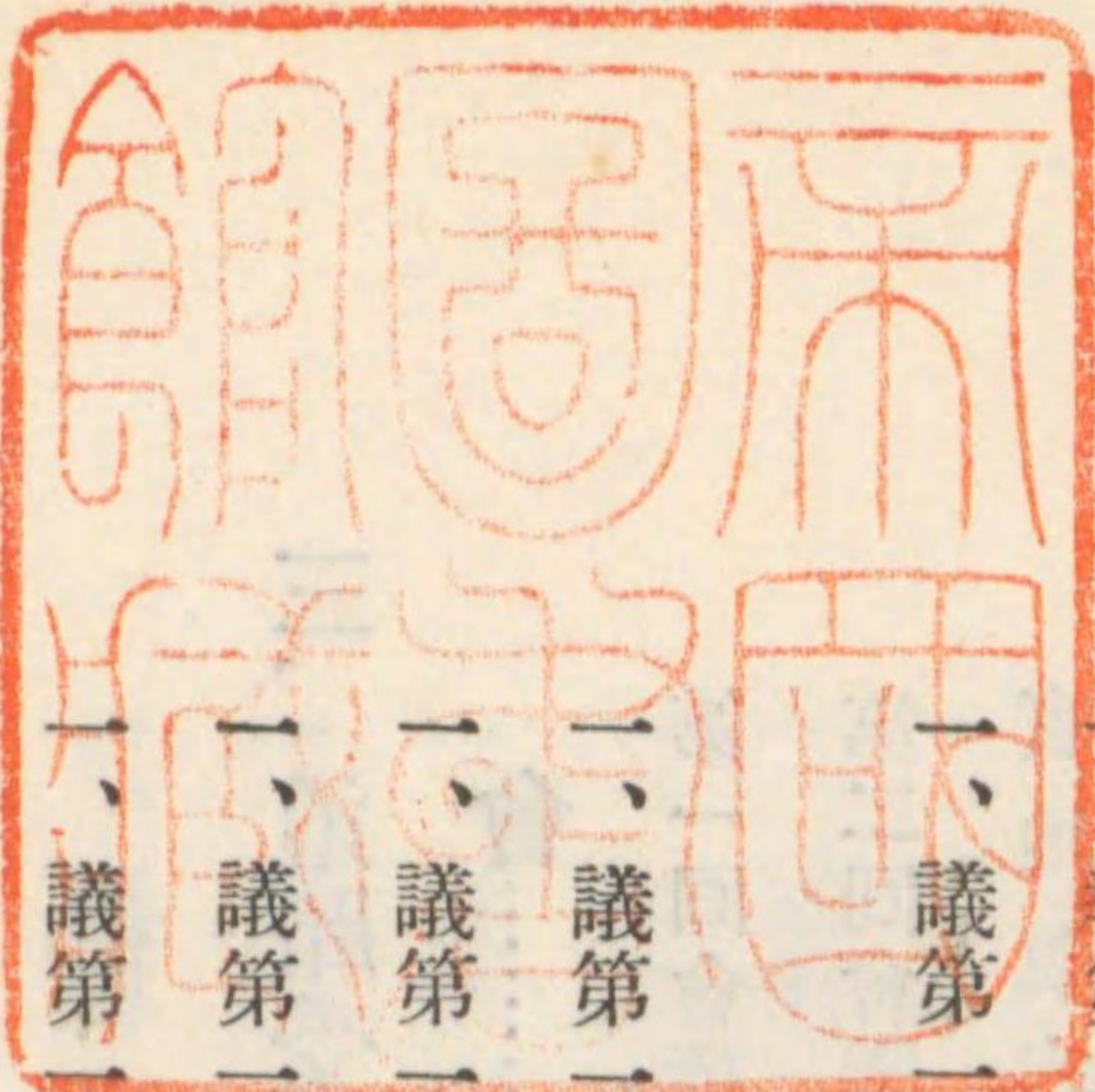
一、議第一三〇號 東京都市計畫東京市下水道(失業救済)事業執行年割決定ノ件……………一〇

一、議第一三一號 東京市區改正設計深川公園區域變更ノ件……………一〇

一、議第一三二號 東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修中變更ノ件(第四號路線關係)……………一〇

一、議第一三三號 東京都市計畫道路ノ新設、改修中變更ノ件(幹線放射道路第一號

線關係)……………一〇



- 一、議第一三四號 東京都市計畫事業執行年割決定ノ件（二等大路第二類第一號路線關係）……………六〇
- 一、議第一三五號 橫濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件……………六四
- 一、議第一三六號 橫濱都市計畫道路ノ新設改修事業及其ノ執行年割變更ノ件（幹線道路第十四號及第十八號路線關係）……………七一

三、道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業受益者負擔ノ件特別委員會……………八一

- 第一回會議（昭和五年一月二十八日開會）……………八一
- 第二回會議（昭和五年三月三日開會）……………一二七
- 實地視察（昭和五年三月七日出張）……………一四一
- 第三回會議（昭和五年三月十二日開會）……………一四三

四、東京都市計畫郊外下水道決定ノ件特別委員會……………一七四

- 第一回會議（昭和五年一月三十日開會）……………一七四
- 第二回會議（昭和五年二月七日開會）……………二〇五

發行所 寄附本
二〇五

五、第二十六回總會（昭和五年三月十七日開會）……………二三五

- 一、報第一一號 委員異動報告……………二四〇
- 一、議第一二六號 東京都市計畫事業道路（環狀線、放射線）受益者負擔規程改正ニ關スル件（特別委員長報告）……………二四二
- 一、議第一二七號 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件（特別委員長報告）……………二四五
- 一、議第一二八號 東京都市計畫郊外下水道決定ノ件（特別委員長報告）……………二四八
- 一、議第一三七號 內務大臣執行東京及橫濱都市計畫事業執行年割變更ノ件……………二五一
- 一、議第一三八號 東京都市計畫土地區劃整理事業執行年割變更ノ件……………二五六
- 一、議第一三九號 東京府知事執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件……………二五八
- 一、議第一四〇號 東京市長執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件……………二六二
- 一、議第一四一號 東京都市計畫東京市下水道中變更ノ件……………二六五
- 一、議第一四二號 東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割變更ノ件……………二六九
- 一、議第一四三號 橫濱市長執行橫濱都市計畫事業執行年割變更ノ件……………二七一

六、附 錄（內務省令 內務省告示）……………二七七

六 附 錄

一、編纂一四三覽 東京市長官官制及官制施行規則
二、編纂一四二覽 東京市官制及官制施行規則
三、編纂一四一覽 東京市官制及官制施行規則
四、編纂一四〇覽 東京市官制及官制施行規則
五、編纂一三九覽 東京市官制及官制施行規則
六、編纂一三八覽 東京市官制及官制施行規則
七、編纂一三七覽 東京市官制及官制施行規則
八、編纂一三六覽 東京市官制及官制施行規則
九、編纂一三五覽 東京市官制及官制施行規則
十、編纂一三四覽 東京市官制及官制施行規則
十一、編纂一三三覽 東京市官制及官制施行規則
十二、編纂一三二覽 東京市官制及官制施行規則
十三、編纂一三一覽 東京市官制及官制施行規則
十四、編纂一三〇覽 東京市官制及官制施行規則
十五、編纂一二九覽 東京市官制及官制施行規則
十六、編纂一二八覽 東京市官制及官制施行規則
十七、編纂一二七覽 東京市官制及官制施行規則
十八、編纂一二六覽 東京市官制及官制施行規則
十九、編纂一二五覽 東京市官制及官制施行規則
二十、編纂一二四覽 東京市官制及官制施行規則

特別都市計畫委員會委員席次

(常) 八 常務委員
(臨) 八 臨時委員
(昭和五年一月十八日現在)

會 長										委 員									
內務大臣 安達謙藏										從三位勳二等男爵 斯波忠三郎									
從四位勳四等 渡邊鐵藏										警視總監 丸山鶴吉郎									
貴族院議員 永田秀次郎										內務書記官 鈴木敬一郎									
(常) 東京市會議員 古島宮次郎										(臨) 東京市會議員 赤塚五郎									
東京府會議員 赤塚五郎										宮內次官 關屋貞三郎									
內務省土木局長 三邊長治										(臨) 內務省土木局長 三邊長治									
法制局長官 川崎卓吉										法制局長官 川崎卓吉									

神奈川縣市會議員

(常)	一	內務次官	潮	惠之輔
(常)	二	商工次官	三井	米松
(常)	三	東京府知事	牛塚	虎太郎
(常)	四	神奈川縣會議員	飯田	助夫
(常)	五	東京府會議員	朝倉	虎治郎
(常)	六	東京市會議員	福田	勇
(常)	七	正四位勳三等男爵	中島	久萬吉
(常)	八	遞信次官	今井	田清德
(常)	九	貴族院議員子爵	松平	直平
(常)	一〇	神奈川縣知事	山縣	治郎
(常)	一一	貴族院議員	藤田	四郎
(常)	一二	衆議院議員	橫山	勝太郎
(常)	一三	衆議院議員	中島	守利
(常)	一四	陸軍次官	阿部	信行
(臨)	一五	內務技監	中川	吉造

(常)	二六	貴族院議員	菅原	通敬
(常)	二七	正五位勳三等	秋田	清
(臨)	二八	橫濱市土木局長	伊藤	清
(臨)	二九	內務政務次官	齋藤	隆夫
(常)	三〇	東京市會議員	國枝	捨次郎
(常)	三一	橫濱市長	有吉	忠一郎
(常)	三二	貴族院議員	橋本	圭三郎
(常)	三三	正六位勳六等	井坂	孝郎
(臨)	三四	文部次官	中川	健藏
(臨)	三五	從三位勳二等	丹羽	鋤彦
(臨)	三六	從四位勳三等	吉植	庄一郎
(常)	三七	東京市會議員	新甫	寬實
(常)	三八	從五位勳三等	藤山	雷太
(常)	三九	衆議院議員	矢野	鉉吉
(常)	四〇	橫濱市會議員	赤尾	彦作

四一番	東京市會議員	中塚榮次郎
四二番	正三位勳三等子爵	大河内正敏
四三番	東京市長	堀切善次郎
四四番	海軍次官	山梨勝之進
四五番	內務省地方局長	次田大三郎
四六番	東京府會議員	大神田軍治
四七番	正四位勳二等	今村明恒
四八番	遞信省工務局長	稻田三之助
四九番	正五位勳四等	三木武吉
五〇番	鐵道省工務局長	大河戶宗治
五一番	從五位	大橋新太郎
五二番	鐵道次官	青木周三郎
五三番	大藏次官	河田周烈
五四番	內閣書記官長	鈴木富士彌
五五番	內務參與官	内ヶ崎作三郎

五六番	東京市會議員	川村正夫
五七番	橫濱市會議員	平沼亮三
五八番	從五位勳三等	原富太郎
五九番	司法次官	小原直
六〇番	東京府會議員	伊藤武七郎
六一番		片岡安
六二番	正七位勳四等	矢野恒太
六三番	從四位勳三等	佐野利器
六四番	從四位勳三等	松木幹一郎
六五番	正三位勳一等功二級	長岡外史
六六番	農林次官	松村真一郎
六七番	衆議院議員	太田信治郎
六八番	營繕管財局理事	太田嘉太郎
六九番	東京市技師	福田重義
七〇番	正四位勳三等	牧彦七

(臨)	七一	東京府會議員	藤原久人
(臨)	七十二	東京府會議員	佐藤久太郎
(臨)	七十三	東京府會議員	立石知滿
(臨)	七十四	東京府會議員	内田秀五郎
(臨)	七五	東京市局長	近新三郎
(臨)	七六	勳四等	磯村豊太郎
(臨)	七七		青木菊雄
(臨)	七八	正五位	直木倫太郎
(臨)	七九	神奈川縣會議員	山崎小三
(臨)	八〇	横濱市會議員	吉澤光義
(臨)	八一	横濱市會議員	田邊徳五郎
(臨)	八二	正五位勳四等	前田多門
(常)	八四	復興局長官	中川望
幹事		復興局書記官	武部六藏

		復興局書記官	土岐銀次郎
		正六位勳六等	西村輝一
		復興局事務官	片野道藏

(昭和五年三月十七日現在)

會長		內務大臣	安達謙藏
委員	一	從三位勳二等男爵	斯波忠三郎
	二	從四位勳四等	渡邊鐵藏
(常)	三	警視總監	丸山鶴吉
(臨)	四	貴族院議員	永田秀次郎
(臨)	五	內務書記官	鈴木木敬一郎
(常)	六	東京市會議員	古島宮次郎
	八	宮內次官	關屋貞三郎
(臨)	九	內務省土木局長	三邊長治郎
	一〇	法制局長官	川崎卓吉
(常)	一一	內務次官	潮惠之輔

二六番	二五番	二四番	二三番	二二番	二二番	二〇番	一九番	一八番	一七番	一六番	一五番	一四番	一三番	一二番
貴族院議員	內務技監	陸軍次官	衆議院議員	衆議院議員	衆議院議員	神奈川縣知事	貴族院議員子爵	遞信次官	正四位勳三等男爵	東京市會議員	東京府會議員	神奈川縣會議員	東京府知事	商工次官
菅原通敬	中川吉造	阿部信行	中島守利	横山勝太郎	藤田四郎	山縣治郎	松平直平	今井田清德	中島久萬吉	福田勇	朝倉虎治郎	飯田助夫	牛塚虎太郎	三井米松

四一番	四〇番	三九番	三八番	三七番	三六番	三五番	三四番	三三番	三二番	三一番	三〇番	二九番	二八番	二七番
東京市會議員	横濱市會議員	衆議院議員	從五位勳三等	東京市會議員	從四位勳三等	從三位勳二等	文部次官	正六位勳六等	貴族院議員	横濱市長	東京市會議員	內務政務次官	横濱市土木局長	正五位勳三等
中塚榮次郎	赤尾彦作	小俣政一	藤山雷太	新甫寬實	吉植庄一郎	丹羽鋤彦	中川健藏	井坂孝	橋本圭三郎	有吉忠一	國枝捨次郎	齋藤隆夫	伊藤清	秋田清

四二番	正三位勳三等子爵	大河内正敏
(常) 四三番	東京市長	堀切善次郎
四四番	海軍次官	山梨勝之進
(臨) 四五番	内務省地方局長	次田大三郎
四六番	東京府會議員	太神田軍治
四七番	正三位勳二等	今村明恒
(臨) 四八番	逓信省工務局長	稻田三之助
(常) 四九番	正五位勳四等	三木武吉
(臨) 五〇番	鐵道省工務局長	大河戸宗治
五一番	從五位	大橋新太郎
五二番	鐵道次官	青木周三
五三番	大藏次官	河田烈
五四番	内閣書記官長	鈴木富士彌
五六番	東京市會議員	川村正夫
五七番	横濱市會議員	平沼亮三

五八番	從五位勳三等	原富太郎
五九番	司法次官	小原直
六〇番	東京府會議員	伊藤武七郎
六一番		片岡安
六二番	正七位勳四等	矢野恒太
(常) 六三番	正四位勳三等	佐野利器
六四番	從四位勳三等	松木幹一郎
六五番	正三位勳一等功二級	長岡外史
六六番	農林次官	松村真一郎
六七番	衆議院議員	太田信治郎
(臨) 六八番	營繕管財局理事	太田嘉太郎
(臨) 六九番	東京市技師	福田重義
(臨) 七〇番	正四位勳三等	牧彦七
(臨) 七一番	東京府會議員	藤原久人
(臨) 七二番	東京府會議員	佐藤久太郎

第二十五回總會

(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(臨)	(常)	幹	事					
七三番	七四番	七五番	七六番	七七番	七八番	七九番	八〇番	八一番	復興局長官	正五位勳四等	神奈川縣會議員	正五位勳四等	復興局長官	復興局書記官	復興局書記官	復興局書記官	正六位勳五等	復興局事務官
東京府會議員	東京府會議員	東京市局長	勳四等		正五位													
立石知滿	內田秀五郎	近新三郎	磯村豐太郎	青木菊雄	直木倫太郎	山崎小三郎	前田多門	中川望	武部六藏	土岐銀次郎	西村輝一	片野道藏						

特別都市計畫委員會第二十五回總會議事速記錄

昭和五年一月十八日(土曜日)內務省會議室ニ於テ開會

議事日程



- 第一 議第一二六號 東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件
- 第二 議第一二七號 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件
- 第三 議第一二八號 東京都市計畫郊外下水道決定ノ件
- 第四 議第一二九號 東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割決定ノ件
- 第五 議第一三〇號 東京都市計畫東京市下水道(失業救濟)事業執行年割決定ノ件
- 第六 議第一三一號 東京市區改正設計深川公園區域變更ノ件
- 第七 議第一三二號 東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修中變更ノ件

(第四號路線關係)

第八 議第一三三號 東京都市計畫道路ノ新設、改修中變更ノ件

(幹線放射道路第一號路線關係)

第九 議第一三四號 東京都市計畫事業執行年割決定ノ件

(二等大路第二類第一號路線關係)

第十 議第一三五號 橫濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

第十一 議第一三六號 橫濱都市計畫道路ノ新設改修事業及其ノ執行年割變更ノ件

(幹線道路第十四號及第十八號路線關係)

出席者氏名

委員

從四位勳四等	渡邊鐵藏君
警視總監丸山鶴吉君代理	古川靜夫君
警視廳書記官	永田秀次郎君
貴族院議員	鈴木敬一君
內務書記官	

東京市會議員	古島宮次郎君
東京府會議員	赤塚五郎君
內務省土木局長	三邊長治君
內務次官	潮惠之輔君
商工次官	三井米松君
東京府知事	牛塚虎太郎君
神奈川縣會議員	飯田助夫君
東京府會議員	朝倉虎治郎君
神奈川縣知事	山縣治郎君
貴族院議員	藤田四郎君
衆議院議員	橫山勝太郎君
衆議院議員	中島守利君
陸軍次官阿部信行君代理	秋山德三郎君
陸軍工兵少佐	中川吉造君
內務技監	菅原通敬君
貴族院議員	

鐵道次官	從五位	鐵道省工務局長	遞信省工務局長	正四位勳二等	內務省地方局長	海軍次官	東京市長	從五位勳三等	東京市會議員	從三位勳二等	橫濱市長	東京市會議員	內務政務次官	橫濱市土木局長
青木周三君	大橋新太郎君	大河戶宗治君	稻田三之助君	今村明恒君	次田大三郎君	山梨勝之進君	堀切善次郎君	藤山雷太君	新甫寬實君	丹羽鋤彦君	有吉忠一君	國枝捨次郎君	齋藤隆夫君	伊藤清君

大藏次官	東京市會議員	東京府會議員	正七位勳四等	正三位勳一等功二級	農林次官	衆議院議員	營繕管財局理事	東京市技師	正四位勳三等	東京府會議員	東京府會議員	東京市局長	勳四等	
河田烈君	川村正夫君	伊藤武七郎君	矢野恒太君	長岡外史君	松村真一郎君	太田信治郎君	太田嘉太郎君	福田重義君	收彦七君	佐藤久太郎君	立石知滿君	近新三郎君	磯村豐太郎君	青木菊雄君

神奈川縣會議員 山崎小三君
 正五位勳四等 前田多門君
 復興局長官 中川望君

幹事

復興局書記官 武部六藏君
 復興局書記官 土岐銀次郎君
 正六位勳六等 西村輝一君
 復興局事務官 片野道藏君

關係職員

建築部長 笠原敏郎君
 土木部長 大岡大三君
 經理部長 吉村哲三君
 公園課長 折下吉延君

報第一〇號

委員、幹事異動報告

昭和四年九月十日 復興局長赤木朝治君轉任ニ付委員ノ資格消滅
 同 九月十三日 內務書記官鈴木敬一君臨時委員被仰付
 同 十月三日 鐵道省工務局長加賀山學君臨時委員被免
 鐵道省工務局長大河戶宗治君臨時委員被仰付
 同 十月九日 東京府知事牛塚虎太郎君東京府知事ニ任セラレ委員トナル
 宮城縣知事牛塚虎太郎君東京府知事ニ任セラレ委員トナル
 同 十月二十九日 文部次官中川健藏君委員被仰付
 同 十一月九日 復興局書記官土岐銀次郎君幹事被仰付
 同 五年 一月十五日 神奈川縣會議員飯田助夫君、同山崎小三君委員被仰付

常務委員異動

昭和四年 十月九日 東京府知事牛塚虎太郎君委員資格消滅ニ付常務委員消滅
 同 十一月二十七日 委員東京府知事牛塚虎太郎君常務委員ニ指名

午前十時二十分開議

○議長(會長代理潮惠之輔君) 是ヨリ開會致シマスガ、本日ハ會長ガ事故ガゴザイマスノデ、私ガ指名ヲ蒙リマシテ代理ヲ務メマス、議事日程ニ入りマス前ニ、復興局長官カラ一寸御報告ヲ申上ゲマス、御聽取リヲ願ヒマス

○復興局長官(中川望君) 此機會ニ一寸御報告ヲ申上ゲタイト存ジマス、帝都復興事業モ、皆様方ノ容易ナラザル御配慮ニ依リマシテ、着々進捗致シマシテ、豫定ノ如ク三月三十一日ヲ以テ復興局モ其任務ヲ了ヘテ、閉鎖致シマス覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレ迄ニハ復興事業ノ大體ヲ完了致ス見込ミデゴザイマス、就キマシテハ豫テ復興ノ成績ヲ御覽ヲ願ヒタク、又復興ノ祝典ヲ舉グルコトニ付キマシテ 陛下ノ御親臨ヲ仰ギ得レバ、此上モナイコト、存ジマスノデ、宮中ノ御都合ヲ伺ヒ出テ居ツタノデアリマシタガ、既ニ新聞紙上ニモ現ハレテ居リマス通り、先般、三月二十四日ニ復興帝都ヲ親シク御巡幸遊バサル、コト、二重橋前ニ於テ復興祝典ヲ二十六日ニ舉行セラル、ノデゴザイマスガ、ソレニモ御親臨遊バサル、旨ノ御内沙汰ヲ拜承スルコトヲ得マシタノデゴザイマス、二十四日ガ若シ雨天デゴザイマスレバ、二十五日ニ御巡幸ヲ仰グ豫定デゴザイマス、三月下旬ニ是等ノ祝典ヲ行ヒマシテ、復興事業ノ大體ノ完了ヲ告グル運ビニ至ルノデゴザイマス、洵ニ御同慶

ノ至リト存ズルノデアリマス、尙ホソレ迄ニ御覽ノ通り、仕事モ大分残ツテ居リマスノデ、一同ヲ督勵致シマシテ、出來ルダケ完成ヲ遂ゲタイ積リデ居ルノデアリマス、ドウカ此上トモ御鞭撻ヲ願フ次第デアリマス、此事ヲ簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 是ヨリ日程ニ入りマス、第一、議第一二六號東京都市計畫事業道路受益者負擔規程改正ニ關スル件ヲ議題ト致シマス

〔幹事朗讀〕

議第一二六號

一、東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件
官計發第二三號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔ニ關スル件左ノ通改正セムトス
右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十一日

内務大臣 安 達 謙 藏

昭和二年三月内務省令第十一號東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔ニ關スル件左ノ通
改正ス

昭和 年 月 日

内務大臣

東京都市計畫事業道路受益者負擔規程

第一條 東京府ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示
第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中府知事ノ執行スベキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所
ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ翦除シタル部分ニ於テハ其ノ翦除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域ト
ス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下
ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得

新設又ハ擴張スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘、鐵道、軌道其ノ他地物ノ狀況ニ依

リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

負擔區劃ハ各路線毎ニ之ヲ定ム

第三條 府知事ハ道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

ルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 府知事ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ

定ム

前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ地帯及負擔歩合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ、道路擴張ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ四分
ノ一ニ前條ノ負擔歩合ヲ乘ジテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス

二 新設又ハ擴張スル道路ニ接スル地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接ス
ル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地
ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス

三 前號以外ノ地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タ

ル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス

四 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ニ接スル部分ノ間數ヲ乘ジテ得タル金額ト面積割一坪當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額トノ和ヲ以テ其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一坪當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地域ヲ縮小シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮小セザルモノトシテ之ヲ算出ス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納

付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月內務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ同一年度内ニ重複シテ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

三 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

四 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ府知事

ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ
五 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國又ハ公
共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ

第九條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條ノ地帶及負擔歩合第
五條第一項ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額、同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル間
口割ノ割合、事業著手ノ日、第六條第一項ノ期日並事業費豫算額及精算額ハ府知事之ヲ告示スベシ
第十條 昭和二年八月内務省告示第四百十號ヲ以テ告示シタル都市計畫事業中本令施行ノ際既ニ著手
セルモノニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス(公布ノ日ヨリ起算シ十一月日ヲ施行日トス)

第六條第二項ノ規定ハ本令施行前ニ設定セラレタル權利ニ關シテハ之ヲ適用セズ

本令施行前ニ賦課シタル負擔金ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ受益者ニ關シテハ第六條第二項及
第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

負擔金ノ繰上納付及減免ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ本令ノ規定ニ依ル

說 明

本件ハ東京府知事ノ執行スル昭和二年八月内務省告示第四〇九號東京都市計畫道路ノ新設改修ニ關ス
ル受益者負擔規程ヲ定ムトスルモノナルガ曩ニ昭和二年三月内務省令第十一號ヲ以テ制定ニ係ル東
京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔ニ關スル件トノ權衡上兩者ノ規程ヲ同一ナラシムル
ヲ適當ナリト認ムルト且ツ同令施行後ノ實蹟ニ徴シ二三改正スルヲ適當ナリト認メラル、點アルヲ以
テ此ノ際全文改正ノ方法ニ依リ兩者ノ負擔規定ヲ同一省令ニ統一シテ制定セムトスルモノナリ
而シテ其ノ改正セムトスル事項ノ大要ハ受益者ニ關シテハ其ノ範圍ヲ擴張シ負擔區劃ヲ土地ノ狀況ニ
依リ道路幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減シ之ニ伴ヒ間口割ノ割合ヲ二分ノ一以下四分ノ
一以上ノ範圍内ニ於テ定ムルコトヲ得ルモノトシ負擔金ノ賦課方法ニ付テハ總額ヲ均等ニ二十四分シ事
業着手後年二回一定期日ノ現在ノ受益者ヨリ納付セシムルモノトシ橋梁隧道等特殊ノ工事費ハ負擔金
算出ノ基本額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得ルモノトシ又負擔金ノ減免規定ニ付テハ土地區劃整理又ハ耕
地整理ノ施行ニ依リ道路用地ヲ無償ニテ提供セル場合等ヲ加ヘタリ
尙本件改正ニ伴ヒ必要ト認ムル經過規定ヲ設ケタリ

(參 考)

議第一二六號 東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件ニ對スル關係

市長村長ノ意見ノ要旨

負擔區劃ニ付テ

一、第二條第一項中「道路ノ幅員ノ七倍」ヲ「道路ノ幅員ノ四倍」ニ縮小セラレタシ (江北村長)

二、第二條第二項中「道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得」ヲ

「道路ノ幅員ノ七倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ擴張スルコトヲ得」ニ改メラレタシ

(大久保町長)

「道路ノ幅員ノ四倍以下ニ縮小スルコトヲ得」ニ改メラレタシ (江北村長)

負擔金額ニ付テ

一、第五條第一項第一號中「三分ノ一」ヲ「五分ノ一」ニ低減セラレタシ (千葉縣行徳町長、浦安町長、南行徳村長)

負擔金ノ賦課ニ付テ

一、第六條中「事業着手後」ヲ「事業完成後」ニ改メラレタシ (品川町長、目黒町長)

二、第六條第一項中「均等ニ二十四分シ」ヲ「均等ニ二十分シ」ニ改メラレタシ (吾嬬町長)

三、事業開始前ニ區劃整理等ヲ行ヒタルトキ若ハ施行中ニ係ルトキハ該整理事業完成後ノ面積ニ依リ受益者ノ負擔額ヲ定ムルコト、セラレタシ (日暮里町長)

同趣旨

負擔金ノ減免ニ付テ

一、第八條第二號中「同一年度内」ヲ「五箇年度内」ニ改メラレタシ (日暮里町長)

二、市外地ニ於ケル都市計畫事業道路ノ實現ニ因リテノ受益ハ市街地區ノ夫レニ比較シテ其ノ程度著シク差アル實際ニ考慮シ之ニ適應スヘク負擔額ヲ減免スル勿論其ノ賦課徴收猶豫ノ方途ヲ講セラレタシ (板橋町長、上板橋村長)

(志村長)

○復興局長官(中川望君) 私ヨリ御説明致シマス、本案ハ東京府知事ノ執行致シテ居リマスル昭和二年八月内務省告示第四〇九號東京都市計畫道路新設改修事業ニ關スル受益者負擔規程ヲ制定セントスルモノデアリマス、現ニ東京府知事ニ於テ執行致シテ居ル道路ニ關スル都市計畫事業ハ二種類アリマシテ、大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路新設擴張ガ一ツ、次ハ只今申シマシタ昭和二年八月内務省告示第四〇九號東京都市計畫道路新設改修ノ此ノ二ツガアルノデアリマシテ、兩者共ニ其ノ財政計畫ニ於キマシテ受益者負擔ノ豫定ヲシテ居ルノデアリマス、其ノ中前者ニ付テハ既ニ昭和二年三月内務省令第十一號ヲ以テ受益者負擔規程ノ制定ガアツタノデアリマスガ、後者ニ付テハ未ダ是ノ制定ガ無いノデアリマス、ソレデ今回其規程ヲ設ケントスルノデアリマス、然ルニ此二ツノ道路事業ハ、何レモ市ノ區域外ニ於テ行ヒマスルノデ、互ニ交錯シテ執行スルノデアリマス、隨

ツテ受益者負擔ニ關スル規程ハ其權衡上成ルベク之ヲ同一ナラシムルコトガ適當ナノデアリマス、殊ニ曩ニ制定セラレマシタ現行ノ受益者負擔ノ規程ハ、其後施行後ノ實績ニ徴シマシテ、二三改正スルヲ適當ナリト認ムル點モアルノデアリマス、故ニ此機會ニ於キマシテ全文改正ノ方法ニ依リマシテ、兩者ニ關スル負擔規程ヲ同一規程ニ收メタイト云フノデアリマス、其重要ナル點ヲ申上ゲマスレバ、負擔區劃ニ付キマシテハ、現行規程ハ道路ノ幅員ノ七倍トアルニ附加ヘテ、土地ノ狀況ニ依ツテ必要ノアルトキニハ、道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍ニ於テ之ヲ増減斟酌シ得ル途ヲ開カウト云フノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ間口割ノ割合ヲ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ得ルコトニ致サウト云フノデアリマス、負擔金賦課方法ニ付キマシテハ、現行規程ハ事業著手ノ日ノ現在ノ受益者ニ之ヲ賦課シテ居ツテ、七年間ノ分納ト云フコトニシテ居リマスルガ、之ヲ改メマシテ總額ヲ均等ニ四分シ、毎年二回一定ノ期日ニ於ケル其現在ノ受益者ニ、賦課スルコトニ致サウト云フノデアリマス、橋梁、隧道其他特殊ノ工事費ハ、負擔金算出基本額カラ之ヲ控除シ得ル途ヲ開カウト云フコトニナツテ居リマス、又土地區劃整理、又ハ耕地整理ノ施行ニ依ツテ道路用地ヲ無償デ提供シタ場合ニハ、負擔金ヲ減免スル途ヲ開カウト云フノデアリマス、昭和二年八月決定ノ道路ノ新設改修中、現ニ、東京府知事ニ於テ執行中ニ屬スルモノハ、路線ノ數ハ三十九、事業費ハ約七千二百二十萬圓デアリマスガ、今後此事業トシテ決定スベキモノヲ合算致シマスルト、

事業費ガ約三億一千万圓トナルノデアリマス、隨テ此受益者負擔ノ規程ヲ適用致シマシテ收入致シマス其實收額ハ、事業費ノ約百分ノ二十即チ六千二百萬圓ニ上ル見込デアリマス、本規程ノ制定ニ關シマシテ、東京都市計畫法ノ第十條ノ規定ニ依リマシテ、關係アル市町村長、即チ東京市長外百六町村長ノ意見ヲ徵シマシタル所、東京市長外九十四町村長ハ異存ナキ旨答申シテ居リマス、殘ル品川町長外十一町村長ヨリ、一部修正希望ノ答申ガアリマス、其要旨ハ印刷シテ御手許ニ配付致シテアリマスルカラシテ、審議上ノ御參考ニ供シテ戴キタイト思ヒマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 御質問ヲ願ヒマス

○十五番(朝倉虎治郎君) 本案ハ慎重審議ヲ致シタイト思ヒマスカラ、特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、若シ其事ガ出來マスルナラバ人員ハ十三名ト致シテ、選定方法ハ議長ノ指名ニ御任せタイト思ヒマス

「異議ナシ」賛成」ト呼ブ者アリ」

○議長(會長代理潮惠之輔君) 只今十五番カラ御發議ガアリマシタガ、御賛成ノ御聲モ聽エルヤウデアリマスカラ、其様ニ計ヒマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理潮惠之輔君) サウ致シマスルト特別委員ノ御氏名ハ後刻申上ゲルコトニ致シマス

第二、議第一二七號東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件ヲ議題ト致シマス
〔幹事朗讀〕

二〇

議第一二七號

一、東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件
官計發第二四號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔規程左ノ通定メムトス

右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十三日

內務大臣 安 達 謙 藏

內務省令第 號

東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔規程

第一條 東京府ハ昭和二年三月內務省告示第二百七十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業澁谷川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

第三條 府知事ハ河川ノ幅員、事業執行年度又ハ土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ分チテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 負擔區劃内ニ在ル土地(受益者ナキ土地ヲ含ム)ニ付利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一坪當負擔指數ヲ定メ之ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル數ヲ各當該土地ノ負擔指數トス
- 二 事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ前項ノ總指數ニテ除シテ得タル金額ヲ指數一箇當負擔金額トス
- 三 指數一箇當負擔金額ニ各土地ノ負擔指數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔

金額トス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル一坪當負擔金額ニ

二一

各所有者ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ負擔セシム

第六條 橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ前二條ノ事業費トスルコトヲ得

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月內務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セズ

第八條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ

負擔スル關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 澁谷川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第十條 第二條第二項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條第二號ノ指數一箇當負擔金額

第五條ノ一坪當負擔金額、第七條第一項ノ期日及事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示ス

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

說 明

本件ハ都市計畫事業トシテ東京府知事ニ於テ執行スル澁谷川改修ニ要スル費用ノ一部ヲ本事業ニ因ル受益者ヲシテ負擔セシムル爲其ノ負擔金額及負擔方法ヲ定メムトスルモノニシテ今其ノ概要ヲ述ブレバ負擔金額ハ毎年其ノ前年度ニ於ケル事業費精算額ノ百分ノ二十五ヲ折半シテ其ノ一半ヲ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各河川ノ幅員ノ三倍ノ地域内ニ在ル一般受益者ニ對シ其ノ受益ノ程度ニ應ジテ定メタル負擔指數ニ比例シ他ノ一半ヲ河川ノ境界線ニヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ノ土地所有者ニ對シ其ノ面積ニ比例シテ之ヲ定メ更ニ之ヲ十四等分シ毎年二回一定期日ノ現在ノ受益者ヨリ納付セシムルモノトス

尙他ノ受益者負擔金ト重複シテ負擔スルトキ及土地物件等ヲ寄附シタル者等ニ對シテハ負擔金ヲ減免シ得ル規定ヲ設ケタリ

○復興局長官(中川望君) 一應御説明致シマス、本案ハ都市計畫事業トシテ東京府知事ノ執行シテ居リマス澁谷川改修ニ要スル費用ノ一部ヲ、本事業ニ依ル受益者ヲシテ負擔セシムル爲ニ、其金額並ニ負擔方法ヲ定メントスルモノデアリマス、澁谷川ノ改修ハ事業費總額百十四萬七千餘圓ヲ以テ、昭和二年度ヨリ昭和五年度ニ至ル四ケ年間ニ完成セントスルモノデアリマス、負擔金額ハ毎年其前年度ニ於ケル事業費精算額ノ百分ノ二十五ト致シマシテ、之ヲ折半シテ其一半ヲ一般受益者ニ他ノ一半ヲ護岸附近ノ土地所有者ノミニ賦課セントスルノデアリマスガ、負擔區域内ニ於テ負擔金ヲ課セラレザル土地ガアリマスノデ、實收額ハ事業費ノ約百分ノ二十ニ當ル見込ミデアリマス、本規程ノ制定ニ關シテ、都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依ツテ、關係アル東京市長竝ニ澁谷町長ノ意見ヲ徵シマシタ所、東京市長ニ於テハ異存ナク、澁谷町長ヨリ一部修正希望ノ答申ガアツタノデアリマス、ソレデ其希望ノ要旨ヲ述ベマスレバ、其一ハ負擔規程ノ第二條中、負擔區域ハ河川ノ幅員ノ三倍トアリマスノヲ、之ヲ五倍ニ擴張シテ貫ヒタイト云フノデアリマス、尙一ツハ第七條中ニ、負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シトアリマスノヲ、二十分ニ改メテ貫ヒタイト云フ此二點デアリマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 御質問ヲ願ヒマス

○十五番(朝倉虎治郎君) 本案ハ第二百二十六號議案ト同一委員ニ付託セラレテ、御審議下サルコトニ願ヒタイト思ヒマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 皆様御聽ノ通り、本案ハ第二百二十六號議案ト同一委員ニ付託スルト云フ御發議ガアリマシテ、之ニ賛成ガゴザイマス、仍テ其様ニ計ヒマシテ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ左様ニ取計ヒマシテ、委員名ハ前案ト同時ニ、後刻御指名申上ゲマス——次ハ議第二百二十八號東京都市計畫郊外下水道決定ノ件ヲ議題ニ供シマス

〔幹事朗讀〕

議第一二八號

一 東京都市計畫郊外下水道決定ノ件

官計發第二七號

東京都市計畫郊外下水道左ノ通決定セムトス

特別都市計畫委員會

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十一日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫外下水道左ノ通定ム

東京都市計畫外下水道

- 第一 下水排除區域ハ東京府南葛飾郡、南足立郡、北豊島郡、豊多摩郡及荏原郡ノ各一部ニシテ總面積約四千二百九十四萬坪ノ區域トス但シ地勢ノ關係ニ依リ本區域内ニ流入スル關係市町村ノ一部ノ下水ハ之ヲ收容スル計畫トス
- 第二 下水排除量ハ汚水量ハ全區域ノ人口ヲ約三百萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間内ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十耗トシテ之ヲ定ム
- 第三 下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水及汚水ヲ同一管渠ニ收容シ高地區域ノ下水ハ自然流下ニ依リ低地區域ノ下水ハ唧筒ヲ用キテ各汚水處分場ニ導水ス
- 第四 下水處分ハ雨水ハ適所ニ雨水吐ヲ設ケ河海ニ放流スルモ汚水ハ總テ處分場ニ導キ處理シタル後東京灣及荒川ニ排泄ス但シ最大汚水量ニ達スル迄ノ雨水ハ汚水ト共ニ之ヲ處理ス
- 第五 下水管渠ノ構造ハ雨水吐、隧道等ノ外ハ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應ジテ陶管、鐵筋「コンクリート」管及鐵筋「コンクリート」矩形渠ノ三種ヲ使用ス

第六 地勢ニ依リ下水排除區域ヲ砂町系統、三河島系統、石神井系統及羽田系統ノ四排水系統ニ分割ス

各排水系統ニ屬スル區域、面積、下水道延長、唧筒場及汚水處分場左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルベシ

砂町系統

區域 南足立郡千住町、綾瀬村及南葛飾郡南綾瀬町、寺島町、吾嬬町ノ各一部並南葛飾郡隅田町、龜戸町、小松川町、大島町、砂町ノ各全部

面積 約六百八十八萬三千坪

下水道延長 約一萬三千六百七十米

大島唧筒場

位置 南葛飾郡大島町一丁目

面積 約百五十坪

砂町污水處分場

位置 南葛飾郡砂町大字本砂村

面積 約四萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

三河島系統

區域 北豊島郡尾久町ノ全部並南千住町、三河島町、日暮里町及瀧野川町ノ各一部

面積 約二百九十五萬六千坪

下水道延長 約七千二百二十米

三河島污水處分場

位置 北豊島郡三河島町但シ東京市下水道三河島町污水處分場ニ併置ス

面積 約一萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

石神井系統

區域 北豊島郡王子町、長崎町ノ各全部及板橋町、瀧野川町、岩淵町、西巢鴨町、高田町

ノ各一部並豊多摩郡落合町、野方町ノ各全部及戸塚町、大久保町、淀橋町、中野町
杉並町ノ各一部

面積 約一千四百一十一萬坪

下水道延長 約三萬二千五百十米 内隧道延長四百五十五米

落合唧筒場

位置 豊多摩郡落合町字下落合

面積 約四百坪

江北污水處分場

位置 南足立郡江北村大字ノ内

面積 約五萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

羽田系統

區域 豊多摩郡和田堀町、代々幡町ノ各全部及杉並町、中野町、淀橋町、千駄ヶ谷町、澁

谷町ノ各一部並荏原郡荏原町、品川町、大井町、入新井町、大森町、蒲田町、羽田
町ノ各全部及目黒町、大崎町ノ各一部

面積 約一千八百九十九萬一千坪

下水道延長 約五萬八千二十米 内隧道延長一千四百二十五米

淀橋唧筒場

位 置 豊多摩郡淀橋町大字角筈

面 積 約三百七十五坪

大森唧筒場

位 置 荏原郡大森町

面 積 約三百坪

羽田汚水處分場

位 置 荏原郡羽田町大字鈴木新田

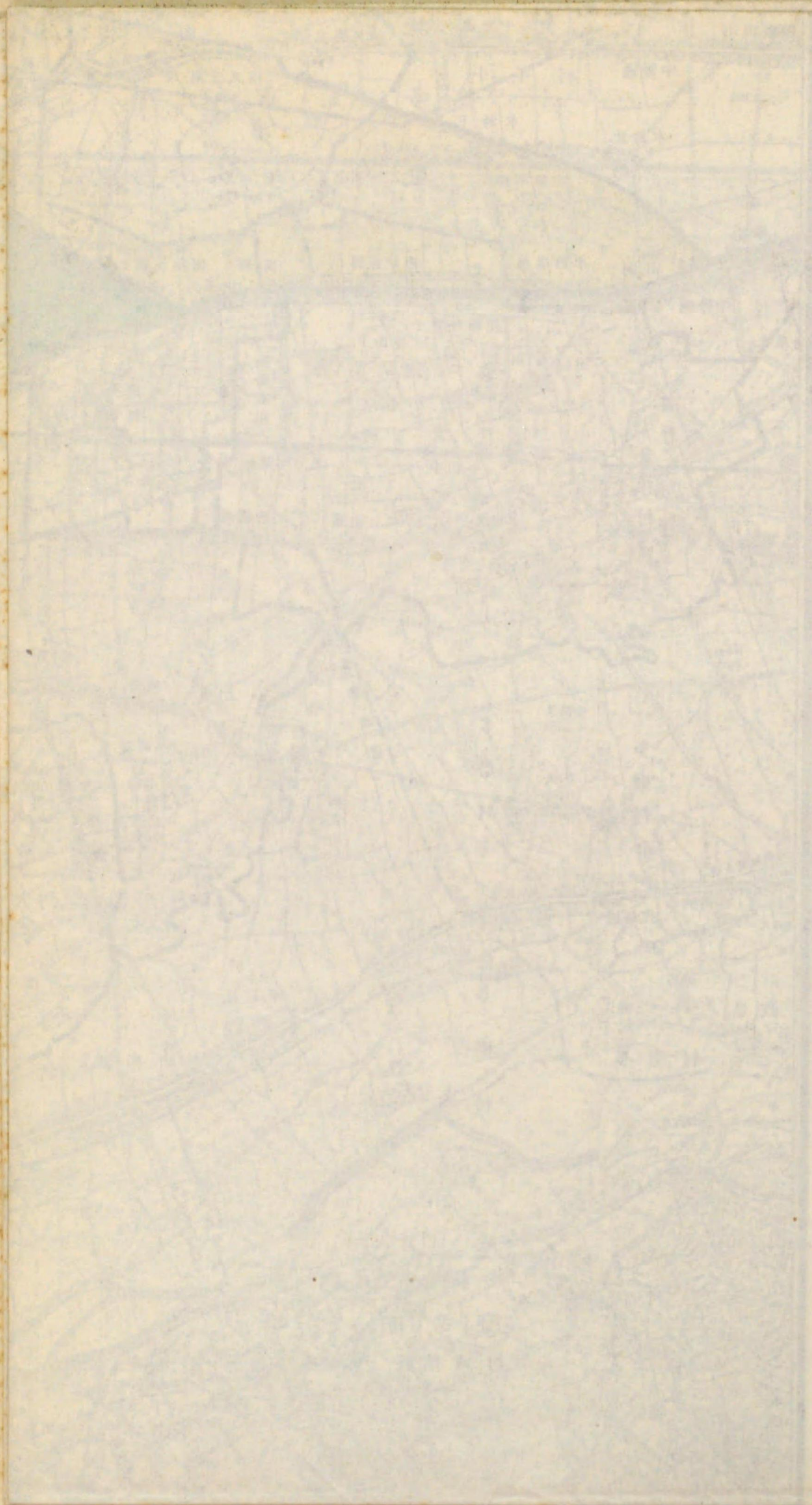
面 積 約六萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

(圖面表示)

説 明

本案ハ近時東京市ノ郊外各町村ニ於ケル急激ナル發展ニ伴ヒ人家稠密人口増加著シク爲ニ排出汚水ハ歳ト共ニ其ノ量ヲ増加シ保健衛生上看過スベカラザル實狀ニ鑑ミ郊外四十一箇町村ニ亘リ下水道ノ幹線唧筒場及汚水處分場ニ關スル計畫ヲ都市計畫トシテ統一決定セムトスルモノニシテ各町村ニ局限スル下水道ノ計畫ハ之ヲ別途ノ決定ニ委ネ兩者相俟テ郊外關係町村ニ於ケル下水道施設ノ完璧ヲ期セムトスルモノナリ而シテ本計畫ノ執行ニ付テハ各町村互ニ相關聯シ殊ニ唧筒場及汚水處分場ノ如キハ各町村ニ分割スルコト不可能ナルヲ以テ關係町村ノ組合事業トスルカ又ハ關係町村ヲ併セ所管スル上級行政廳ニ於テ執行スルヲ適當ト認メラルルモ所要經費ハ約六千百萬圓ノ巨額ニ上リ財政上重要ナル事項ニ屬スルヲ以テ本件計畫決定ノ上ハ更ニ慎重攻究ノ上適當ナル方法ヲ講ゼムトスルモノナリ



Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is faint and difficult to read, but appears to be organized into columns.

Table with multiple columns and rows of text, possibly a list or index. The text is very faint and illegible.

折り込み部分

未撮影

下水道管線平面圖

○復興局長官(中川望君) 本案ハ東京都市計畫郊外下水道ノ大體ノ計畫ヲ定メタイト云フ案デゴザイ
マス改メテ申上ゲル迄モナク、東京市郊外ノ發展ハ近年非常ナモノデゴザイマス、隨テ人家稠密、人
口ノ増加ガ著シク、爲ニ排出汚水ハ年ト共ニ其量ヲ増シマシテ、保健衛生上看過スベカラザル事情ニ
在ルノデゴザイマス、既ニ千住町、大崎町、王子町、大久保町ノ如キハ、下水道工事ヲ實施中デゴ
ザイマシテ、早イ所デハ一部ノ工事ヲ完了シテ居ルヤウナ譯デアリマス、又巢鴨町ハ次ノ第二百二十
九號議案ニ提出シテ居リマスガ、都市計畫事業トシテ此際決定ヲ見テ、直ニ著手實行致サントシテ
居ルノデアリマス、其外日暮里町、三河島町、南千住町ノ三箇所ハ、町村組合ヲ設立致シマシテ、
目下水道工事實施ノ準備中ニ在ルノデアリマス、其他ノ町村ニ於テモ相次デ下水道實施ノ氣運ヲ
醸成シツ、アルノデアリマス、而モ是等町村下水道ノ施行ハ、各其行政區域内ニ局限シテ居リマス
ルノデ、又汚水處分場ノ設備ノ如キハ、經費多額ヲ要シマスルシ、各町村毎ニ單獨ニ設置スルコト
ハ財政上至難ナルノミナラズ、技術上ニ於テモ亦不得策ト認メラル、ノデアリマス、故ニ此處ニ揭
ゲテアリマス地圖ヲ御覽ノ通り、東京市ヲ包圍シテ居リマスル周圍ノ四十一箇町村ニ亘リマシテ、
下水道ノ幹線ト唧筒場及汚水處分場ニ關スル計畫ヲ立テタノデアリマス、而シテ之ヲ都市計畫ト致
シマシテ統一決定シ、各町ニ於ケル既設ノ下水道ハ勿論、將來各町村ニ於テ施行セントスルモノト相
俟ツテ、事業ノ完璧ヲ期セントスルモノデアリマス、本件計畫ニ於ケル下水排除區域ハ、只今申シ

タ四十一箇町村デアリマシテ、面積ヲ申シマスルト約四千三百萬坪ニナリマス、地勢ノ關係ニ依リマシテ先刻讀上ゲマシタル如ク四ツノ排水系統ニ分割致シマシテ、砂町、三河島、石神井、羽田ノ四ツニ分ケテ居リマス、下水管渠ノ延長ハ十一萬一千三百二十米、低地ニ於テハ唧筒場ヲ設ケ、各排水系統毎ニ汚水處分場ヲ設置スル計畫デアリマス、本計畫ノ施行ニ付テハ、各町村互ニ關係シテ居リマス唧筒場、汚水處分場ニ付キマシテハ、各町村ニ分割スルコトハ不可能デアリマスカラ、是ガ執行ニ付テハ關係町村組合、又ハ之ヲ統轄シテ東京府知事ニ於テ執行スルコトヲ適當ト認ムルノデアリマスガ、其所要經費ハ約六千百萬圓ノ巨額ニ上ルノデアリマス、隨ツテ財政上重要ナル事項ニ屬シマスルノデ、先ヅ計畫ヲ定メテ置キマシテ、今後單獨ニ實施スルモノニ付テハ方針ヲ示シ、又全體ニ對スル執行ニ付テハ將來財政上十分慎重ナル考慮ヲ要スルモノト存ジテ居ルノデアリマス

○七十二番(佐藤久太郎君) 本案ハ關係地域モ相當廣汎ニ亘ツテ居リマスルシ、且ツ内容モ相當重大性ヲ持ツテ居ルモノト考ヘマス、仍テ議長指名十三名ノ委員ヲ設ケラレマシテ、慎重ニ審議セラレンコトヲ希望致シマス

○三十一番(有吉忠一君) 一寸參考ニ承ツテ置キタイノデアリマスガ、第二項ノ一日一人當リノ汚水量、ソレカラ最大降雨量、是ハドウ云フ所カラ御定メニナツタノデアリマスカ、一寸ソレヲ承ツテ置キタイ



○計畫課長(土岐銀次郎君) 私カラ一寸御答ヘ致シマス、一日一人當リ六立方尺ト云フ標準ヲ定メマシタノハ、是ハ水道ノ使用量ニ則ツテ居ルノデアリマス、現在ノ東京市ノ水道ノ使用量ハ、一日一人六立方尺トナツテ居リマス、郊外ノ或ハ澁谷ナリ其他ノ水道ノ使用量ハ、是ヨリ尙ホ少ナイノデアリマスケレドモ大體最高ノ使用量ハ東京市ノ六立方尺ニナツテ居リマスノニ則リマシテ、六立方尺ト云フ風ニ定メタノデアリマス、現在ノ東京市ノ下水道ノ一日平均ノ排水量モ、矢張六立方尺ヲ標準ニシテ居リマスカラ、ソレニ則ツタノデアリマス、ソレカラ雨水量ハ既往ノ降雨量ノ最大量ヲ氣象臺ニ依ツテ調査致シマシテ、ソレヲ標準ト致シテ、五十耗ト定メタノデアリマス

○三十一番(有吉忠一君) 解リマシタガ、其水道ノ使用量ト云フノハ計畫量デアリマスルカ、實際ノ使用量デアリマスルカ

○計畫課長(土岐銀次郎君) 現在ノ郊外ノハ、計畫トシテハ四立方尺位ノ計畫デアリマスガ、實際將來ノ使用量ヲ考ヘマスレバ、六立方尺位ニナル見込ニ致シテ居ルノデアリマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 七十二番佐藤委員カラ御發議ガアリマシタガ……

○五十三番(河田烈君) 只今ノ七十二番ノ說ニ私ハ賛成致スモノデアリマスガ、特別委員其他ノ今後ノ御審議ニ當リマシテ、此財源ニ付テノ御腹案ガアリマシタナラバ、御審議ノ資料ト致シテ當局ノ方カラ、其御用意ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、固ヨリ數千萬圓ニ亘ル大計畫デアリマスカラ、粗

不腹案デ宜シウゴザイマスガ、御審議ノ參考ニ供セラレタイト思ヒマス、尙ホ此、議第一二九號以下ニ於テモ、同様ノ場合モ生ズルト思ヒマスカラ、此際併セテ申上ゲテ置キマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 伺ツテ置キマス——只今ノ七十二番ノ御發議ニ御賛成モアリマシタガ左様計ヒマシテ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理潮惠之輔君) 御異議ハナイヤウニ認メマスカラ、特別委員ノ御指名ハ後刻申上ゲマス——次ニ議第一二九號東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割決定ノ件ヲ議題ト致シマス

〔幹事朗讀〕

議第一二九號

一、東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割決定ノ件
官計發第七號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割左ノ通決定セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月八日

内務大臣

安

達

謙

藏

第一 東京都市計畫巢鴨町下水道ヲ左ノ通定ム

東京都市計畫巢鴨町下水道

一 下水排除區域ハ東京府北豊島郡巢鴨町ノ内大字巢鴨一丁目、同二丁目及駒込染井竝鐵道用地ノ各一部ヲ除キタル區域ニシテ總面積約五十六萬六千八百十坪トス但シ地勢ニ依リ本町ニ流入スル隣接市町ノ一部ノ下水ハ是ヲ收容スル計畫トス

二 下水排除量ハ汚水量ハ全町人口ヲ約七萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十耗トシテ之ヲ定ム

三 下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水汚水ヲ同一管渠ニ收容シ自然流下ニ依リ谷田川、谷端川及惡水路ニ排出ス

四 下水管渠ノ構造ハ主トシテ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應ジテ陶管、鐵筋「モルタル」管、鐵筋「コンクリート」管及鐵筋「コンクリート」矩形渠ノ四種ヲ使用ス

五 地勢ニ依リ下水排除區域ヲ谷田川排水區、谷端川排水區及白山排水區ノ三區ニ分割ス
各區ノ區域、面積及下水道延長左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルベシ

谷田川排水區

區 域 大字上駒込、駒込妙義坂下及巢鴨三丁目ノ各全部並大字巢鴨二丁目、同四丁目、駒

込染井及巢鴨ノ各一部

面 積 約三十萬五千九百坪

下水道延長 約二萬百七十九米

谷端川排水區

區 域 大字巢鴨及巢鴨四丁目ノ各一部

面 積 約二十三萬九千六百八十坪

下水道延長 約一萬六千六百八十六米

白山排水區

區 域 大字巢鴨一丁目、同二丁目及巢鴨ノ各一部

面 積 約二萬一千二百三十坪

下水道延長 約二千二百四十米

(圖面表示)

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ヨリ昭和八年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモ

ノトシ其ノ年割左ノ通定ム

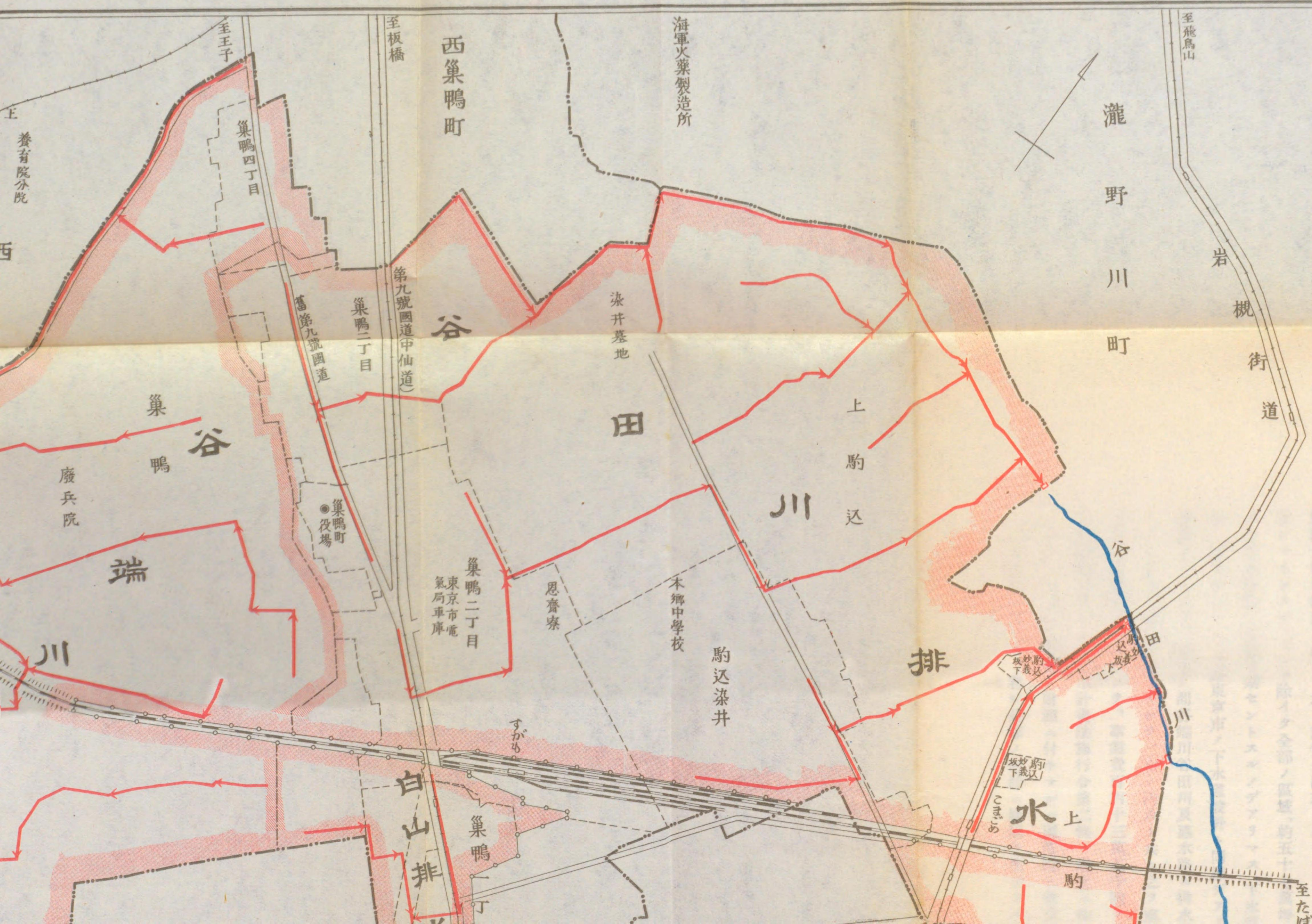
下水道事業執行年割

昭和四年度	約一割六分
昭和五年度	約二割六分二厘
昭和六年度	約二割七分四厘
昭和七年度	約二割三厘
昭和八年度	一割一厘

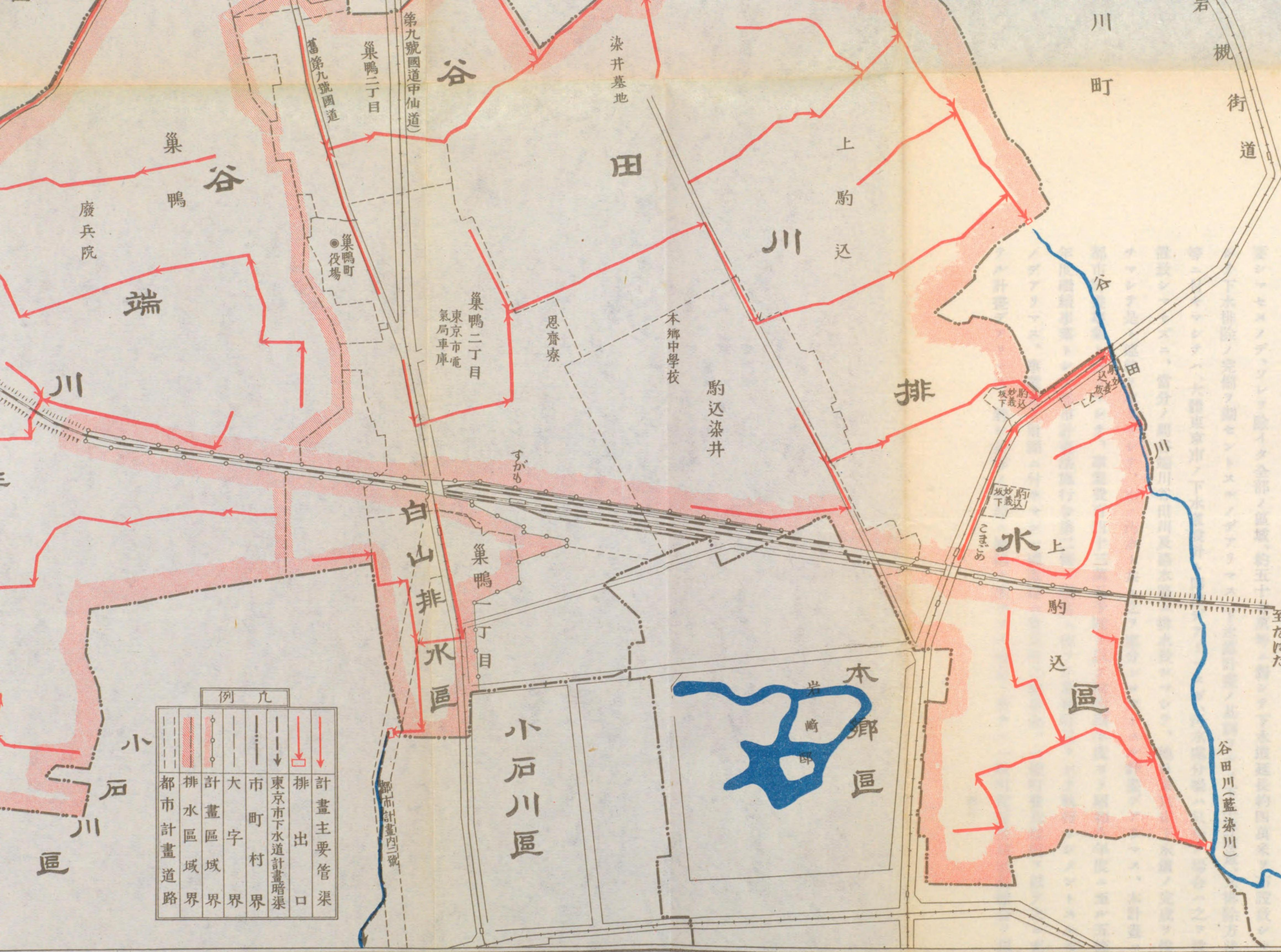
說 明

本案ハ東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割ヲ決定セムトスルモノニシテ近時東京市ノ發展ハ漸次郊外ニ波及スルニ伴ヒ本町ノ戸口モ亦逐年増加スルニ不拘下水ノ排除良好ナラザル實狀ニ鑑ミ茲ニ殆ド全町ニ亘ル下水道布設ノ計畫ヲ樹立シ之ヲ都市計畫事業ト定メ經費百四十三萬五千圓ヲ以テ昭和四年度ヨリ昭和八年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ巢鴨町長ヲシテ事業ヲ執行セシメムトスルモノナリ

東京都市計畫巢鴨町下水道平面圖



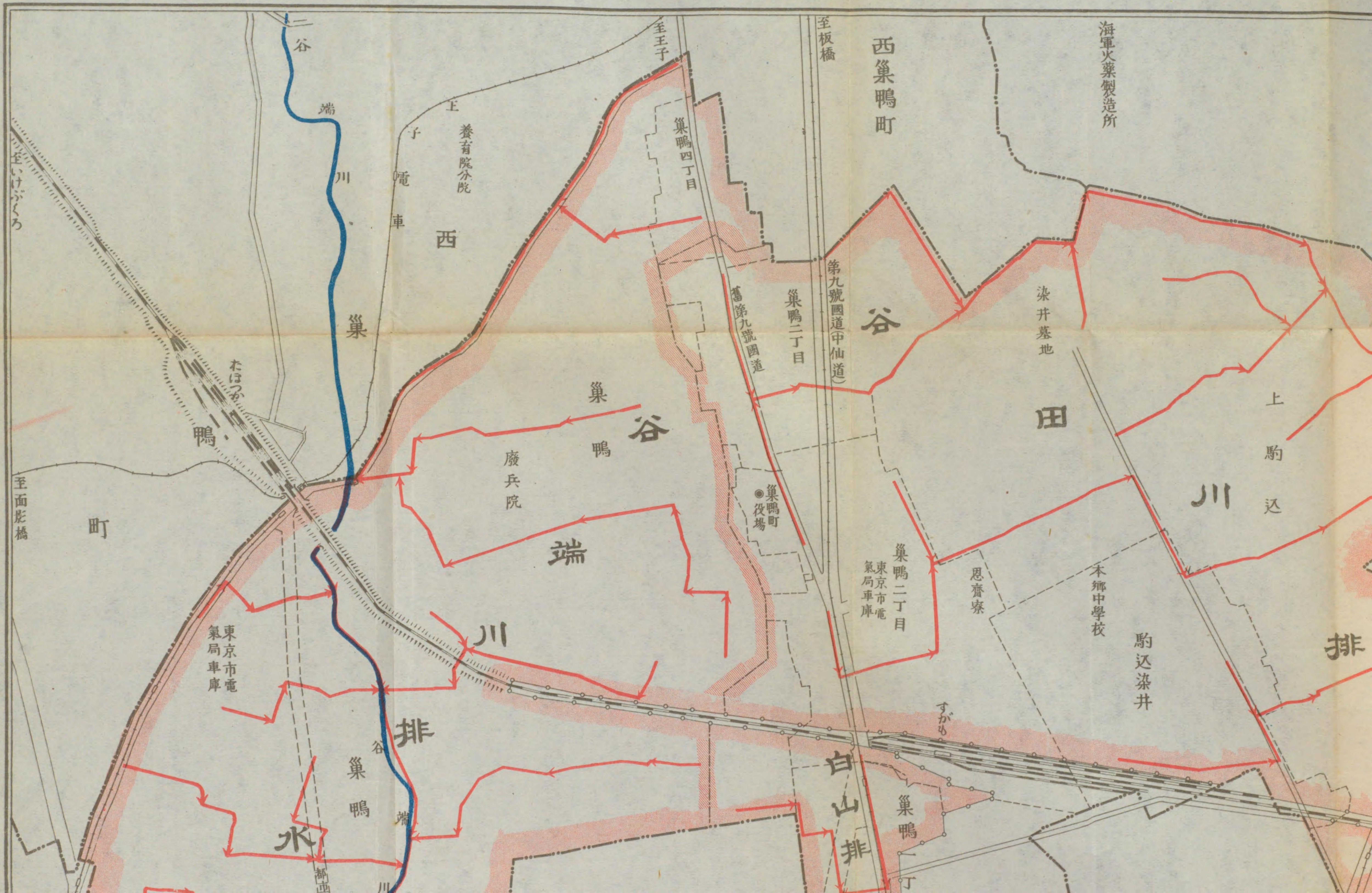
計畫巢鴨町下水道平面圖



例 凡

	計畫主要管渠
	排出口
	東京市下水道計畫暗渠
	市町村界
	大字界
	計畫區域界
	排水區域界
	都市計畫道路

此圖係根據東京市下水道計畫委員會之計畫而繪製者也。其間所繪之管渠及排出口等。均係根據該委員會之計畫而繪製者也。其間所繪之管渠及排出口等。均係根據該委員會之計畫而繪製者也。其間所繪之管渠及排出口等。均係根據該委員會之計畫而繪製者也。



海軍火薬製造所

西巢鴨町

至板橋

至王子

養育院分院

子電車

巢鴨四丁目

第九號國道(中仙道)

巢鴨二丁目

舊第九號國道

染井基地

上駒込

巢鴨谷

廢兵院

●巢鴨町役場

川

端

巢鴨二丁目
東京市電
氣局車庫

恩齋寮

本郷中學校

駒込染井

東京市電
氣局車庫

川

排

白山排

巢鴨一丁目

水

巢鴨

端

川

町

排

至いげくろ

至面影橋

本ほろ

鴨

二谷

端

川

巢

西

谷

田

排



例 凡

都市計畫道路	排水區域界	排水出口	計畫主要管渠
大字界	計畫區域界	東京市下水道計畫暗渠	排水出口
市町村界	計畫區域界	東京市下水道計畫暗渠	排水出口

たほり
鴨

廢兵院

●巢鴨町
役場

巢鴨二丁目
東京市電
氣局車庫

恩齋寮

本郷中學校

駒込染井

東京市電
氣局車庫

巢鴨一丁目

養育院

都西計畫二等「第十四號」

谷端川(千川)

都西計畫四號

小石川區

本郷區
岩崎

至面影橋

町

小石川區

區

白山排水區

巢鴨谷排水區

水

川

端

巢鴨

谷

谷

染井基地

田

川

上駒込

排

小石川區

本郷區



養葉御用軍水並平面圖

○復興局長官(中川望君) 御説明致シマス、巢鴨町ノ現在ノ下水ノ排除ハ極メテ不完全ナ道路ノ側溝
 竝ニ悪水路ニ依ル外ハナイノデアリマシテ、到ル處ニ汚水ガ停滞致シテ居ルノデアリマス、雨水モ亦
 降雨毎ニ汎濫シ易イノデアリマス、随ツテ悪疫猖獗ヲ極メルト云フヤウナ状態デアリマス、其傳染
 病豫防費モ年々約五六萬圓ヲ要シテ居ルト云フヤウナ譯デ、極メテ不健康ノ状態ニアルノデアリマ
 ス、仍テ町ニ於キマシテ下水道實施ノ計畫ヲ定メタノデアリマス、本町ノ中ノ岩崎邸開放地附近ノ
 所謂大和村附近ハ既ニ下水ノ設備ガ出來テ居リマス、ソレト巢鴨ノ境ノ所ノ鐵道用地ノ所ハ下水ヲ
 要シマセヌノデ、ソレヲ除イタ全部ノ區域、約五十七萬坪ニ對シテ下水道延長約四萬米ヲ布設致シマ
 シテ下水排除ノ完備ヲ期セントスルノデアリマス、下水道計畫ノ基調ヲナス下水排除量、又排除方法
 等ニ付キマシテハ、大體東京市ノ下水道設計ト同様デアリマスガ、汚水處分場ハ只今ノ場合ハ之ヲ設
 置致シマセズニ、當分ノ間谷端川谷田川及悪水路ニ排水致シマシテ、他日東京市下水道ノ完成ヲ俟
 チマシテ是ト連絡ヲ取リマシテ、市ノ汚水ト共ニ之ヲ處分シヨウトスル計畫デアリマス、本計畫ハ
 都市計畫事業ト致シマシテ、事業費百四十三萬五千圓ヲ以テ昭和四年度ヨリ昭和八年度ニ至ル五箇
 年度繼續事業トシテ都市計畫法施行令第二條ノ規定ニ依ツテ巢鴨町長ヲシテ執行セシメントスルモ
 ノデアリマス、事業費ノ財源ニ付キマシハ國庫竝ニ東京府ノ補助金、一般町費及起債ヲ以テ之ニ充
 テル計畫デアリマス、若シ是等ノ財源ニ缺陷ヲ生ジタル場合ニ於テハ一般町稅竝受益者負擔金ヲ以

テ補填セントスル計畫デアリマス

○七十二番(佐藤久太郎君) 本案ハ巢鴨町一箇町ノ下水道計畫デゴザイマス、只今長官ノ御説明ニ依リマシテ其計畫ノ内容等モ適當ノモノト考ヘマス、要スルニ本案ハ洵ニ適當ナ案ト考ヘマスルガ故ニ、原案通り即決可決確定アラシコトヲ希望致シマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 七十二番カラ御發言ガアリマシタガ、之ニハ御異存ハゴザイマセヌカ「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 別ニ御異存ナイヤウニ存ジマスカラ、本案ハ可決確定サレタモノト認メマス——次ハ議第一三〇號、東京都市計畫東京市下水道(失業救濟)事業執行年割決定ノ件ヲ議題ト致シマス

議第一三〇號

一、東京都市計畫東京市下水道(失業救濟)事業執行年割決定ノ件
官計發第四九〇號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫東京市下水道(失業救濟)事業執行年割左ノ通決定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫東京市下水道事業中第一區ニ屬スル高段、低段ノ枝線及同區中段ノ幹枝線竝第三區ニ屬スル枝線ノ各一部ハ之ヲ失業救濟事業トシテ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

說 明

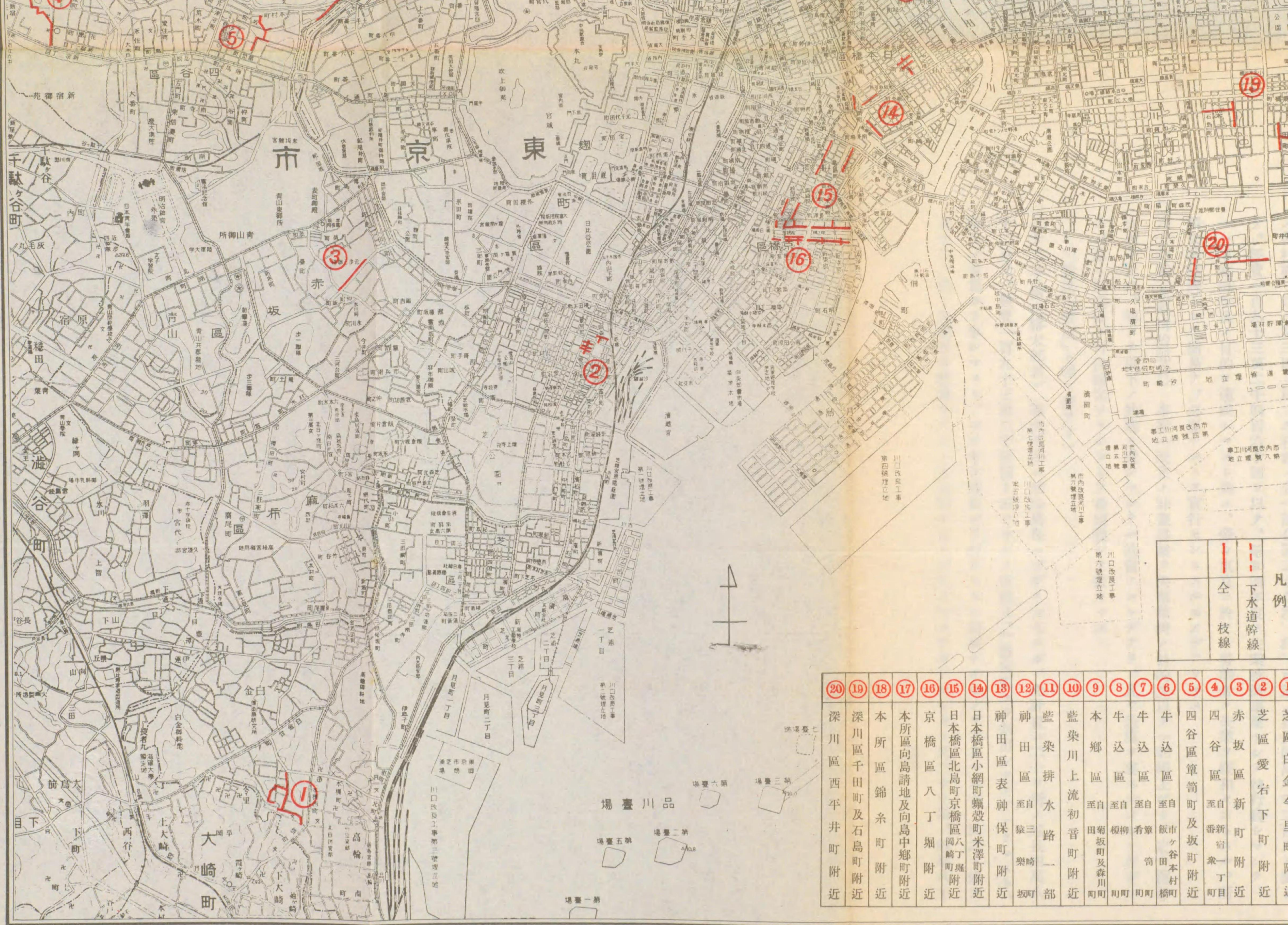
本案ハ東京都市計畫東京市下水道事業中第一區ニ屬スル高段、低段ノ枝線及同區中段ノ幹枝線竝第三區ニ屬スル枝線ノ各一部合計二十箇所此ノ延長四萬八千二百尺ヲ失業救濟事業トシテ經費百九十三萬二千餘圓ヲ以テ昭和四年度ニ於テ執行セムトスルモノナリ

東京市都京東畫計市京東畫計市都京東 事業施行箇取圖 (失業救濟)



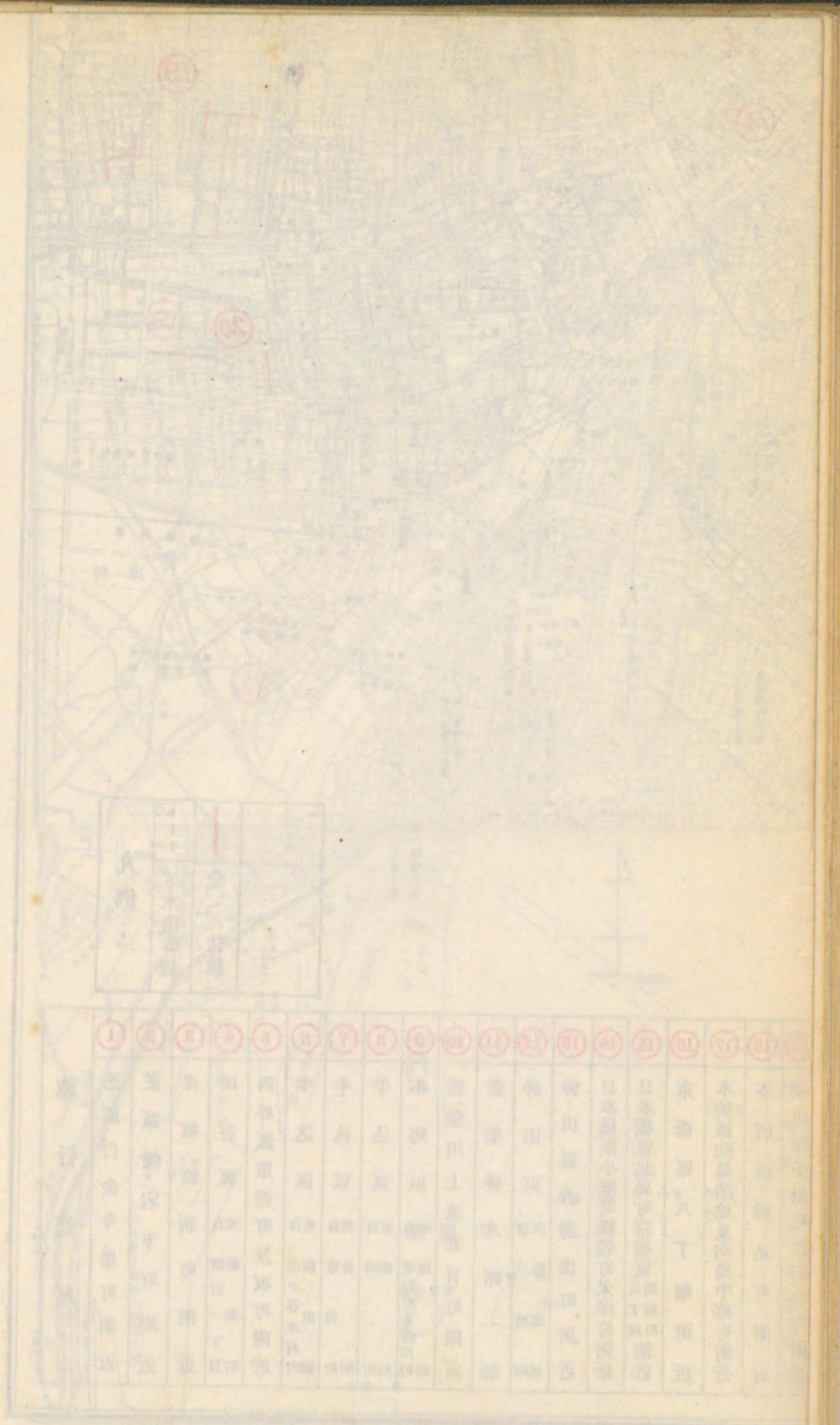
東京市都市計畫東京市下水水道事業施行箇圖 (失業救濟)





全枝線	下水道幹線	凡例
-----	-------	----

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------------|----------|-----------------|----------|-----------------|-----------------|-----------|------------|---------|------------|---------------|---------|----------|---------------|------------|-------------|------------|----------|----------|
| 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 深川區西平井町附近 | 深川區千田町及石島町附近 | 本所區錦糸町附近 | 本所區向島請地及向島中郷町附近 | 京橋區八丁堀附近 | 日本橋區北島町京橋區岡崎町附近 | 日本橋區小網町蠣殼町米澤町附近 | 神田區表神保町附近 | 神田區至自猿樂崎坂町 | 藍染排水路一部 | 藍染川上流初音町附近 | 本郷區至自田菊坂町及森川町 | 牛込區至自柳町 | 牛込區至自肴筆町 | 牛込區至自飯市ヶ谷本村橋町 | 四谷區筈町及坂町附近 | 四谷區至自番新宿一丁目 | 赤坂區至自新宿一丁目 | 芝區愛宕下町附近 | 芝區愛宕下町附近 |



○復興局長官(中川望君) 本案ハ都市計畫東京市下水道事業ノ一部ノ執行年割ヲ決定セントスルモノデアリマス、東京市下水道事業ノ一部ハ、帝都復興事業トシテ、又速成事業トシテ、目下ソレハ執行中ニ屬スルデアリマス、尙同上ノ工事ノ中、第一區ニ屬スル高段、低段ノ枝線、及ビ同區中斷ノ幹枝線、竝ニ第三區ニ屬スル枝線ノ各一部合計二十ヶ所、此下水道ノ延長四萬八千二百尺ニ對シテ、經費一百九十三萬二千四百六十圓ヲ以テ、昭和四年度ノ失業救濟事業トシテ執行致シマシテ、一ハ下水道改良ノ目的ヲ達成シマスト共ニ、旁々東京ニ於ケル勞働者ノ失業ヲ緩和セントスル、所謂失業救濟トシテ簡易ナ、必要ナコトヲ實行セントスルモノデアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案ハ既定ノ計畫事業ヲ失業救濟ノ目的ヲ以テ一部繰上ゲテ、之ヲ施行スルト云フ、極メテ目下ノ状態ト致シマシテハ適當ノコトデアリ、且ツ急施ヲ要スルコト、存ジマス、速ニ原案通り可決確定アラントヲ希望致シテ置キマス

「賛成」 「賛成」ト呼フ者アリ

○二十二番(横山勝太郎君) 即決可決ハ無論異存ハゴザイマセヌガ、此計畫ハ二十ヶ所ノ延長四萬八千二百尺、經費一百九十三萬二千餘圓ト云フコトノ目標ヲ、一體何處カラ割出シタノデアリマスカ、吾々ノ希望カラ申シマス、モウ少シ擴張シテ行クコトハ出來ナイモノデアリマスカ、又之ニ依テ凡ソドノ位ノ失業者ヲ救濟スルコトガ出來ルモノデアリマセウカ、ソレカラ又二十ヶ所、四萬八千

二百尺ト云フモノヲ、四年度ニ於テ執行スルト云フコトデアリマスガ、果シテ四年度ニソレガ執行出來マスカ如何デアリマスカ、此數點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○四十三番(堀切善次郎君) 只今ノ御質疑ハ直接私ノ方ノ關係デアリマスカラ、便宜上私カラ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、成ルベク事業ノ範圍ヲ餘計致シマシテ、事業ヲ促進致シマスルコトハ最モ希望スル所デアリマスガ、財源ノ關係モアリマスシ、又是ハ失業救済トシテ致シマスノニ一定ノ期間内ニ於テ之ヲ監督シ、實施ニ當ル者ノ方ノ力ノ限度モアリマスノデ、ソレ等ヲ考慮致シマシテ、一百九十三萬圓ト云フ約二十箇所ノ程度ニ止メ次第デアリマス、此仕事ヲ四年度ノ救済事業ト致シテ居リマシテ、四年度ノ間ニ失業救済ニ依ツテ之ヲヤル積リデアリマス、併ナガラ出來ルダケ全力ヲ注イデ居リマスガ、或ハ仕事ノ進行ノ状態ニ依ツテ、此中ノ一部分ガ、或ハ四月以降ニナルカ知レマセヌ、出來ルダケ急イデヤル積リデ居リマス、之ニ依ツテ救済スル人員ハ、只今宙ニ覺エテ居リマセヌカラ、土木局長ノ七十五番カラ御答へ申スコトニ致シマス

○七十五番(近新三郎君) 此事業ニ依ツテ救済セラレル人員ハ三十二萬人ノ見込デアリマス

○二十二番(横山勝太郎君) 能ク分リマシテゴザイマスガ、實ハ斯ウ云フ計畫ガ出來ルモノト致シマスレバ、能フベクンバ舊臘中ニ於テ御願ヒシタイトマデ考ヘル程ノ事柄デアリマシテ、洵ニ其御趣旨ハ賛成デアリマス、又其計畫ヲセラレタル當局ニ對シテハ、大ニ敬意ヲ表スルモノデアリマスガ

茲ニ一ツ承リタイコトハ、此計畫ヲ爲サレタ原因ハ、此一般ノ不景氣ト云フコトニ因テ失業者ガ殖エルト云フコトヲ御認メニナツテ、爲サレタコトデアリマスカ、モウ少シ言葉ヲ盡シテ申シマスレバ、此頃政府ガ所謂金解禁ノ政策ヲ實行致シタルガ爲ニ、特ニ不景氣ヲ誘致シテ、是ガ爲ニ失業者ガ増加スルノデアアルカラ、或ハ又産業ノ合理化ニ依ツテ或ル程度ノ失業者ヲ増スノデアアルカラ、之ヲ救済スルト云フ意味デ本案ヲ御提出ニナツタノデアリマスカ、或ハサウ云フコトニ關係ナク、一般ニ失業者ガ増加スルノ傾向アルノ故ヲ以テ、爲サレタル計畫デアリマスカ、之ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、而シテ斯ウ云フ計畫ハ洵ニ結構ト思ヒマスガ、本年度ニ於テハ更ニ之ヲ擴張シテ、斯ウ云フ様ナ御趣旨ノ御提案ヲ爲サル御見込ガアルノデアリマセウカ、ドウデゴザイマセウカ、吾等ノ希望トシテハ、ドシノスウ云フコトヲヤツテ戴イテ、一面ニ於テ失業者ヲ救済スルト同時ニ、一面ニ於テ保健、衛生ニ關係アル事業ヲ速ニ仕遂ゲテ戴キタイト云フ精神デアリマス、之ニ對シテ簡單デ宜ウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○四十三番(堀切善次郎君) 只今ノ御質疑デゴザイマスガ、此仕事ハ是カラ始メル今後ノ計畫デアリマセヌ、昨年末以來此冬ノ間ノ失業ニ對スル對策トシテ、昨年末カラ實ハ始メテ居リマスノデスガ此特別都市計畫委員會ガ開會ニナリマス機會ガアリマセヌ爲ニ、御都合デ今日御提案ノ運ビニナツタコト、存ジテ居リマスガ、サウ云フ次第デアリマシテ、目下ノ金解禁後ノ只今ノ失業状態ニ應ズ

ルト申シマスヨリモ、昨年末以來此冬ニ對スル失業ノ救済デアリマシテ、昨年十一月以後此仕事ニ著手シテ居リマス次第デアリマス、而シテ是ハ此三月或ハ其以後迄之ヲヤル次第デアリマシテ、今年度ノ失業ニ對シマシテハ今年度、即チ五年度ノ失業ニ對シマシテハ、又政府ノ御方針ニ依リマシテ四月以降モ更ニ續ケル必要ガアレバ、更ニ考慮イタシマス、此五年ノ暮ニハ失業救済ノコトヲ考慮スル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ際ニハ他ノ場所ニ就テ下水道ノ仕事ノ促進ヲ圖リタイト思ヒマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 先刻太田委員ノ御發議ガアリマシタガ、其様ニ取計ヒマシテ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ本案ハ原案通り決定致サレマシタ——次ハ議百三十一號東京市區改正設計深川公園區域變更ノ件

〔幹事 朗讀〕

議第一三一號

一、東京市區改正設計深川公園區域變更ノ件

官計發第八號

特別都市計畫委員會

東京市區改正設計公園之部中左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十一日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京市區改正設計公園之部中第八號深川公園ノ位置ヲ別紙圖面ノ通改メ面積「凡一萬七千八百坪」ヲ「凡七千七百四十六坪」ニ改ム

說 明

本案ハ東京市區改正設計深川公園ノ面積約一萬七千八百坪ノ區域中神社及不動尊堂境内地等直接公園ニ利用セザル面積約九千三百六十二坪ヲ除却シ面積約七千七百四十六坪ニ變更セムトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 本案ハ東京市區改正設計ノ深川公園ノ地域及ビ面積ヲ變更セントスルモノ
デアリマス、深川公園ハ相當古イ歴史ヲ持テ居リマシテ明治六年太政官布告第十六號ニ基イテ、富岡
八幡神社境内ヲ公園トシテ居リマシタガ、明治二十一年十一月當時國有地デアリマシタ同神社境内
面積一萬八千六百七十九坪ヲ、市區改正設計公園トシテ議定致シタデアリマス、其後明治三十二年
四月制定ニ係ル國有土地森林原野下戻法ニ依リマシテ、是ガ下戻ヲ神社ヨリ申請致シマシテ、其結果
ハ既ニ行政訴訟ニモ及ビ、明治四十四年四月當時ノ公園區域一萬九千三百二十五坪餘ハ、全部富岡
八幡神社ノ所有ニ歸屬致シタノデゴザイマス、爾來同神社ニ於テハ屢々公園ノ解除ヲ申請致シタノ
デアリマスガ、未解決ノ儘今日ニ及ンデ居ルデアリマス、其間ニ公園區域ハ兩三回ニ亘ツテ變更
ニナリマシタガ、現在面積一萬七千八百八坪ヲ持ツテ居リマス、然ル處神社ト市トノ間ニ公園一部解
除ノ協定ガ成立チマシタ、神社及ビ不動尊ノ祭典用、又其神社ノ尊嚴保持上必要ニシテ、直接公園
ニ利用セザル面積九千三百六十二坪ヲ公園區域ヨリ除却致シマシテ、其面積ヲ七千七百四十六坪ニ
改メントスルデアリマス、除却部分ノ中四千二百五十九坪ハ、神苑トシテ尊嚴ヲ害セザル程度ニ
於テ、公衆ノ散步ニ利用スルコトヲ妨ゲザルモノデアリマス、是モ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○本十(本十) (本十) 本案ハ只今(本十) (本十) 土地(本十) (本十) 富岡八幡(本十)

深川公園區域變更圖

川 堀 油

不動尊

八幡神社

社務所



動尊

八幡神社

社務所



深川公園區域變更圖

油堀川

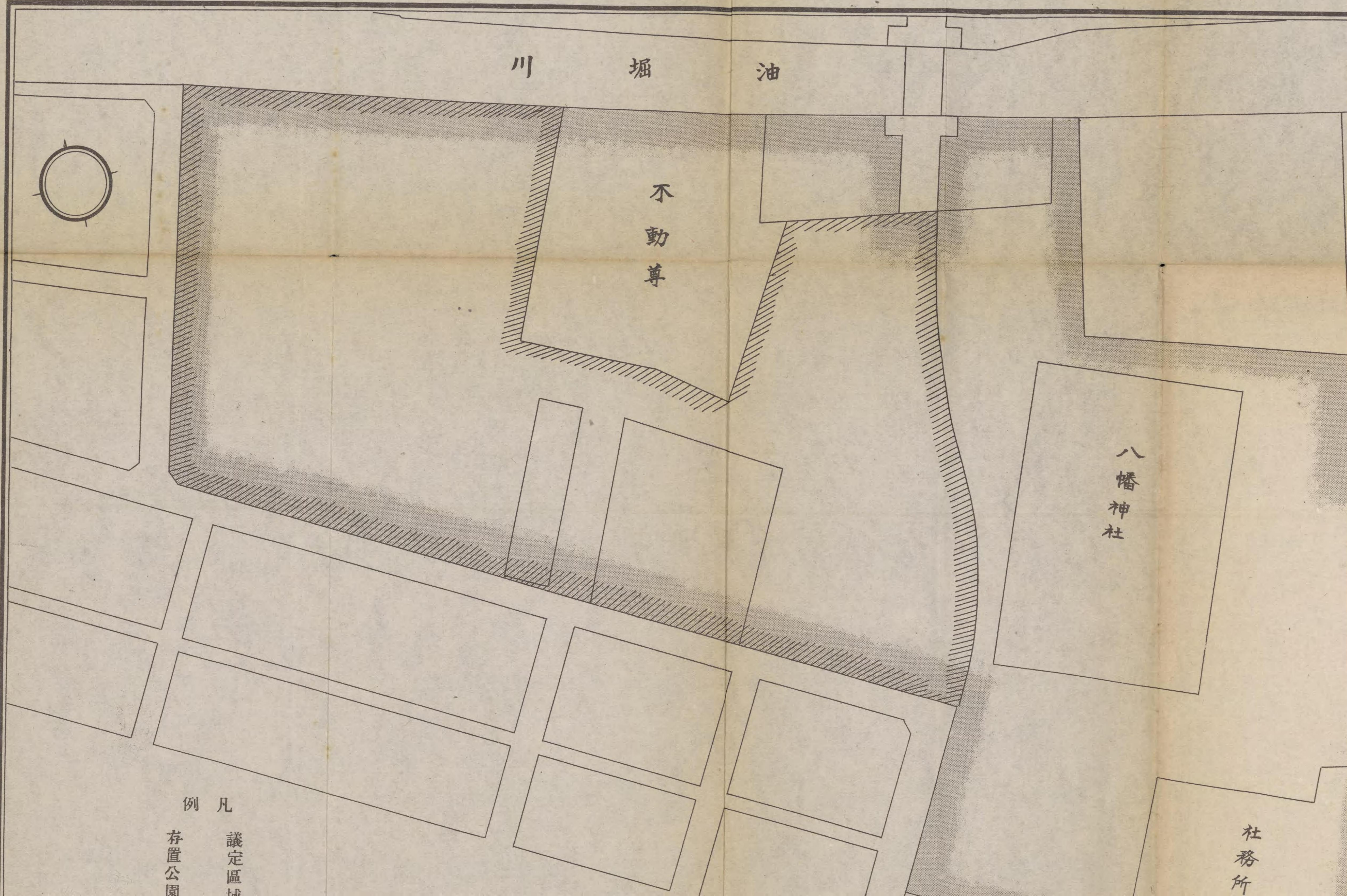
不動尊

八幡神社

社務所

例 凡

議定區域
存置公園



動尊

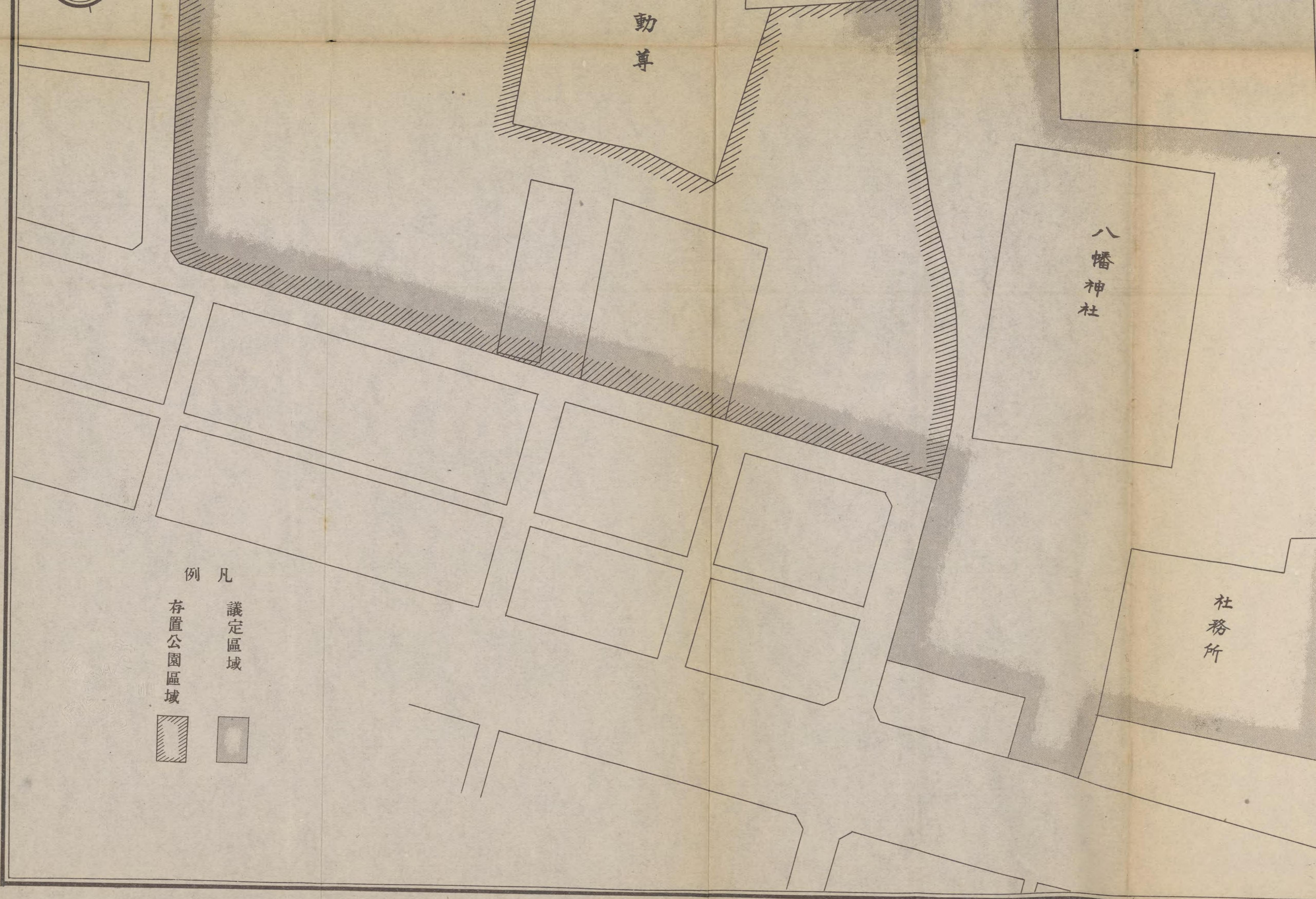
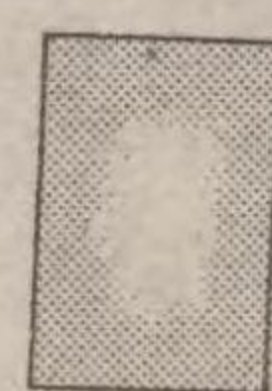
八幡神社

社務所

例 凡

議定區域

存置公園區域



○六十七番(太田信治郎君) 本案ハ只今御説明ノアリマシタ通り、土地所有者タル所ノ富岡八幡神社ト東京市トノ間ニ、多年ノ懸案トナツテ未解決デ居リマシタガ、時偶大震火災ノ結果、區劃整理ガ行ハレルコトニナリマシテ、此區劃整理ノ事業ト相俟テ解決ガ付キマシテ、本案ヲ御提出ニ相成ツタ運ビト存ジマス、洵ニ適當ナコト、存ジマシテ、原案ノ通り速ニ可決アラシコトヲ希望致シマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 太田委員ノ御發言ノ通り決定シテ御異存アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ原案ノ通り決定セラレマシタ——次ハ議第一三二號東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修中變更ノ件ヲ議題ト致シマス

「幹事 朗讀」

議第一三二號

一、東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修中變更ノ件

(第四號路線關係)

官計發第四八三號

特別都市計畫委員會

昭和四年八月六日內務省告示第二百七十二號東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修ノ件左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年十二月二十四日

內務大臣 安 達 謙 藏

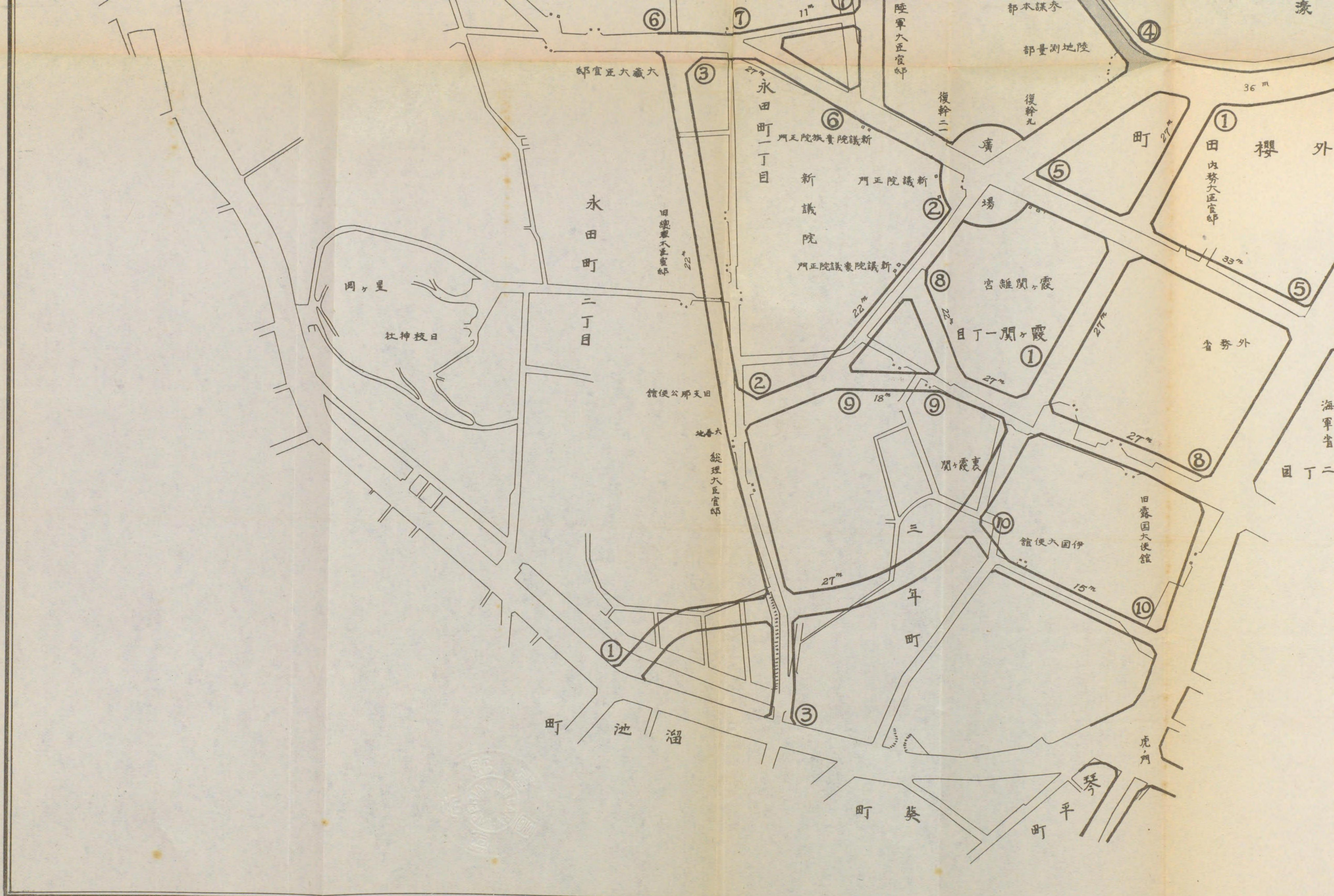
昭和四年八月六日內務省告示第二百七十二號東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修中第一街路第三號路線ノ次ニ左ノ路線ヲ加フ

路線番號	路 線	延 長 (約)	幅 員
四	麴町區永田町一丁目參謀本部下ヨリ三宅坂ニ至ル	四一七 ^米	一九・三 ^米

(圖面表示)

說 明

本案ハ曩ニ決定シタル中央諸官衙建築地域内ニ於ケル街路ノ改修計畫ニ一路線ヲ追加セムトスルモノナリ



郵官大臣官邸

陸軍大臣官邸

陸地測量部

永田町一丁目

新議院議事院

新議院

新議院議事院

復幹二

復幹九

田内務大臣官邸

永田町

旧總務大臣官邸

日星

日枝神社

永田町二丁目

旧天那公使館

大藏大臣官邸

霞ヶ関離宮

霞ヶ関一丁目

裏霞ヶ関

伊豆園大使館

旧露國大使館

溜池町

年町

英町

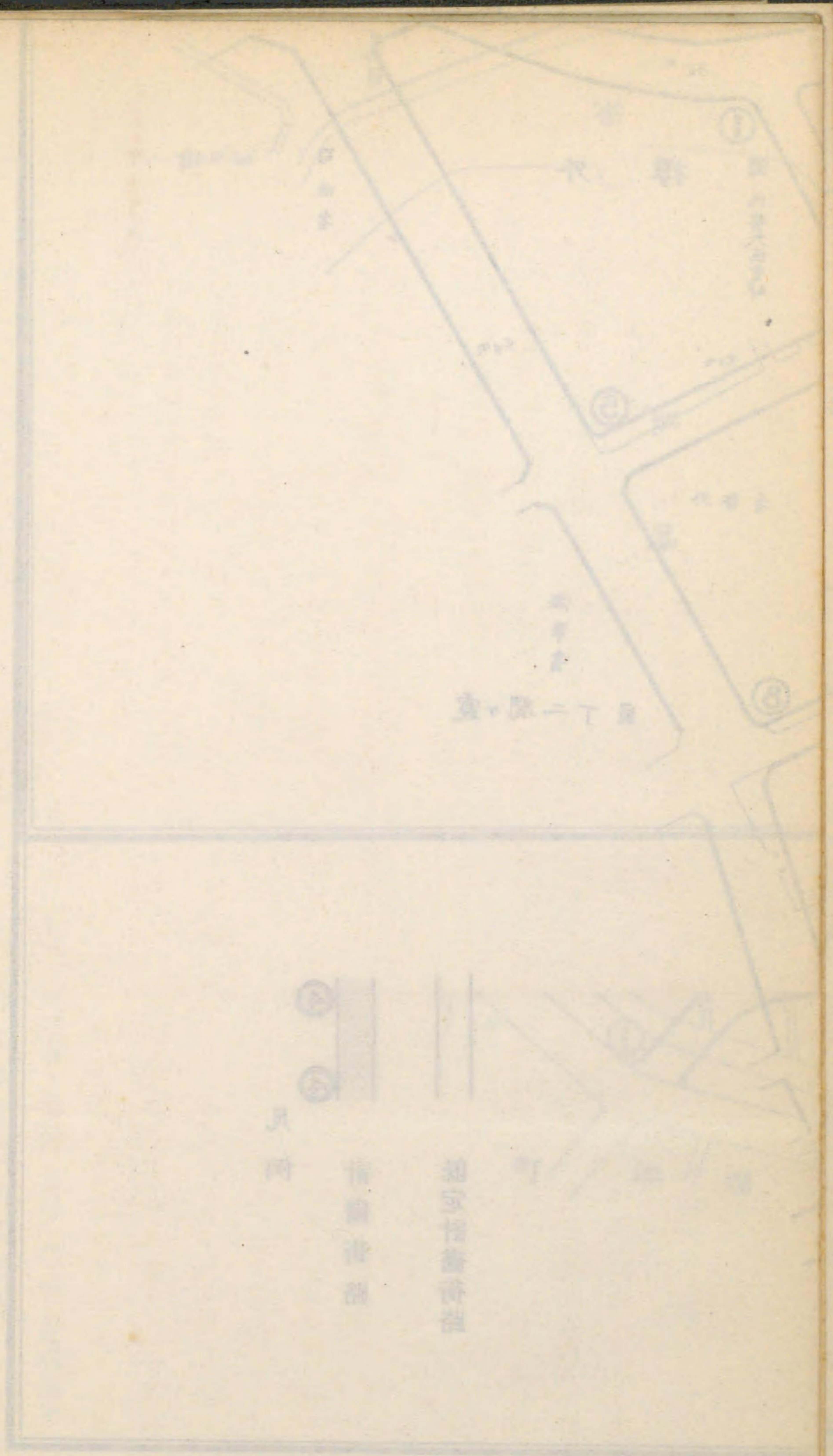
琴平町

虎門

海軍省
二丁目

○復興局長官(中川望君) 本案ハ曩ニ本會ノ御審議ヲ願ツテ決定セラレマシタ中央諸官衛建築地域内ニ於ケル東京都市計畫街路中ニ第四號路線ヲ附加ヘタイト云フノデアリマス、此路線ハ前回ノ本會議ニ於キマシテ、陸軍省ノ建物ノ側ニ於ケル風致保存ノ關係上内濠堤塘敷地側ニ擴張スルヤウニ更メテ提案スルヤウニト云フコトデ除カレテ居ルノデアリマス、再調ノ上ニ計畫ヲ立テマシテ此内濠堤塘敷地ハ世傳御料デアリマスルノデ其御料地ニ關シマシテ皇室林野局長ノ内諾ヲ求メマシタ所、皇室財産令第十五條ノ規定ニ依ツテソレノ手續ヲ履マナケレバナラヌガ、其手續ヲ履ムニ於テハ大體差支ナイ見込デアルト云フ回答ニ接シマシタノデアリマス、ソレデ本案ノ通り決定致シタイト思フノデアリマス、中央諸官衛建築準備委員會ニ於キマシテモ本線ニ付キマシテハ本案ト同様ニ變更スルヤウニ先般決議ニナツタ事ヲ同會ヨリ通告ニ接シテ居リマス、本計畫ノ執行ニ付キマシテハ更ニ御料地ノ使用方ニ關シマシテ其筋ニ對シテ正式ノ手續ヲ要スルノデアリマスガ、此案其モノハ本會ニ於テ御認メヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案ハ既ニ本會ニ於キマシテ特別委員ニ付託サレマシテ、委員ハ實地踏査ヲ致シテ、數回ノ委員會ニ於キマシテ審議ノ上確定サレタ案デアリマス、但シ其當時宮内省ノ御關係ガアリマスノデ直チニ提案ヲスル運ビニナリマセヌ爲ニ、僅ニ其一部ヲ殘シテ可決セラレタ次第デアリマス、仍テ本案ヲ原案通り御可決アランコトヲ希望致シマス



○議長(會長代理潮惠之輔君) 六十七番御發議ノ通り直チニ決定シテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 然ラバ本案ハ原案リ決定サレマシタ——次ハ議第一三三號東京都市計
畫道路ノ新設改修中變更ノ件ヲ議題ト致シマス

〔幹事 朗讀〕

議第一三三號

一、東京都市計畫道路ノ新設、改修中變更ノ件

(幹線放射道路第一號路線關係)

官計發第二六號

特別都市計畫委員會

昭和二年八月十八日內務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中左ノ通變更セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

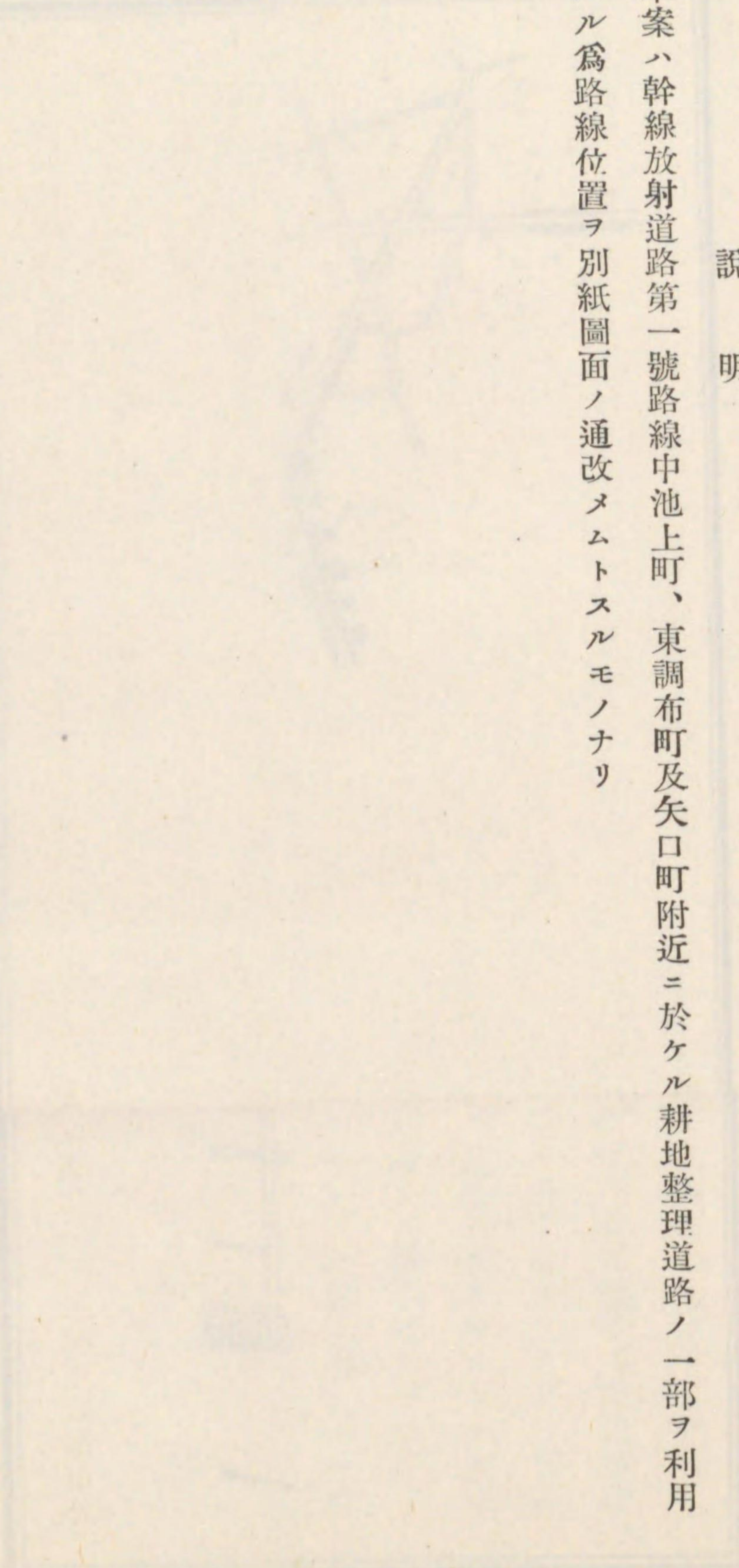
昭和五年一月十三日

內務大臣 安 達 謙 藏

昭和二年八月十八日內務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中幹線放射道路第一號路線
ノ位置ヲ別紙圖面ノ通改ム

說 明

本案ハ幹線放射道路第一號路線中池上町、東調布町及矢口町附近ニ於ケル耕地整理道路ノ一部ヲ利用
スル爲路線位置ヲ別紙圖面ノ通改メムトスルモノナリ



○復興局長官(中川望君) 本案ハ昭和二年八月ニ決定サレマシタ東京都市計畫道路ノ新設改修中幹線放射道路第一號路線ノ位置ヲ變更シタイト云フノデアリマス、此路線ハ大崎町ニ始マリマシテ、大井町池上町ヲ經マシテ南方矢口ノ渡ニ至ル路線デアリマス、幅員ハ二十五米、延長ハ八千百五十六米デアリマス、其中池上町、東調布町、矢口町地内ニ於ケル計畫ハ、本件路線ノ調査當時、耕地整理ノ計畫ガアツタノデアリマシテ、其耕地整理ニ依ル道路ト一致セシムル積リデアリマシタガ、實際耕地整理ヲヤリマシタ結果ニ徴シマスルト、此部分ダケガ兩者間ニ多少ノ差異ヲ生ズルコトニナツタノデアリマス、延長約二千二百七十三米デアリマスガ、之ヲ添附圖面ノ通りニ變更致シマシテ、耕地整理ニ依ル道路ヲ初メカラノ豫定ノ如ク、利用シヨウト云フノデアリマス、其爲ニ變更シタ次第デアリマス

○六十番(伊藤武七郎君) 只今御説明ノ如ク此第一三三號案ハ、耕地整理ノ道路ヲ利用スルノデアリマス、非常ニ便宜ナモノデアリマスカラ、本案ハ即決可決アランコトヲ希望致シマス
「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 只今六十番ヨリ御發議ノ通り御異存ハゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 然ラバ本案ハ原案通り決定シマス——次ハ議第一三四號東京都市計畫事業執行年割決定ノ件ヲ議題ト致シマス

〔幹事朗讀〕

議第一三四號

一、東京都市計畫事業執行年割決定ノ件

(二等大路第二類第一號路線關係)

官計發第二一號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業執行年割左ノ通決定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十一日

内務大臣 安 達 謙 藏

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部二等大路第二類第一號路線中起點ヨリ赤坂離宮鮫ヶ橋門前ニ至ル區間ハ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

說 明

本案ハ東京都市計畫事業街路中二等大路第二類第一號路線ノ一部ヲ失業救濟事業トシテ昭和四年度ニ執行セムトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 此事業モ失業救濟ノ一ツデアリマシテ、四谷區仲町學習院ノ前ヨリ赤坂離宮鮫ヶ橋門前ニ至ル延長百九十八間ノ區間ヲ失業救濟事業トシテ事業費五萬二千餘圓ヲ以テ、昭和四年度ニ於テ執行セントスルノデアリマス、本路線ノ中、明治神官内外苑ヲ連絡スル區間、竝ニ鮫ヶ橋門前カラ權田原町ニ至ル區間ハ既ニ執行済デアリマシテ、今回執行スル區間ト併セテ、是ガ完成シマスルト、全線完成スルノデアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案モ失業救濟ノ意味ヲ含ンダ所ノ、而モ極メテ簡單ナル案デアリマスカラ、原案ノ通り即決可決アランコトヲ希望致シマス、併シ其前ニ一寸私ハ質問致シタイ事ガアリマスカラ御許シヨ願ヒタイ、復興局長官ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、復興局ノ事業ハ承ル所ニ依リマスルト、本年度ヲ以テアラ方完成スルコトガ出來ルヤウニ承ツテ居リマス、所デ復興局ノ從

業員ハ、ソレノ他ニ轉職若クハ自立ノ途ヲ講ジテ居ラル、カ如何デアルカ知リマセヌガ、相當又失業者ヲ見ラレルヤウニ承ツテ居リマスカラ、復興事業ガ完成シマスレバ、残ツテ居ル人々ガ將來ノ生活上ニ付テハ、頗ル不安ニ堪ヘナイ感ジヲ持ツテ居リハシナイカト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ事業ガ完了シマスレバ已ムヲ得ナイ成行デアリマスルガ、單ニ失業者ト申シマスルト、土木事業ニ關係ヲ持ツテ居ル所ノ労働者ノミデアリマセヌ、勤勞労働者、又ソレニ物品ヲ供給シテ居ル所謂第三者ノ立場ニ在ル所ノ中小工業者、又ソレノ製造ニ從事シテ居ル所ノ労働者、斯様ニ其範圍ガ頗ル廣汎ニ亘ルコトニナツテ居リマス、随ツテ事業ガ縮小スレバ、先ヅソレニ當面ニ從事シテ居ル人ノ失業救済ニ付テハ復興局長官ニ於テモソレノ御考ガアルコトデアリマセウガ、之ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、ソレヲ一ツ御伺ヒタイ、次ニ御伺ヒシタイノハ、是ハ東京市長ニ御伺ヒシタイノデスガ、東京市ノ豫算モ頗ル、何ト申シマスカ困難ナ御事情ノ下ニアルヤウニ屢々承ツテ居リマス、然ルニ現市長ノ手腕デ幸ニシテ先ヅ豫算ノ編成モ出來、方針モソレノ御立チニナツタヤウニ承ツテ居リマスルガ、モウ本年度ハ僅カ三箇月位デアリマスガ、昭和五年度ニ至リマシテハ、ドウ云フ御方針ニナルノデアリマセウカ、矢張事業ヲ擴張スベキ時代デアリマスマイ、縮小ノ方針ニ相成ツテ居ルノデハナイカ、サウスルト東京市ノ關係ニ屬シテ居ル者ノ處分、帝都復興

ノ大事業ニ關係シテ居ラレル方々——市ノ事業ニ直接從事シテ居ラレル人々ハ、ドウ云フ風ナ結果ニ相成リマスカ、更ニ復興計畫事業ニ伴ハザル方面ニ於キマシテモ、前々申上ゲマシタ通り東京市内ニ居住シテ居ル労働者、其他中小工業者ノ失業状態ト云フモノハ、益々悲惨ナ状態ヲ極メテ來ルヤウデアリマス、之ニ對シテハ何か、救済的ノ事業ト申シマシタ所デ、只今申上ゲマシタヤウナ、事業ノ擴張ヲナサレナイ時代ニアルトスルト、ドウ云フ風ナ御考デアルカ、更ニ昭和五年度ニ於テ救済ノ事業ヲ御案出ニナリマシテ、或ハ今ノ事業ヲ繰上ゲテ、サウシテ是等ノ人々ニ職ヲ與ヘルト云フヤウナ御計畫デモゴザイマスカ、併セテ此場合伺ツテ置キタイト思ヒマス、本案ハドウカ直チニ即決アランコトヲ希望致シマスガ、質問ニ對スル御答辯ダケハ願ヒタイト思ヒマス

○復興局長官(中川望君) 本案ノ他ニ尙ホ議案ガ二ツ残ツテ居リマス、議案ガ決定後ニ只今ノ御答辯ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ如何デアリマセウカ

○六十七番(太田信治郎君) ソレデ結構デアリマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ左様ニ致シマシテ、御發議ノ通り本案ハ決定致シテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ原案ノ通り決シマス。次ハ議第一三五橫濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件ヲ議題ト致シマス

〔幹事 朗讀〕

議第一三五號

一、橫濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件
官計發第二五號

特別都市計畫委員會

橫濱都市計畫事業道路受益者負擔規程左ノ通定メトス

右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十一日

內務大臣 安 達 謙 藏

內務省令第 號

橫濱都市計畫事業道路受益者負擔規程

第一條 橫濱市ハ昭和三年五月內務省告示第百八號橫濱都市計畫道路ノ新設改修中橫濱市長ノ執行スル事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得

新設又ハ改修スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘、鐵道、軌道其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得
負擔區劃ハ各路線毎ニ之ヲ定ム

第三條 市長ハ道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムル

コトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ定ム

前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ地帯及負擔歩合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ、道路改修ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ四分ノ一ニ前條ノ負擔歩合ヲ乘ジテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス
- 二 新設又ハ改修スル道路ニ接スル地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス
- 三 前號以外ノ地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス
- 四 新設又ハ改修スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ニ接スル部分ノ

間數ヲ乘ジテ得タル金額ト面積割一坪當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額トノ和ヲ以テ其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一坪當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地域ヲ縮小シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮小セザルモノトシテ之ヲ算出ス

道路改修ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ

其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス
同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ
最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還
付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル
減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ同一年度内ニ重複シテ
負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

三 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

四 道路ノ新設又ハ改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ
適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

五 道路ノ新設又ハ改修ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國又ハ公

共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ

第九條 第二條第二項第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條ノ地帶及負擔歩合、第

五條第一項ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額、同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル間
口割ノ割合、事業著手ノ日、第六條第一項ノ期日並事業費豫算額及精算額ハ市長之ヲ告示スベシ

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ事業中本令施行前ニ著手シタル部分ニ付テハ本令ヲ適用セズ

說 明

本件ハ昭和三年五月内務省告示第百八號横濱都市計畫道路ノ新設改修中横濱市長ノ執行スル事業ニ要
スル費用ノ一部ヲ當該事業ニ因ル受益者ヲシテ負擔セシムル爲其ノ負擔金額及負擔方法ヲ定メトス
ルモノニシテ今其ノ概要ヲ述ブレバ負擔金額ヲ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路改修ノ
場合ハ四分ノ一トシ之ヲ各受益者ニ賦課スル爲先ヅ道路幅員ノ七倍ノ地域ヲ以テ負擔區劃ト定メ道路
ノ幅員、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區ヲ定ムルコトヲ得ルモノトシ負擔區劃又ハ負擔區ヲ受益ノ厚薄ニ
依リ數地帶ニ分チ道路ニ接スル地帶ニ在リテハ其ノ割當額ノ三分ノ一ヲ間口割、三分ノ二ヲ面積割ト

シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ全部面積割トセリ、而シテ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前記負擔區劃ヲ道路幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減シ之ニ伴ヒ間口割ノ割合ヲ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得ルモノトセリ
右ニ依リ算出セル負擔金ヲ十四等分シ毎年二回一定ノ期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシムルモノトシ尙負擔金ヲ重複シテ負擔スルモノ及土地物件其ノ他ヲ寄附シタル者等ニ對スル負擔金減免ニ關スル規定ヲ設ケタリ

○復興局長官(中川望君) 只今御聽ノ通り、道路受益者負擔ノ規程ヲ定メヤウトスルノデアリマス、横濱ノ都市計畫路線ハ八十八線、所要總事業費一億一千五百四十一萬圓デアリマス、其中横濱市長ニ於キマシテ執行中ノモノ路線九線、事業費六百十六萬餘圓デアリマスガ、此規程ヲ設ケマシテ、今後著手ノモノカラ此規程ヲ適用スル計畫デアリマス、受益者負擔金ハ道路新設ノ場合ハ事業費ノ三分ノ一、改築ノ場合ハ事業費ノ四分ノ一ヲ賦課セントスルモノデアリマスガ、負擔區域内ニ受益者ノナイ土地モアリマスカラ、實收見込額ハ事業費ノ約二割ト云フコトデアリマス、此規程ニ依テ關係アル横濱市長竝ニ十六町村長ノ意見ヲ徵シマシタ處、本案ニ付テ何等修正ノ希望ノ申出モナイノデアリマス、御參考マデニ申上ゲマス

○七十九番(山崎小三君) 本員ハ百三十五號議案ハ復興局ニ於テ色々ナル法令等ヲ御參照セラレ、洵

ニ横濱ノ現況ニ對シテ適當ナル施設ヲセラレタルモノト認メマス、願クハ滿場ノ御同意ヲ得マシテ、可決確定アラシコトヲ望ミマス

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 只今七十九番ノ御發議ノ通り決定シテ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) 御異議ガナケレバ其通り決定致シマス、次ハ議第三百三十六號横濱都市計畫道路ノ新設改修事業及其執行年割變更ノ件ヲ議題ニ致シマス

〔幹事 朗讀〕

議第一三六號

一、横濱都市計畫道路ノ新設改修事業及其ノ執行年割變更ノ件

(幹線道路第十四號及第十八號路線關係)

官計發第六一號

特別都市計畫委員會

昭和三年五月一日内務省告示第九號横濱都市計畫道路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割中左ノ通變

更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年一月十四日

内務大臣 安 達 謙 藏

昭和三年五月一日内務省告示第九號橫濱都市計畫道路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割中幹線道路第二號路線ノ次ニ「第十四號路線」ヲ、第十七號路線ノ次ニ「第十八號路線」ヲ加ヘ昭和四年度以降ノ執行年割ヲ左ノ通改ム

道路ノ新設、改修事業執行年割

- 昭和四年度 約三割四分五厘
- 昭和五年度 約一割二分三厘
- 昭和六年度 約九分五厘
- 昭和七年度 約九分五厘
- 昭和八年度 約九分五厘
- 昭和九年度 約七分八厘

説明

本案ハ橫濱都市計畫幹線道路第十四號路線外一路線ヲ都市計畫事業ト爲シ昭和四、五兩年度ニ於テ執行セムガ爲既定ノ執行年割ヲ變更セムトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 本案ハ橫濱市長ニ於テ執行中デアリマスル道路ノ新設改修事業ノ中ニ、只今讀上ゲマシタルヤウナ幹線十四號並ニ十八號ノ兩線ヲ加ヘマシテ、之ニ伴ヒマシテ執行年割ヲ變更セントスルモノデアリマス、幹線第十四號路線ハ近ク完成セントスル内外ノ貿易設備地區ニ到ル極メテ緊要ナル道路デアリマシテ、至急執行ノ必要ガアルノデアリマス、工費六十九萬七千餘圓、昭和四年度ニ於テ執行シヨウト云フ計畫デアリマス、次ニ第十八號路線ハ是亦第一號路線カラ分岐致シテ目下埋立地ニ到ル路線デ、其埋立地ガ昭和五年度ニ完成ノ豫定デアリマスノデ、是ト聯絡スル必要ガアリマス、工費ハ二十八萬七千餘圓、昭和四年度昭和五年度ノ兩年度ニ亘ツテ完成シヨウト云フ計畫デアリマス

○七十九番(山崎小三君) 原案ニ賛成致シマス、直ニ可決確定アラシコトヲ望ミマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) 直ニ可決確定致シマシテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ原案ノ通り決定サレマシタ、此際先程六十七番ノ御質問ニ對シテ復興局長官並ニ東京市長カラ御答ヲ願ヒマス

○復興局長官(中川望君) 先刻六十七番ノ御質問ハ、如何ニモ御親切ナル御質問デ感謝致シマス、只今復興局關係者ハ約一千八百人デゴザイマスガ、是ガ此三月ヲ以テ殆ド全部職ヲ失フヤウナコトニナルノデアリマス、尤モ残りノ事業モアリマスルシ事務モアリマス爲ニ、極メテ小サイ局ヲ設ケテ、勅任官デ申セバ一人、技師一人、書記官二人、事務官三人ト云フ小規模ノモノガ出來ル豫定ニナツテ居リマス、隨テ大部分ノ者ガ失職致シマス、是ハ私ノ最モ苦心考慮致シテ居ル所デアリマス、御承知ノ通り政費緊縮ノ時代デアリ、且又官廳デモ缺員ガアツテモ、補充致サナイ方針ニナツテ居リマスカラ、セメテソレ等ノ除外例デモ認メテ貰ツテ、就職ヲ斡旋シタイト云フ考デアリマス、既ニ職業斡旋委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、各個人ノ性能ヲ調査致シマシテ、會社ノ外交員ニ適スル者ハ何人居ルト云フヤウナ表マデ作ツテ配布シマシテ、御註文ガアレバソレニ對シマシテ適當ノ人ヲ、履歷書ヲ添ヘテ御採用ヲ願ツテ居リマス、昨年十月以來就職歩合ハ一割以下ニ下リマシタガ、十二月ハ幸ニ二割ノ就職ヲ見マシタ、ドウカ是等ノ貴重ナル事業ニ關係シタル人ニ對シテ、將來ノ爲ニモ御同情ヲ願ツテ、御列席ノ皆様方ニモ此上ナガラ御斡旋ヲ願ヒタク存ズル次第デゴザイマス

○四十三番(堀切善次郎君) 東京市ニ於テ復興事業ニ從事シテ居リマス職員ニ付テモ、只今復興局長官ノ述ベラレタルト同様デアリマシテ、相當多數ノ者ガ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シマシテ外ノ仕事ニ轉職ト云フコトヲ世話ヲシテ居リマスガ、御承知ノ通りノ事情デアリマスノデ、思フヤウ

ニ參リマセヌ、此際東京市ニ都市計畫ノ事業ナドデモ新ニ興レバ結構デアリマスガ、都市計畫トシテ興スベキ事業ハ尙數億圓アルト存ジマス、ソレニ致シマシテモ、御承知ノ如ク東京市ノ財政ハ極度ニ窮迫シテ居リマシテ、五年度ニ於テハ殆ド新規事業ヲヤル餘地ハアリマセヌ、全ク仕方ノナイ状態ニ在リマスノデ、只今ノ所デハ一般景氣ノ恢復ヲ待チマシテ、又政府ニ於カレマシテモ起債ニ對シマシテ幾ラカ緩カナ御方針ヲ探ラレル時期ヲ待ツヨリ外ナイ次第デアリマス、復興局長官カラ御願ヒシタト同様ニ、私ノ方カラモ特別都市計畫委員會ノ委員ノ皆様方ハ、各方面ノ有力ナル方ガ御出ニナル譯デアリマスカラ、何カ仕事ガゴザイマスナラバ、復興局竝ニ市ニ關係シテ居リマシテ、近ク罷メナケレバナラヌ者ノ爲ニ、此事ヲ頭ニ置カレマシテ、宜シク御願致シタイノデアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 只今長官及市長ノ御答辯ヲ承リマシテ、御尤モナコトデアラウト思ヒマス、私共モ此點ニ對シテハ豫テ留意致シテ居ルノデアリマス、唯此場合ニ御參考トシテ一ツ申上ゲテ、内務大藏其他各省ノ有力ナル方々ノ御居デノ所デアリマスカラ、申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ何ニ致シマシテモ、東京市ノ今回ノ特別都市計畫ノ中ノ、帝都復興事業ノ區劃整理ニ關係ヲシタル方々ト云フモノハ、兎ニモ角ニモ、今迄斯様ナ大規模ナ事業ガ行ハレタコトハナイ、我國ニ於テハ實ニ空前ト申シテ宜シイ、此事業ニ從事シタ方々ハ初メノ間ハ隨分苦心ヲセラレタモノデアルト思フ、幸ニシテ數年ヲ經過シタノデ、其人々ハ其技術ニ鍛練シテ經驗ヲ積ンダ譯デ

アリマス、其經驗ヲ積ミ折角習得ヲシタ事業ハ後ガ無イノデアリマスカラ、今御話ノ通り適當ナ事ガアレバ、何ニデモ轉ジナケレバナラヌト云フ場合ニ至ツテ居ル、若シ此場合斯様ナ都市計畫事業ガ起リマスレバ、直ニソレニ使用スルト云フコトハ非常ナ利益デモアリ、又其人々ノ失業救済ノ一ツニモ相成ルト思フノデアリマス、所デ東京市内ニ特別都市計畫事業ノ中デ殘ツテ居ル所ハ、非常ニ多イノデアリマス、殊ニ私共ガ遺憾ニ思フノハ、産業的施設ガ何等無イコトデアリマス、例ヘバ工場地帯ニ於ケル所ノ道路ハ出來マシタガ、ソレニ對スル運河ノ便ト云フモノハ殆ド何處モ無イ更ニ近ク東京市ニ於テモ計畫サレル所ノ東京灣築港ガ、實現ヲ追々セラレルコトニナルダラウト思フ、又豫テ私ガ屢申上ゲテ居リマスルガ、越中嶋ニ於ケル鐵道ノ停車場モ、追々其計畫ガ進ムコトデアラウト思フ、左權ナコトニ段々相成リマシテモ、大工業區域ニ運河ノ便ガ開ケ交通ノ便ガ開ケマセヌデハ、産業ハ發達スル譯ニハイカナイ、只今ノ東京市内ノ特別都市計畫事業ハ、住宅本位デアルト私ハ思フ、工業地帯ニ於ケル所ノ設備ハ、未ダ甚ダ遺憾ナ點ガ多イノデアリマス、併シ財源ノ關係其他ノ都合ガ御附キニナラヌカモ知レマセヌガ、是ハ不生産的の事業デハナイ、同ジ土木事業デモ生産的の意味ヲ含ンデ居ル事業デアリマスカラ、例ヘバ東京灣ノ築港ノ如キ、或ハ將來起ル所ノ工業地帯運河ノ計畫ノ如キハ、此際一ツ御考慮ノ中ニ入レテ頂イテ、一面ニ失業者ヲ救済シ、一面ニ産業ノ開發ヲ圖ル上ニ、出來ルナラバ續イテ著手セラレテ、今ノ從業員ヲ其方面ニ使用スル方法ガ

出來マシタナラバ、非常ニ便利ナ又頗ル有益ナ事デアラウト思フノデアリマス、此點ヲ御參考ニ申上ゲテ、一應御考慮ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス

○議長(會長代理潮惠之輔君) ソレデハ第四以下ハ全部原案ノ通り御決定ニナリマシタガ、第一乃至第三ハ特別委員ニ付託セラレマシタノデ、其委員ノ御氏名ヲ讀上ゲマスカラ御聽取ヲ願ヒマス
議第一二六號及一二七號議案ノ特別委員ノ方ハ

- 二番 渡邊鐵藏君
- 五番 鈴木敬一君
- 六番 古島宮次郎君
- 七番 赤塚五郎君
- 一三番 牛塚虎太郎君
- 一五番 朝倉虎治郎君
- 二六番 菅原通敬君
- 四三番 堀切善次郎君
- 四五番 次田大三郎君
- 六〇番 伊藤武七郎君

此十三名ノ方ニ御願ヒ致シマス
議第一二八號議案ノ特別委員ノ方ハ

- | | | |
|-----|--------|----|
| 七四番 | 内田秀五郎君 | 七八 |
| 八二番 | 前田多門君 | |
| 八四番 | 中川望君 | |
| 三番 | 丸山鶴吉君 | |
| 九番 | 三邊長治君 | |
| 一三番 | 牛塚虎太郎君 | |
| 二一番 | 藤田四郎君 | |
| 二五番 | 中川吉造君 | |
| 三〇番 | 國枝捨次郎君 | |
| 三七番 | 新甫寛實君 | |
| 四三番 | 堀切善次郎君 | |
| 四六番 | 大神田軍治君 | |
| 七〇番 | 牧彦七君 | |

此十三名ノ方ニ御願ヒ致シマス、各特別委員ノ方ハ御迷惑デモ一寸御残りヲ願ヒマシテ、議事ノ進行ニ付テ御協議ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス——皆様今日ハ御多忙ノ所御苦勞デゴザイマシタ、是デ閉會致シマス

午後零時二十分散會

- | | |
|-----|--------|
| 七二番 | 佐藤久太郎君 |
| 七三番 | 立石知滿君 |
| 八四番 | 中川望君 |

昭和二十一年四月

道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業
受益者負擔ノ件特別委員會

第三十三名ノ方ハ前記ノ案ニマシ
第二二八號議案ノ特別委員ノ方

特別委員二十名

第一 田中 義一
第二 佐藤 謙三
第三 鈴木 健一
第四 高橋 正一
第五 山本 正一
第六 中野 正一
第七 渡辺 正一
第八 森田 正一
第九 松本 正一
第十 石川 正一
第十一 清水 正一
第十二 山崎 正一
第十三 佐々木 正一
第十四 高木 正一
第十五 橋本 正一
第十六 坂本 正一
第十七 田村 正一
第十八 山田 正一
第十九 中野 正一
第二十 渡辺 正一

道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業受益者負擔ノ件
 第一回特別委員會議事速記錄

和昭五年一月二十八日(火曜日)復興局ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 菅原通敬君

委員

從四位勳四等	渡邊鐵藏君
內務書記官	鈴木敬一君
東京府知事牛塚虎太郎君 代理東京府技師	來島良亮君
東京府會議員	朝倉虎治郎君
東京市長堀切善次郎君代 理東京市助役	廣瀬久忠君
內務省地方局長次田大三 郎君代理內務書記官	岡田周造君
東京府會議員	伊藤武七郎君

東京府會議員	內田秀五郎君
正五位勳四等	前田多門君
復興局長官	中川望君
幹事	
復興局書記官	武部六藏君
復興局書記官	土岐銀次郎君
正六位勳五等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君

議事

午前十時三十分開議

○菅原委員長 是ヨリ特別委員會ヲ開キマス、二ツノ議案ガ付託サレテ居リマスルガ、議第一二六號ノ道路ノ受益者負擔規程ノ方カラ先ニ始メルコトニ致シマス——朗讀ハ省略スルコトニ致シマシテ先ヅ當局ノ御説明ヲ願フコトニ致シマス

○土岐計畫課長 私カラ各條ニ付キマシテ、大體ノ要點ダケヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、第一條

ニ於キマシテハ、コノ前ノ總會ノ時ニ長官カラ御説明ガアリマシタ通り、内務省告示第四百九號ヲ以チマシテ、所謂第二期ノ環狀線、放射線ノ新設改修ノ件ガ、都市計畫並ニ都市計畫事業トシテ決定セラレマシタ、ソレニ關スル受益者負擔ヲ追加スル意味ヲ以チマシテ其ノ點ヲ追加致シタノデアリマス、(圖面ニ就キ説明)此ノ圖面ニ於キマスル赤ノ線ハ内務省告示四百九號ニ該當致シマス、大正十年五月内閣認可ノ所謂第一期ノ環狀線放射線ハ青ノ線デアリマス、第一條ニ於キマシテハ、其ノ赤イ線ノヲ追加スル意味デアリマス、第二條ニ於キマシテハ前ノ規程ト違ヒマス點ハ、内務省令第二十八號ノ所謂負擔區劃ハ「道路附近ニ於テ道路ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ七倍」ト云フコトニナツテ居ツタノデアリマス、今度新ニ追加スル部分ハ、市ニ接近致ス部分ト郊外ニ於キマシテ非常ニ市カラ離レタ場所モアリマスノデ、「土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得」ト云フ規定ヲ新ニ置イタノデアリマス、大體ニ於テハ郊外ニ於テ新ラシク道路ヲ設ケル、或ハ道路ヲ擴張シマス場合ニハ道路ノ負擔區域ヲ擴張スルト云フ意味デアリマス、尙之ニ付キマシテハ、東京市ノ受益者負擔ハ大體五倍ニナツテ居リマス、郊外ニ亘リマシテ負擔セシメマス場合ハ七倍ニ増スコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ譯デ、東京市ト同ジヤウナ狀況ノ所ニ於テハ五倍マデ下ゲテ宜イト云フヤウナ意味デ第二項ノ規定ヲ置イタノデアリマス尙ホ第二條ノ括弧ノ中ノ「街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハ」云々ト

云フノハ、ハツキリスル爲ニ此ノ規定ヲ置イタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ前ノ規定ト變ハツテ居リマスルノハ、前ノ場合ニ於テハ「道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアリマシテ、地物其ノモノニ依ツテ負擔區劃ノ限界トシタノデアリマスガ、今度ノ規定ニ於テハ「其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得」トシテ規定ヲ置キマシテ、必ズシモ地物其ノモノヲ以テ負擔區劃ノ限界トシナクテモ宜イ、斯ウ云フ風ニ改正シタノデアリマス、第三條第四條ニ付キマシテハ、大體前ノ規定ト變ハリハナイノデアリマス、第五條ニ於キマシテハ、受益者ノ負擔金額ヲ定ムル規定デアリマスガ、是ハ前ノ規定ト内容ニ付テハ大シタ違ヒハ無イノデアリマスガ、前ノ規程ハ非常ニ金額ノ算定ノ方法ガ分リ悪クカツタノデ、之ヲ分リ易イヤウニ簡條書キニ書イタノデアリマス、唯前ト變ハリマシタノハ、第五條ノ第二項デアリマス、第二項ニ「第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得」ト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、ソレハ第二條第二項ノ規定ヲ新タニ拵ヘマシタ關係カラ、間口割ノ定メ方ニ於テモ、三分ノ一ト云フノヲ二分ノ一以下四分ノ一ノ範圍内ニ於テ定ムルコトノ出來ルヤウニ此ノ條項ヲ入レタ譯デアリマス、ソレカラ次ニ第五項ニ新ラシク「隧道橋梁

其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ、其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得」ト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、是ハ隧道橋梁等ノ特殊ノ工事デ、其ノ附近ノ受益者ニ負擔セシムルト云フコトハ、餘リニ多額ノ負擔ヲセシムルコトニナリマシテ、負擔者トシテ非常ニ重イ關係ニナリマスルノデ、此ノ點ヲ除外スルコトノ出來ル規定ヲ設ケタノデアリマス、第六條ハ負擔金納付ノ方法デアリマス、此ノ第六條ニ於キマシテ前ト變ハリマシタ點ハ、第一ハ「負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シ」ト致シマシタ、前ノ規定ハ七年間ニ於テト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、内容ニ於テハ餘リ變リハナイノデアリマスガ、唯七年間ト云フコトニナツテ居リマスルト、其ノ年ノ後半期カラ負擔シマス時分ニハ、均等ニナラナイヤウナ場合ガアリマスノデ、ソレデ斯ウ云フ風ニシテノデアリマス、元ノ第八條デハ「事業著手ノ日ノ現在ノ受益者ヨリ之ヲ納付セシム」ト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ事業著手ノ日ノ現在ノ受益者ノミニ負擔セシムルト云フコトニナリマスルト、所有權ガ轉々致シマシタリ、或ハ十年ヨリ長ク定ムル借地權トカ地上權等ガ移轉スル場合ニ於テハ、實際賦課スルニ非常ニ困難ヲ來ス場合ガアリマス、其ノ原則ヲ變ヘマシテ、「年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者」ト云フコトニシマシテ、實際賦課シマスル時ノ現在ノ受益者、斯ウ云フ事ニ改メタノデアリマス、是ハ當局ニ於キマシテ、今迄環狀線放射線ノ受益者負擔金ヲ賦課シマシタ其ノ實際ノ經驗ニ基キマシテ斯ウ

云フ風ニ改メタ方ガ賦課セシムルニ便宜ダ、斯ウ云フヤウナ理由デアリマシテ、此ノ點ヲ變ヘタノデアリマス、尙ホ第六條ノ但書、是モ同ジク變ヘタノデアリマス、但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ線上納付セシムルコトヲ得、是ハ非常ニ金額ノ少ナイヤウナ場合ニ、七年間ニ分納スルコトハ面倒ダト云フヤウナ場合ガアリマシタ際ニ、受益者ノ申請ニ依ツテ線上ダ納付セシムル規定ヲ置イタノデアリマス、其次ノ第二項ト第三項、是モ新ラシク置イタノデアリマス、事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス、是ハ内務省令ノ、受益者負擔ニ關スル二十八號ノ規定ガアリマス、其ノ規定ノ解釋カラ致シマシテ、事業著手ノ際ニ於キマシテ十年ヨリ長キ期間ヲ定ムル地上權、永小作權、賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人、ト云フ解釋ニナルノデアリマシテ、事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル、斯ウ云フ權利ガ設定セラレマシタ場合ニ於テハ、二十八號ノ解釋上、其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス、ト云フ規定ヲ置カナケレバ、事業著手後其ノ權利ノ設定ガアツテモソレニ及バナイト云フヤウナ解釋ニナリマスノデ、ソレデ實際賦課シマス上カラ困ルト云フ點カラ此ノ第二項ノ規定ヲ置イタノデアリマス、第三項ノ規定モ是ト同様デアリマス、同ジ趣旨ニ於テ此ノ規定ヲ置イタノデアリマス、第七條ニ付キマシテハ前ノ規定ト變ハリハナイノデアリマス、第八條ニ於キマシテハ、

負擔金減免ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、減免ノ規定ノ中ニ於キマシテハ、第五號ニ於テ「道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ」ト云フ規程ヲ新ニ設ケタノデアリマス、ソレカラ第二號ニ於キマシテ「同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金ト同一年度内ニ重複シテ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ」是ハ此ノ規定ト他ノ規定ニ依ル受益者、例ヘハ澁谷川ノ改修ニ基ク受益者負擔ノ規定、ソレト重複シテ負擔ガ重ナルト云フヤウナ場合ニ於テハ、同一年度内ニ限ツテ重複シタ場合ニ減免スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、第九條ニ於キマシテハ、事業執行者タル東京府知事ノ告示スベキモノヲ定メタノデアリマス、前ヨリ少シ變ハツテ居リマシテ、告示スベキ事項ヲ多クシタヤウナコトデアリマス、第十條ニ於キマシテハ「本令施行ノ際既ニ著セルモノニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス」ト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、附則ニ於キマシテハ、從來ハ公布ノ日カラ施行シテ居ルノデアリマスガ、今回ハ相當廣範圍ニ於ケル改正デアリマスカラ、十日間ノ猶豫期間ヲ置キマシテ、ソレカラ實施スルコトニシタノデアリマス、尙從來施行シ來タツタ負擔金ニ付テハ從來ノ規定ニ依ルコトヲ原則トシタノデアリマスガ、第六條ノ二項及三項ノ規定ニ於キマシテハ、事業著手後ノ權利ノ移轉ノ關係、ソレカラ負擔金ノ線上納付、減免ニ付テハ本令ヲ適用スルト云フ附則ヲ設ケタヤウナコトデアリマス、尙ホ此ノ前御手許ニ

配リマシタ、關係市町村長ニ諮問致シマシテ、其ノ意見ノ答申ニ付テハ、之ヲ概括シマシテ參考トシテ差上ゲタノデアリマスガ、其ノ要旨ハ、負擔區劃ニ付テ「第二條第一項中道路幅員ノ七倍ヲ道路幅員ノ四倍ニ縮小セラレタシ（江北村長）」是ハ只今説明致シマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、現在東京市ノ受益者負擔ハ五倍デアリマス、郡部ハ受益者ハ比較的廣イト云フ意味デ七倍ヲ原則トシテ居リマス、或ハ江北村長ニ於テハ、道路ノ幅員ヲ縮小スレバ受益者負擔ノ金額ガ減少サレルモノト云フ風ニ考ヘテ、斯ウ云フ風ナ意見ヲ提出サレタモノデナイカトモ想像致スノデアリマス、幅員ノ四倍ト云フ風ニ縮小サレマスルト、其ノ範圍内ニ於テ負擔金ガ増加スル譯ニナリマス、第二ノ「第二條第二項中道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得テ道路ノ幅員ノ七倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ擴張スルコトヲ得テ改メラレタシ（大久保町長）」是モ矢張東京市ノ規定トノ權衡上、現在ノ規定ノ方ガ適當デナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、負擔金額ニ付キマシテハ「第五條第一項中三分ノ一ヲ五分ノ一ニ低減セラレタシ（千葉縣行徳町長、浦安町長、南行徳村長）」是ハ事業執行者ノ經費ノ出所等ノ關係モアリマシテ、輕ケレバ輕イ程宜イト云フヤウナ考モアリマセウ、ケレドモ執行者ノ財政上ノ關係、并ニ他ニ於テ今迄賦課シテ來タ權衡等カラ見マシテ、五分ノ一ニ低減スルコトハ困難ダラウト思ヒマス、負擔金賦課ニ付テ「第六條中事業著手後ヲ事業完成後ニ改メラレタシ」品川町長、目黒町長」是ハ事業ノ完成後

ニナリマスルト、實際賦課スルコトガ困難ニナル、ソレデ事業著手後ニ賦課スルコトニシタイノデアリマス、實際賦課ヲ受クル者カラ申シマスレバ、實際道路ガ出來上ツテシマツタ場合ノ方ガ或ハ感ジガ宜イカトモ思フノデアリマスルケレドモ、事實出來上ツテシマフマデハ負擔ガ無イト云フヤウナコトニナリマスルト、唯受益者負擔ガ無クシテ道路ガ完成スルモノト思フ、又完成シテシマツテカラ之ヲ七箇年間ニ分納スルト云フコトニナルト、賦課ガ困難ト云フ風ニモ考ヘラレマスノデ事業著手後ト云フコトガ適當デナイカト考ヘラレマス、「第六條第一項中均等ニ二十四分シヲ均等ニ二分シニ改メラレタシ（吾嬭町長）」是ハ十年ニ分ケテ吳レト云フノデアリマスケレドモ、先ヅ十分位ガ適當デナイカ、十年ト云フノハ餘リ長過ギヤシナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、「事業開始前ニ區劃整理等ヲ行ヒタルトキ若ハ施行中ニ係ルトキハ該整理事業完成後ノ面積ニ依リ受益者ノ負擔額ヲ定ムルコト、セラレタシ、（日暮里町長）」是ハ一應尤モデアルケレドモ、區劃整理ヲ行ヒタル時ニ、其ノ區劃整理ガ完成スルマデ受益者負擔ヲ待ツト云フコトハ困難デアリマス、若シ完成致シマシタ場合ニ於テハ勿論完成後ノ面積ニ依ルノデアリマスガ、整理完成マデハ矢張舊面積ニ依ツテ賦課スルヨリ途ハナイノデアリマス、ソレガ完成スルマデ負擔額ヲ賦課スルコトヲ待ツコトハ困難ダト思ヒマス、負擔金ノ減免ニ付テ「第八條第二號中同一年度内ヲ五箇年度内ニ改メラレタシ（日暮里町長）」是ハ此ノ環狀線放射線全體ノ道路ノ受益者負擔ノ規定ト、他ノ規定トノ關係ニ於テ重

複負擔スル場合ニハ減免スルノデアリマシテ、本來カラ申シマスレバ減免シナイコトガ適當デアルカモ知レナイ、唯同一ノ年度内ダケハ餘リ酷ニナル嫌ヒガアリマスノデ、同一年度内ト云フコトニ限ツタノデアリマス、日暮里町長トシテハ五箇年度内ト云フ希望デアリマス「市外地ニ於ケル都市計畫事業道路ノ實現ニ因リテノ受益ハ市街地區ノ夫レニ比較シテ其ノ程度著シク差アル實際ニ考慮シ之ニ適應スヘク負擔額ヲ減免スルハ勿論其ノ賦課徵收猶豫ノ方途ヲ講ゼラレタシ（板橋町長、上板橋村長）」是ハ大體現在位ノ程度ヲ以テ適當デナイカト考ヘルノデアリマス、以上ヲ以テ大體ノ御説明ト致シマス

○菅原委員長 御質問ノオアリノ方ハドウゾ……

○前田委員 一寸伺ヒタイノデアリマスガ、今大體以前ノ規定ト比較對照シテノ御説明デアリマシタガ、無論今回ノ案ハ色々點ニ於テ進ンデ居ルト思ツテ居ルノデアリマスガ、審議上一番參考ニナルノハ多分是ハ吾々が干與シタノダト思ヒマスガ、東京市内ノ東京都市計畫事業道路受益者負擔ノ規定デ、昨年ノ八月一日ニ内務省令ニ依ツテ定メラレタノデアリマス、是ト此ノ今回改正ニナツタ方ノ規定ト比較致シマスルト大體同ジヤウニ思ヒマスガ違ツテ居ル點ハドウ云フ點デアリマスガ、無論負擔區域ハ違フト思ヒマス、市内ノ方ハ道路ノ五倍是ハ七倍デアリ又餘裕ヲ附ケテ五倍乃至十倍ニナツテ居リマスガ、ソレカラ八條ノ五號ノ如キハ市内ノ方ニハ無イノデアリマスガ、其ノ外ニ

何か市内ノ方ノ受益者負擔ト違ツタ點ガアリマスレバ御指摘ヲ願ヒタイ、大體今私ガ申シタ二點位ナモノデアリマスガ、其ノ他ニ何か其ノ後ノ御考ニ依ツテ更ニ進ンダ規定ヲ置カレテ居リハシマセヌカ

○菅原委員長 ソレニ少シ關聯スル問題ノヤウデアリマスガ、私伺ツテ見タイ私ハ餘リ素人デアリマスカラ解ラヌノデアリマスガ、此ノ負擔ニ關スル規定ノ適用セラル、範圍ト申シマスガ、第一條ニ書イテ居ラル、事ガ一寸私ニ解リ惡イ所ガアル、參考ニ御廻シニナツタ内務省令第十一號ヲ見マサルト、其ノ第一條ニハ、内務省告示第二百四十五號ニ依ル道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲メ、其ノ受益者ニ負擔サセルトアル、而シテ今度ノ改メヤウトセラレル方ノ第一條ニハ、其ノ内務省告示第二百四十五號ト云フノハ、這入ラナイヤウニ思ヒマスガ、是ハ何處カデ這入ツテ來ルコトニナルノデアリマスガ、ドウデスカ、今度ノ規定ノ第一條ニハ、大正十年五月内閣認可云々、及び昭和二年八月内務省告示第四百九號、此ノ二ツノ場合ダケノ適用ノヤウニ思フガ、此處ノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリマスガ、其ノ事ガ一ツ、ソレカラ此ノ改正ヲシタモノヲ見マスルト、全文ノ改正デハアリマセヌガ、色々改正ノ條項ガ多イヤウデアリマス、而シテ前ノ内務省令ノ十一號ト云フモノハ全ク形ガ變ハツテサウシテ此處ニ新タナル規定ガ起ルコトニナリマスレバ、改正ト云フヨリモ新タナル制定ト云フコトニナルノデハナイカ寧ろ新タナル制定ニナル方ガ私ハ却テ整ウテ

居ルヤウニ思フ、ソコハ一體ドウ云フヤウナ御趣意ニナツテ居ルカソレヲ伺ツテ見タイ

○土岐計畫課長 只今ノ御質問ニ依リマシテ、内務省告示第二百四十五號ニ依リト前ノ規定ハアリマスガ、今度ノハ大正十年内閣認可ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ内容ハ同ジモノデアリマス實ハ前ニハ都市計畫事業ニ付キマシテハ内閣ノ認可ガアリマスレバ、其ノ點ニ付テ告示シナイコトニナツテ居ツタガ、其ノ後内閣ノ認可ヲ受ケタモノヲ告示スルコトニナツタノデアリマス、ソレデ大正十年ノ場合ニハ内閣ノ認可ガアリマシテ、其ノ内閣認可ニナツタモノニ付テハ告示ト云フコトハナカツタノデアリマス、大正十年内務省告示二百四十五號ト申シマスルノハ、特別都市計畫事業ヲ執行スベキ行政廳ハ東京府知事ト行政廳ヲ指定スル告示ニナツテ居リマス、ソレニ東京都市計畫事業トシテズツト舉ゲラレテ居ルノデアリマス、是ト大正十年五月内閣認可ニナリマシタ、東京都市計畫事業、是ハ東京市長ノ執行スベキ分ト、知事ノ執行スベキ分ト兩方アルノデアリマス、其ノ兩方ヲ含ミマシタ中デ、東京府知事ノ執行スベキガ是レダケト云フノガ、内務省告示二百四十五號デアリマス、内容ハ大正十年五月内閣認可ト云フノト同ジ内容ニナルノデアリマス、然ラバ何故ニ斯ウ云フ風ナ同ジモノヲ變更シタノカト言フト、實ハ其ノ次ニ昭和二年八月内務省告示第四百九號ト申シマスルノハ、此ノ場合ニナルト、内閣ノ認可ニナツタモノヲ告示スルコトニナツテ居リマス、ソレデ其ノモノヲ舉ゲタノデアリマスガ、若シ初メヲ大正十年ノ内務省告示二百四十五號ト書キマスルト、後

ノ方ハ四百九號デナクシテ、ソレト對照スベキ別ノ告示四百十號ガ出テ居リマスルノデ、四百十號ニシナケレバ工合ガ悪イコトニナル、サウ云フコトニナリマシテ、東京府知事ノ執行シマスモノヲ書キ舉ゲタ四百十號ト云フノガ、別ニアリマスカラ、是ハ將來ニ於テ追加サレマス關係ガアリマスノデ、事業ダケヲ書キ舉ゲテ計畫ダケノモノハ、四百九號ニ總テ載ツテ居ルノデアリマスガ、事業ニナツタ分ニ付キマシテハ、内務省令ノ二百四十五號ニ對照スベキモノハ載ツテ居リマセヌノデ將來ニ於テ追加スル必要ガ生ズル虞レガアリマスルノデ、少シ關係ガ面倒デアリマスケレドモ、ソコデ内閣認可ト云フコトニシテ、ソレト昭和二年八月内務省告示四百九號ト云フコトニシタノデアリマス、前ノ方ハ本當ハ内閣認可ニナリマシタ時ノ告示デアツテ、欲シイノデアリマスガ其ノ告示ガ無い爲ニ内閣認可ト云フ文句ニナツテ居ルノデアリマス、ソレト四百九號ハ相對照スベキ性質ノモノデアリマスルノデ、少シ解リ悪イヤウデアリマスケレドモ、斯ウ云フヤウニ書イタノデアリマス

○菅原委員長 サウ云フヤウナコトニナリマスナラバ、後段ニ御伺ヒシタ東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ムト云フ風ニ書イタ方ガ寧ロ形ガ良イノデハナイカ、此ノ案ニ依ルト、内務省令ノ十一號ヲ左ノ通改正ストアツテ、又別ノモノガ現ハレテ來タヤウニナツテ居リマスガ、適用ノ範圍ガマルデ違ツテ來ルモノガ出テ來ルノデハナイノデスカ

○土岐計畫課長 其ノ點ハ實ハ研究シタノデアリマスガ、之ヲ正シイ規定ニ致シマスルト附則ニ於キマシテ、現在施行シテ居リマスル關係ノモノニ付キマシテ、大分澤山經過的ノ規定ヲ書カナケレバナラヌヤウナ形ニナリマスノデ、色々考究ノ結果、全文改正ノヤウナ風ニシタノデアリマス、御話ノヤウニ、大正十年内閣認可ト云フノハ、表面カラ言フト全然別個ノヤウニナルノデアリマスガ、全ク同ジヤウナ性質ノモノデアアルカラ差支ナカラウト云フヤウナ意味デ、斯ウ云フヤウナ風ニヤツタノデアリマス——尙先程前田サンカラノ御質問ノ、東京市ノ受益者負擔規定トノ異ナツタ點デアリマスガ、只今御話ノアリマシタ通、區域ノ關係ト、随ツテツレニ伴ヒマス間口割ノ關係、ソレ以外ニ於キマシテハ、大シタ變更ハ無イノデアリマス、唯違ヒマスノハ今度ノ第二條ノ第三項デアリマス前ニハ矢張「前項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘等地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣之ヲ以テ負擔區域ノ限界トスルコトヲ得」トアリマシテ、「之ヲ以テ」ト云フ文字ガアリマシタカラ、地物其ノモノヲ以テ限界トスルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、今度ノハ地物其ノモノヲ以テシナクテモ、内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ、別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得、ト云フコトニシタノデアリマス、ソレカラ東京市ノ方ノ第九條ト今度ノ規定ノ第八條第一號ガ「同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ」ト云フコトニナツテ居リマシテ「同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定」トナツテ

居ルノデアリマスガ、今度ノハ同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シ負擔金ヲ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ」ト云フノデ、其ノ場合ニハ同一年度内ニ限ラズイツデモ減免スルコトガ出來ル、唯他ノ規定トノ重複ノ關係ノ場合ダケヲ同一ノ年度内ト云フコトニシタノデアリマス、ソレカラ道路ノ新設區劃整理ノ減免、其ノ位ノ關係デアリマス

○前田委員 第五號ナドハ至極尤モナ規定ト思ヒマスガ、又當然ノ事ノヤウニ思ハレマスガ是ハ例ヘバ市ノ場合ニハ御困リノコトガアツタノデアリマスカ

○土岐計畫課長 大體市内ニ於キマシテハ、區劃整理ノ施行ニハ今迄ナイモノデスカラ困ツタ例ハ無イノデアリマス、郡部ノ方ハ斯ウ云フ關係ガ一層緊密ニナリマスノデ……

○前田委員 イマーツ伺ヒタイノハ、大體ノ區域ヲ今度ハ非常ニ伸縮性ヲ取ラレテ、土地ノ狀況ニ依ツテハ五倍以上十倍ノ範圍内デ増減ノ出來ルコトハ、事情ニ適シタモノト思ヒマスガ、唯先刻モ御説明ノ中ニアリマシタ通、區域ガ廣クナレバ廣クナル程一坪當リノ負擔額ガ薄クナル譯デアリマス、斯ウ云フヤウニ區域ニ付テ伸縮性ヲ取ツテ、新開地デ新開道路ノ出來ルヤウナ場合、詰リ都心カラ非常ニ遠イヤウナ所デ、新タニ或ル土地ヲ開發スル時ニハ、受益者負擔ヲ餘計掛ケテ宜イノデアリマスガ、又受益者負擔ノ精神ト云フモノハ寧ロサウ云フノヲ主眼ニスルノデハナイカト思ヒマスカラ區域ヲサウ云フ所ヲ御擴ゲニナルコトハ結構ト思ヒマスガ、サウ云フ風ニシテ一坪當リノ負擔ハ

非常ニ薄クナル區域ヲ擴ゲルト共ニ、サウ云フ新開地ニ對シテハ、全體ノ負擔割合モ大キク取り得ルヤウナ、負擔金額ノ定メ方ニモ伸縮性ヲ取ルコトガ出來ルヤウニ定メマスコトガ出來ルナラバ宜イト思ヒマスガ、人家ノ稠密シテ居ル所ヨリモ、新開地ヲ開發スル、サウシテ其ノ附近ノ狀況ニ新生面ヲ開クト云フヤウナ場合ニハ、此ノ負擔金額トシテハ割合ガ多イヤウデアリマスガ、其ノ邊ニ付テ何カ御考ニナツタコトガゴザイマセウカ

○土岐計畫課長 只今ノ御話ハ御尤モノコト、存ジマス、實際ノ場合ニ於テ郊外ノ場合ト人家ノ稠密シテ居ル場合トハ、御話ノアリマシタ通相當區別スルト云フ事ハ理想デアルカモ知レヌト思フノデアリマスガ、實際ノ點カラ申シマスルト、或ハ郡部ノ方ニ於テハ、道路ガ出來マシタカラ直チニ其處ガ商業地ニナル或ハ住宅地ニナルト云フコトニハ限ラナイノデアリマス、道路ノ新設ニ依リマスルト、實際受益ノ關係ガアル場合ニ於テハ、人家稠密ノ所ニ於キマシテ郡部ヨリモ或ハ受益ノ程度ノ多イヤウナ場合モ全然無イトモ申サレナイト思ヒマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘテ行キマスルト、ドウ云フ程度ノ所ニ於テハ受益者負擔ヲ重クシ、ドウ云フ點ニ於テハドノ位ノ程度カラ賦課スベキ割合ヲ少ナクスルカト云フ實際問題トシマシテハ、其ノ間ニ區分ヲ拵ヘルコトハ非常ニ困難ダラウト思ヒマス、一應御話ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ケレドモ實際之ヲ實施スル上ニ於キマシテハ或ハ見方ニ依リマシテ多少ノ差異モアリマス、ドノ區域カラドノ區域迄ハ事業費ノ何分ノ

一、ドノ區域カラドノ區域迄ハ事業費ノ何分ノ一ト云フ事ヲ定メマスルコトハ、實際問題トシテハ非常ニ困難ダト考ヘマスノデ、新設ト擴張ダケノ區分ヲシタヤウナ譯デアリマス、サウ云フヤウナ意味デ、御說ノ點ニ付テノ區分ハ設ケナカッタヤウナ譯デアリマス、尙將來ノ問題ト致シマシテハ其ノ點ニ付テハ十分講究スベキ必要ノアルモノダトハ存ジテ居ルノデアリマス、只今ノ所デハドウモ其處マデ區別スル確信ヲ持タナイヤウナ譯デアリマス

○渡邊委員 今ノ點ニ關聯シテ、此ノ參考ノ意見ノ中ニ、前田君ノ質問サレタ第五條ノ三分ノ一ノ問題ニ付テハ、五分ノ一ニ低減シロト云フ意見ガ出テ居リマスガ、千葉縣ノ行徳町ナドカラ出テ居ルノハ是ハドウ云フ關係デアリマスカ

○土岐計畫課長 道路ハ東京府ノ管理ニナリマスケレドモ、受益者ノ關係ガ、七倍ヲ持ツテ行キマスルト千葉縣ノ方ニ掛ル場合ガアリマス、其ノ場合ニハ關係ノ町村ノ意見ヲ徵スルコトニナツテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 此ノ配付サレマシタ材料ノ中ニ、第一期事業第二期事業ト書イテアリマス、此ノ第一期事業ト云フノハ大正十年十二月ノ二百四十五號、第二期ハ昭和二年ノ四百十號デスカ

○土岐計畫課長 サウデス

○菅原委員長 今ノ三分ノ一四分ノ一ト云フコトニ對シテ、三分ノ一ヲ五分ノ一ニシテ貫ヒタイト云

フ説ガ出テ居ル、是ハ三分ノ一ト云フノハ何カ標準ガアツテ定マツテ居ルコト、思フガ、三分ノ一以外ニ四分ノ一トカ五分ノ一ト云フ例外ハ今迄アツタノデアリマスカ、サウシテ此ノ三分ノ一、四分ノ一ト云フノハドウ云フ標準ガ認メタノデアルカ、若シ伺フコトガ出來タラ伺ヒタイ

○土岐計畫課長 別ニ三分ノ一、四分ノ一ト云フ事ニ付キマシテハ深い根據ハ無いノデアリマシテ、大體達觀的ノモノデアリマスガ、今迄ノ例デハ、東京市横濱市大阪市京都市ニ於キマシテハ、新設ハ三分ノ一、擴張ハ四分ノ一ニナツテ居リマス、東京府デハ達觀的ニ從來ノ例ヲ採リマシテ、其ノ位ガ適當デナイカト云フヤウナ意味デ事業費ノ何分ノ一ト云フ事ヲ定メタノデアリマス

○鈴木委員 二三御伺ヒシタイト思ヒマスガ、五條ノ四項デスガ、道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ云々トアリマスガ、是ハ實際ノ取扱カラ言ツテ道路ノ幅員ヲ平均シテ舊道路ヲ測ルコトハ困難ナル場合ガアルノデハナイカト思フ、殊ニ舊道路ガ彎曲シテ居ツテソレヲ擴張シタ場合ニハ平均幅員ヲ取ルコトハ困難デアルト思フ、舊道路ノ面積ト擴張道路ノ面積トヲ比較スルト云フヤウナ他ノ方法ニ依ラレル方ガ算定上便宜デナイカト思ヒマスガ

……

○土岐計畫課長 實際ノ扱ヒハ、總面積ヲ延長デ割ツテ、ソレヲ平均幅員トシテ計算シテ居リマス

○鈴木委員 イマーツ伺ヒタイノハ、六條ノ一項デスガ、前ノ規定デハ事業著手ノ日ノ現在ノ受益者

ヨリ納付セシムルト云フコトニナツテ居リマシテ、負擔金ヲ負擔スル義務者ハ事業著手ノ當時ノ土地所有者若クハ之ニ準ズル者ト云フコトニナツテ、ハツキリシテ居リマスルガ、今度ハ「別ニ定ム期日ニ於ケル現在ノ受益者」ト云フノデ、七年間十四回ニ納メル其ノ都度期日ヲ定メテ、其ノ時ノ受益者、斯ウ云フ風ニナルノデアリマスガ、サウシマスルト例ヘバ郊外ニ道路ガ新ラシク出來タ、或ハ擴張サレタト云フ場合ニハ必ず沿道ノ土地ガ非常ニ値上リヲスルコトニナリマシテ、殊ニ七年間ト云フヤウナ長イ期間デアルト、事業ハ一年若クハ二年ニ、其ノ部分ニ付テハ出來上ツテシマフダラウト思ヒマスガ、サウスルト道ハスツカリ綺麗ニナツテ交通ガ頻繁ニナツテ、全部出來上ラヌ前カラ土地ノ値ハ上ルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ、轉賣ガ頻繁ニ行ハレル事業著手ノ當時ノ所有者ハ手離スヤウニ努メル人ガアリハシナイカト思フ、轉賣スル場合ニハ出來上ルコトヲ見込ンデ坪當リ二十圓三十圓ハ直グ値上リガスル、サウ云フ利益ハ第一回ノ所有者ガ收メテシマツテ、後ノ人モ實際上ノ利益ヲ現實ニ享有ハシマスケレドモ、受益ノ大部分ハ第一回ノ所有者ガ取ツテシマフト云フヤウナコトニナツテ、後ノ者ハ非常ニ割ガ悪イト云フヤウナコトニナリハシナイカ、殊ニ受益者負擔ガ十四回ニ分割シテ其ノ時現在ノ受益者ニ準ズル者カラ取ルコトニナレバ、事業著手ノ日ノ受益者ハ賣ツテ儲ケテシマフコトニナル、一回拂フカ或、ハ一回モ拂ハナイデ儲ケテ賣ツテシマフ後ヲ買受ケタ者トノ間ニ、ソコニ負擔ノ權衡ヲ失スル結果ヲ來タスノデハナイカト云フヤウナ疑

ヲ持ツテ居リマスルガ、是ハ前ノ規定ノヤウニ、事業著手ノ日ノ現在デ負擔義務ヲ生ズルト言ツタヤウナ、唯分納ヲ七年ニスルカ十四回ニスルカ負擔シ易イヤウニシナケレバナラヌト思フガ、詰リ六條ノ一項デ言ヘバ、但書ト本文原則ト例外ヲアベコベニスルト云フヤウナ立テ方ニ行ク方ガ宜イノデハナイカト云フ風ニ思フノデアリマスガ、ドウデセウ

○土岐計畫課長 先程御説明申上ゲマシタヤウニ、實際事業著手ノ日ノ現在ノ受益者カラ取ルコトニナリマスルト、東京府デ經驗シタコトデアリマスルガ、事業著手ノ日ノ受益者タル一定ノ人ニ賦課スルト云フ關係ニナリマスルト、實際土地ノ所有權モナク、又借地權モナク賣拂ツテ何處ヘ行ツテシマツタカ分ラナイト云フヤウナ者ニ對シテ賦課シナケレバナラヌ、斯ウ云フ關係ニナリマスカラ實際ノ賦課上カラ言ヒマスルト、非常ニ困ルヤウニナツテ居ル、併シ賦課スベキ日ノ現在ノ受益者カラ納付セシムト云フコトニナレバ、御説ノヤウニ初メノ土地所有者ガ、一回位納メルカ納メナイ間ニ其ノ土地ヲ賣拂ツテシマフ、後ヲ讓受ケタ者ハ受益者負擔ガ掛ツテ思ハザル損失ヲ受ケルト云フヤウナ場合モ、其ノ規定ヲ置イタ初メノ頃ニ於テハ相當アラウカトモ思ヒマスケレドモ併シ實際土地ノ賣買ヲスル上ニ於キマシテ、マダ幾箇年カ受益者負擔ガ掛ルト云フ事ガ分明シマスレバ、實際其ノ土地ノ値段ガ、矢張受益者負擔金ヲ差引イタ程度ニ於テ賣買價格ガ定マルモノデアリマシテ實際ヲ知ラヌ者ハ不測ノ損失ヲ受ケマスケレドモ、ドウモソレハ已ムヲ得ナイコト、シテ、實際

徵收上便宜ノ方法ニ依ル方ガ宜イノデハナイカ、今ノ東京市ノ受益者負擔モサウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマシテ、實際東京府ノ經驗ニ照ラシテ見マシテ、斯ウ云フ風ニ其ノ時ノ現在ノ受益者カラ納付セシムルト云フコトニ吾々ノ方ノ考ハ定マツテ案ヲ立テ次第デアリマス

○鈴木委員 其ノ土地ノ改良ト云ヒマスルカ、道路ガ出來タ爲ニ、利益ガ人ニ行クカ、土地ニ行クカ要スルニ土地ノ利用ガ改良サレタノデアルト云フ意味カラ言ヘバ、ソレデ構ハナイト云フ議論モ出テ來ルカト思ヒマスガ、實際ノ狀況カラ言ヒマスルト、今説明ノ途中ニ御述ベニナツタヤウニ後カラ損害ヲ受クルト云フコトハ周知サヘスレバ、サウ云フ事ハ無クナラウト思ヒマスガ、負擔ノ公平カラ言ヘバ、假ニ道路ガ附イタ爲ニ二十圓値上リガスルモノトスレバ第一回ノ所有者ハ二十圓上ルモノトシテ、賣買ヲヤルト思フ、サウシテ將來ノ受益者負擔ダケハ引キマセウト云フコトニナル、假ニ二十圓ノ値上リトシテ十四圓ノ受益者負擔トスルト、其ノ中一回ヲ拂ツタカラ十三圓引キマセウト言ツテ十三圓引イテ七圓ノ利益ハ全部初メノ所有者ガ取ツテシマフ、後ノ人ハ滓ダケ貰フト云フコトニナリ勝チデナイカト思フ、初メノ所有者ハ、全部取ツテシマフ譯ニハイカヌカ知ラヌガ差當リノ利益ハ全部取ツテシマフコトニナルノデハナイカト思フ、吾々ノ考デハ是ハ人的負擔ニスベキモノデナイカト云フコトヲ固ク信ジテ居リマスルガ、殊ニ郊外ノ土地ナドデハ、斯ウ云フ事由ガアルト直グ轉賣シヨウトスル殊ニ七年間ハ道路ハ出來テシマツテ交通シテ居ルカラ、第一回ノ所有者

ダケハ非常ニ得ヲスル後ノ者ハ何モ儲ケナイ、サウシテ取ラレルモノハ取ラレルコトニナル

○土岐計畫課長 其ノ點ハ事業著手ノ日ノ現在ト云フコトデモ其ノ路線ガ決定スレバ、事業著手前ニ賣買スレバ幾ラカハソレト同ジヤウナ關係ガ生ズルノデハナイデセウカ、ソレカラ此省令ノ二十八號ヲ置イタ時分ハ七箇年ニ分納スルノデナクシテ、一年カ二年ナリノ間ニ納付スルト云フ關係カラヤツタコトデアリマスガ、實際ノ施行ノ結果ハ一年ニ直グ納メサスト云フコトハ出來ナイノデ、斯ウ云フヤウニ七箇年ト云フコトニシナケレバラナヌヤウナ事情ニナツタノデアリマス

○鈴木委員 八條ノ五號デ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償デ國、公共團體ノ所有地ニ編入シタ人ダケノ規定ニナツテ居リマスガ、折角斯ウ云フ規定ガアルトスレバ、町村ノ意見ノ方ニモ何カ——一寸狙ヒ所ガ違フカ知レマセヌガ、日暮里志村ノ町村長カラ整理事業完成後ノ面積ニ依ツテ受益者負擔ヲ定メテ吳レト言ツテ居リマスルガ、是ト私ノ言フノトハ違ヒマスケレドモ、區劃整理施行中、將來ハ道路ニ堤供スルノダト云フ豫定デ以テ區劃整理ヲ施行シテ居ルヤウナ土地モ出テ來ルノデハナイカト思ヒマス、強チ所有地ニ編入マデセンデモ、供用シテアレバ、ソレヲ何カ確メル方法ガアレバ敷地ヲ供用シタ時ニ又減免シテモ宜イノデハナイカト云フ風ナ感じモシマスガ、ソレハ如何デセウ

○土岐計畫課長 只今ノ點ハ事業執行者ノ關係ニハナラウト思ヒマスガ、所有權ガ確定シテ居ラナイト、實際問題トシテハ其ノ關係ノ爲ニ不確定ノ状態ニ於テ面倒ヲ惹起スト云フヤウナ虞レガアル

ノデハナイカト思フノデアリマス、ケレドモ此規定トシテハ極ク正確ニナルヤウニヤツタノデアリマス、實際ノ事業執行者ノ關係ヲ良ク考察シテ見ナケレバ分リマセヌ、ケレドモサウ云フヤウナ意味カラ、所有權ノ確定シテカラ賦課スル方ガ手續ナリカラ言フト、先ヅ面倒ガ無クテ且ツ安心デナイカト云フヤウナ風ニ考ヘラレマス

○鈴木委員 區劃整理ノ換地處分ガ濟ンデシマハナケレバ所有權ノ移轉ガ起ラナイト云フヤウナコトニナツテ、東京府下ニハ大分大キナ澤山ノ土地區劃整理ガ起ツタノデアリマシテ、該當スル地區ハ非常ニ多イダラウト思ヒマスガ是ハ土地區劃整理組合ナリ何ナリ公的團體ガ中々多イノデアリマスカラ、相當供用シタト云フ事ヲ確實ニ確メル方法ハ幾ラモアルノデハナイカト思フノデアリマスガ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 先程前田サンカラノ御質問ハ、是ハ東京市ノ方ノ關係ノ問題デ、東京市ノ方ノ規定ニ依ルト第八條ノ増課ノ規定ガアルノデアリマスガ、之ニハ増課ト云フ趣旨ノ規定ガ無いノデアリマスガ、何カ方針カ主義カヲ御變ヘニナツタノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、東京市ノ方ニハ「土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ増課スルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、ソレヲ御抜キニナツタノハ、何カ根本的ニ是ハ間違デアルトカ、或ハ事實サウ云フ事ガ無いカラト云フヤウナ所カラ、カドウ云フ意

味デアリマセウカ

○土岐計畫課長 ソレハ實際郡部ノ状態カラ見マスルト、理論ハ東京市ノ方ノ規定ノ方ガ宜カラウト思フノデアリマスガ、實際ノ適用ノ範圍カラ申シマスルト、之ニ依ツテ受クル利益ハ僅少デアリマシテ之ニ該當スル場合ハ非常ニ少ナカラウト思フノデアリマス、殊ニ第一期ノ環狀線放射線ノ受益者規定此ノ増課ノ規定無クシテ施行シテ居ル關係モアリマス、此ノ際此ノ規定ヲ設ケルト云フコトハ、ソレダケノ實際ノ效用モ少ナク且ツ従前ノ規定トノ關係モアリマスノデ、郡部ニ於テハ此ノ規定ヲ入レナイ、市内ダケニ置クト云フヤウナ意味デアリマス、特ニ此ノ規定其ノモノノ主義ガ惡イト云フヤウナ意味デアリマセヌ

○堀切市長代理廣瀬東京市助役 尙ホ其ノ問題ニ付テ申上ゲマスガ、サウ致シマスルト、東京市ノ方ノ規定ハ理論的ニハ正シイガ、郡部ノ方ハ事實斯ウ云フ問題ガ無イカラ、實際問題カラ必要ガ無イカラト云フ點ト、モウ一ツハ前ノ東京府ノ規定ニ無カツタカラト云フ風ニ伺ツタノデアリマスガ、東京市ガ此ノ規定ヲ入レルニ付テ、復興局デ御審議ニナリ、尙ホ都市計畫委員會ニ於テ此ノ東京市ニ關係ノ増課ノ規定ヲ御決定ニナツタト云フコトハ、受益者負擔ノ規定制定ノ沿革上カラ見テ非常ニ進歩シタモノデアルト思ヒマスガ、斯ウ云フ進歩ノ規定ガ今回ノ規定ニ無イノハ非常ニ遺憾ナヤウナ感じガシマス土地利用ノ狀況ト云フコトニ付キマシテハ、郡部デハ相當増課シテモ宜イノデハナイカ、先程前田サンカラ仰ツシヤツタヤウナ意味ガ非常ニ良イノデハナイカ、斯ウ云フ進歩的規定ヲ今回除カレタト云フ事ニ付テハ、是ハ非常ナ理由ガ無イトイケナイト思ヒマスガ、是ハ私ノ意見デアリマスガ申上ゲテ置キマス

○牛塚委員代理來島東京府土木部長 私ノハ質問ト云フ譯デアリマセヌガ、先程鈴木委員ヨリ第六條ノ現在ノ受益者ト云フコトニ付テ色々御話モアリマシタガ、市トシテ執行致シマスニ付テ困ツテ居ツタ點ダケヲ一寸申上ゲマス之ヲ事業著手ノ日ノ受益者ト致シマスルト、其時ニ於テ或ハ公共用地デアツテ、受益者デナカツタモノガ、民地ニナル場合ニハソレカラ取レナイ、又ソレガ民地デアツテモ、ソレヲ道路敷トカ學校敷地トカサウ云フ公共用地ニ賣拂ツテモ、尙ホ其ノ著手ノ日ノ現在ノ受益者カラ取ラナケレバナラヌト云フノデ、非常ニ困ツテ居ル、サウ云フヤウナ色々不便ガアルノデ、結局斯ウ云フヤウニ、變更シタナラバ今迄民地デアツタモノガ、公共用地ニナレバ取ラヌト云フコトニナレバ非常ニヤリヨクナリマスシ、又適當デナイカト云フヤウナ、執行上ノ事ヲ考ヘテ斯ウ云フ風ニ改正ヲ御願ヒシタ譯デアリマス、一寸御參考ニ申上ゲマス

○渡邊委員 現在ノ物權者カラ取ルト云フ場合ニ、負擔ガクツ付イテ居ルト云フ事ヲ知ラズニ買ツタトスルト氣ノ毒デアル、抵當權ナレバ登記ヲスルガ、是ハ登記ト云フコトハ出來ナイガ、何カ買受人ニ周知セシムル方法ハアリマセヌカ、直接ノ問題デアリマセヌガ……

○武部復興局書記官 特別ノ周知方法ハ、此ノ規定ガ出ル以外ニハ無イヤウデアリマス
○渡邊委員 知ラナケレバ馬鹿ヲ見ルノデアリマスナ

○武部復興局書記官 是ハ初メノ人ニ負擔金ヲ掛ケル、サウシテ其ノ人ハ賣拂ツテシマフサウスルト一寸後デ差押スル品物ガ無クナルノデ、全ク取レナクナル、是ハ少シ得手勝手ノ議論カ知レマセヌガ、サウ云フ事モ吾々トシテハ考慮ニ置カナケレバナラヌト思ヒマス

○渡邊委員 参考ニ承ツテ見タイノデアリマスガ、此ノ事業ニ關スル概算ノ數字ヲ書イタモノヲ戴イテ居リマスガ、第一期事業ガ五千九百萬圓、是ガ現在施行サレテ居ル總金額、ソレガ事業ニナツテ執行ニ著手シテ居ラレル、少クトモ事業計畫ノ定マツテ居ルモノ、若シ分レバ最近數年ノ間ニ受益者負擔金トシテ掛カル金額、毎年ドノ位掛カルカ、ソレハ三分ノ一ト云フ五條ノ規定ガアツテモ三分ノ一以下ニナルト思ヒマスカラ、唯金額ダケヲ参考ノ爲ニ伺ツテ置キタイ

○土岐計畫課長 今迄環狀線放射線ノ第一期デ、受益者負擔トシテヤリマシタ実績デアリマスガ、場所ガ色々ニナツテ居リマシテ、場所ニ依ツテ違フノデ例ヘバ品川カラ五反田ニ至ルアノ路線デ申シマスルト、事業費ノ總額ハ七十九萬餘圓デス

○渡邊委員 私ノ意味ハ五千九百萬圓トアル其ノ中何千萬圓著手シテ居ルノカ、例ヘバ四千萬圓ナラ四千萬圓其中受益者負擔金トシテ幾ラ現在掛ケツ、アル、或ハコノ數年ノ間ニ幾ラ掛カル、サウ云フ

風ナ事ヲ承リタイ

○土岐計畫課長 今受益者負擔ヲ掛ケテ居リマス關係ノ事業ハ第一期事業ノ中デ千二百萬圓、負擔金ノ三分ノ一トカ四分ノ一ノ割合デ行キマスルト三百七十七萬圓ニナル、ソレニ對シテ實際受益者負擔トシテ決定シマシタモノガ三百三萬圓、一寸二割五分位ノ割ニナツテ居リマス

○渡邊委員 第二期ノ方ハマデアリマセヌカ

○土岐計畫課長 マデアリマセヌ

○渡邊委員 一年ノ負擔額ハドノ位ニナリマセウカ、三百七十七萬圓ト云フノハ何年位ニ納メルノデアリマスカ、ソレト租稅負擔トノ關係ヲ比較シタイト思フノデアリマスガ——イヤ、アトハ私ノ方デ調べテ見マス

○菅原委員長 御質問ハアリマセヌカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此ノ附則ノ規定ヲ御説明ヲ願ヒタイ殊ニ此ノ「本令施行前ニ賦課シタル負擔金ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ受益者ニ關シテハ第六條第二項及第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲス」是ハ説明ヲ承ツタラ能ク分ルト思ヒマスガ、既ニ三百何萬圓ヲ前ノ規程ニ依ツテ掛ケテ居ル、其ノ後六條ニ依ツテ受益者ノ變ハツタ場合ニハドウスルノデアルト云フ取扱ヲ一寸伺ヒタイ

○土岐計畫課長 第六條ノ二項ハ、事業著手後ニ於テ所有權ニ類スル權利ガ設定セラレタル場合デア
 リマスガ、此ノ場合デハ従前ノ規程デハ受益者負擔ヲ課スルコトガ出來ナイ關係ニアツタノデアリ
 マス、是ガ本令施行後ニ於テハ、事業著手後斯ウ云フヤウナ受益者ニ對シテ本令ヲ施行シテ受益者
 負擔ヲ課スルサウ云フ意味デス

○菅原委員長 何カ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ御意見ヲ伺ヒマス、若シ修正ノ御意見デモアリ
 マスレバ伺ヒマス

○前田委員 先刻廣瀨サンノ御話ノ市ノ規程ノ土地利用ノ狀況ニ依リ又ハ建物ノ階層ニ依リ五割以内
 ヲ増課スルコトヲ得ト云フ規定ハ、建物ノ階層ノ點カラ言ヘバ郡部ノ方ニハサウ云フ規定ノ必要ガ
 無イカ知レヌガ、土地ノ利用ノ狀況ト云フ事ハ、先刻私ノ申上ゲタ點ニモ觸レテ居リマスノデ、伸縮
 性ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、併シ實際ノ狀況ニ於テ郊外ノ道路ヲヤル場合ヲ此ノ適用ノ場
 合ガ無イト致シマシテモ、市ノ規定ハ「五割以内ヲ増課スルコトヲ得」デアリマスカラ適用ノ必要ガ
 無ケレバ其儘デ宜イノデアリマスガ、是ハ新ラシク出來ルノデアリマシテ、他ノ地方ノ受益者負擔
 規程ノ模範トモナルノデアリマスカラ、折角斯ウ云フ伸縮性ヲ與ヘル規定ガ市ノ方ニアルトスレバ、
 郡部ノ方ニ於テ其ノ適用ハ僅カデアリマシテモ、御設ケニナツテモ差支ナイト思フノデアリマスガ
 ソレトモ之ヲ設ケルニ付テ強イ御反對デモアリマスカ、若シ強イ反對ガ無ケレバ、斯ウ云フ規定ヲ

入レルコトヲ希望シタイ

○渡邊委員 市ノ八條ヲ入レルト、三分ノ一ト云フモノハ押ヘテ居ルカラソレニハ變更ガナイ、ソレ
 ハ變更ガナイカラ他ノ方ノ負擔ガ減ル譯デスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 三分一ハ其ノ儘デアリマシテモ、總收入ハ三分ノ一ヲ基本トシタ場
 合ヨリ餘計上ツテ來ル譯デス

○渡邊委員 場合ニ依ツテハ此ノ通り行ツテモ免租地ガ少ナケレバ三分ノ一ヨリ上ルノデス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 上ツテモ宜イデセウ

○渡邊委員 市ノ八條ノ規定デヤツタ場合ニハ三分ノ一ヲ突破シ得ルカドウカラハツキリシテ置カナ
 ケレバナラス

○武部復興局書記官 市ノ規定ハ、元ノ金額ハ三分ノ一ノ場合モ四分ノ一ノ場合モアル、ソレニ依ツ
 テ金額ガ出テ來マスカラ、其ノ上ニ増課ガ出來タラ無租地ガ少シモ無ケレバ、其ノ上ニ上ルノデア
 リマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 サウ云フ風ナ解釋ニナツテ居リマス

○渡邊委員 田舎ニ於テ兩側ニ建物ノ建ツヤウナ道路デアレバ宜イガ、兩側ガ田圃デ家ガ無イト云フ
 ヤウナ場合ニハ、寧ロ三分ノ一ハ重過ギテ四分ノ一トカ五分ノ一ニシテヤリタイ云トフヤウナ氣持

ガ實際上起ルコトハアリマセヌカ

○前田委員 都市計畫區域内ニ於テ道路ヲ新設スルヤウナ場合ニハサウ云フ事ハ起リ得ナイト思フ

○渡邊委員 サウハ言ヘナイデセウ

○土岐計畫課長 市ノ第八條ノ土地利用ノ狀況ト云フノハ、サウ云フ郊外ノ分ノ比較的市ノ中心カラ遠イ所ニ増課スルト云フ御趣旨デアリマセウカ

○前田委員 尤モソレハ顯著ナ場合デナイト、斯ウ云フ規定ガアルカラト言ツテ一ツ地帯ノ全體ニヤルコトハ難カシイ、顯著ナ場合ニハ斯ウ云フ規定ガアルト云フコトハ伸縮性ヲ與ヘルコトニナル

○菅原委員長 サウスルト歳入ノ方カラ言フト、三分ノ一ハ負擔金三分ノ二ハ何ト計畫ガ出來テ居ル其ノ以上ニ收入ガ殖エテ來ルコトニナリマセウ

○前田委員 三分ノ一ハドウシテモ取レナイ、無租地ガアルカラ——土地利用ノ狀況如何ト云フコトノ解釋ニ依ルノデアリマスガ、市ノ場合ハ特殊ノ業ヲ營ンデ居ルトカ色々アルヤウデアリマスガ、併シ土地利用ノ狀況ト云フ事ノ解釋ニ依ツテハ、田圃ノ所ニ道路ガ出來タ、其ノ爲ニマルデ様子ガ變ハツテシマツタト云フヤウナ場合ニ、利用ノ狀況云々ノ解釋デイカナイノデアリマセウカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此ノ規程ハ大體ニ於テ東京市ノ規程ト聯絡ヲ取ツテ居ツテ結構デアリマスガ、唯此ノ點ガ拔ケテ居ルカラ遺憾ニ思フノデアリマスガ……

○渡邊委員 五割以内ヲ、三割以内ヲ増減スルコトヲ得ト規定シタラドウデス

○朝倉委員 私共ハ郡部ノ方ニ關係ノモノデアリマスガ、私ハ只今ノ御意見等ヲ承リマシテ、必ズシモ反對ヲ申上ゲルノデアリマセヌガ、モウ少シ研究シテ見タイト思ヒマス、併シ只今ノ點ニ付テハ、御説明ヲ承リマスルト、結局ハ郡部ニサウ云フヤウナ事ガ起ルト云フ場合ニ於テノ負擔ガ重クナル譯デアリマス、私共郡部ハ、總テヲ市ヨリ寛大ニシテ戴カナイト市ニ接近シテ居ル所ト端ノ分トハ大變違フノデ、今端ノ方ニ大道路ヲ造ツテ下サツテモ、成程交通ハ良クナリマセウガ、其道路ノ沿道ノ者ガ必ズソレダケ受益者負擔ヲスルダケニ良クナラウカ、直チニソレヲ負擔シロト云フコトニナルト是ハ非常ニ困難デナイカト思フ、併シ道路ハ只今ノ原則トシテハ、市ニ接近シタ方カラ漸次改修ニ著手サレテ居ルノデアリマスガ、是ガ若シ市ノ反對ノ方カラデモ——新ラシイ學說カラ、東京市ニ接近シナイ方カラヤル方ガ經濟的デナイカト云フ議論サヘアル、若シサウ云フコトニデモナツテ來ルト、其ノ負擔ト云フコトニ付テモ困難ヲ感ジヤシナイカトモ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ナ關係モアリマスシ、シマスルカラ、今差當リ必要ヲ感ジテ居ラレルト云フコトデナイナラバ、ソレハ暫ク宿題トシテモウ少シ研究サシテ戴キタイ、サウシテ私共研究ノ上デ、是ハ全ク必要デアルト云フコトヲ見出シマシタナラバ、私共モ之ニ對シテ彼是レ異議ヲ申ス次第デハアリマセヌガ、今日之ヲ御決定ニナルト云フ事ダケハ保留シテ戴キタイ

○渡邊委員 矢張今ノ問題デスガ、品川町長目黒町長カラ出テ居ル希望意見ノ中ニモ、事業著手後直グ拂フト云フコトデナクシテ、事業完成後受益者負擔金ヲ納ムルヤウナ手續ニシテ吳レト云フコトデ、是モ一理アルコトデアラウト思ヒマス、ソレハ矢張事業ガ出來レバ漸次收入ヲ得ラレルコトニナルカラ、納メ易イケレドモ、中々道路ヲ附ケテ貫ツテモ急ニ實質的利益ガアル譯デハナイカラト云フ趣旨デアルト思フ、斯ウ云フ關係ハ郡部ニアルダラウト思ヒマス、東京市内ニ於テモ色々苦情ヲ聞クノデ具體的ニ研究シテ見ルト氣ノ毒ナノガ、隨分アル、サウ云フ譯デアリマスカラ、五條ノ三分ノ一ヲ他ノ例外規定デ重クスルヤウナ氣分ノ出ル場合ニハソレダケ本當ニ利益ヲ受クル者ガアルト云フ事ヲ考ヘル場合ニハ減免規定ハアルケレドモ、矢張此ノ五條ノ三分ノ一ヲ四分ノ一ニシテ宜イノデハナイカト云フ風ナ、サウ云フ事ヲ考ヘル必要ガアルノデハナイカ、一般的ニ受益者負擔ノ總額ヲ輕クスル、個々ノ減免規定ハ別ニシテ、サウ云フ氣持ガスル場合デアリマスカラ、私ハ矢張市ノ方デ増課ノ規定ヲ設ケテアルケレドモ、府ノ方ノ場合ニ於テハ此ノ儘デ宜イヤウナ氣持ガスルノデス

○前田委員 理事者ノ方デ非常ニ御困リデアレバ、其ノ以外ノ方ニモ反對ガアルノデアリマスカラ、私ハ固執シテ争フ程デアリマセヌカラ撤回致シマス

○鈴木委員 先程質問致シマシタ八條ノ五號ノ問題デアリマスガ、是ハ私ノ意見ト致シマシテハ、土

地區劃整理施行者ノ立場カラ言ヘバ、廣ク供用シタ土地ハ轉換シテモセンデモ之ニ該當スルコトニシテ戴キタイ、私共ノ關係シテ居ル範圍デモ、所有權ノコトヲ謳ツタ規定ヲ作ツタノデアリマスガ段々要求ガアリマシテ、土地區劃整理施行關係ノ土地ハ困ルト云フノデ、廣ク供用ト云フコトニ改正ヲ加ヘタノデアリマス、サウ云フ次第デ、此ノ席ニハ土地區劃整理ノ關係ノ方モ御居デデアリマスガ、私トシテ修正意見ヲ提出スルマデノ意見ハアリマセヌガ、ソレダケヲ申上ゲテ置キマスソレカラ第六條ノ一項ノ事業著手ノ日ノ現在ノ受益者ノ問題デアリマスルガ、是モ私ダケノ考ト致シマシテハ、受益者負擔ト云フモノハ飽マガ人的負擔デ行クベキモノガアツテ、物的負擔デ行クベキモノデナイト云フ理論的ノ考ヲ持ツテ居リマスシ、又實際問題トシテモ二回以後ノ土地所有者ノ負擔能力ト、第一回ノ土地所有者ノ負擔能力ト比例ヲ缺クノデ、負擔能力ニ比例シテ受益者負擔金ヲ掛ケル精神カラ言ヘバ、事實上ノ負擔關係ガ不公平ニナルモウ一ツハ土地讓受人ガ、土地負擔金ノ附イテ居ルノヲ知ラズシテ、不測ノ損害ヲ被ムルコトハ事實アルコト、思フノデアリマシテ、先刻他ノ委員カラ公有地ガ私有地ニナリ、私有地ガ公有地ニナルト云フヤウナコトガアツテ困ルト云フヤウナ御説モアリマシタガ、是ハ極メテ例外的ノ少ナイ場合デアラウト思フノデアリマシテ、此ノ受益者負擔金ガ缺損ヲ生ズルト云フコトハ他ノ事情ニ依リマシテモ、缺損ヲ生ズルノデアリマス、サウ云フ點ハ根本ヲ動カス問題ニナラヌト思ヒマスシ、又理事者ノ方カラ御説明モアリマシタ、所有

者ノミニ限定スルコトニナルト讓渡シテシマツテ、差押ニ困ルト云フヤウナ場合ハ、是ハ極メテ稀有ノ場合デアラウト思フノデアリマシテ、是モ亦根本原則ヲ動カスニ足ラヌト思フノデアリマス、併シ尙ホ能ク熟覽シテ見マスルト、市ノ規程ヲ見マシテモ、矢張物的負擔ト云フヤウナ精神デ成ツテ居リマスルシ、又先程此ノ事業ヲ執行サレル當局者ノ方カラノ御説明デモ、原案通りデ宜シイ、困ルカラ却テ此ノ方ガ宜シイト云フ御説明モアツタ次第デアリマスカラ、私トシテハ強イテ此ノ場合此ノ問題ニ付テ之ヲ修正シヨウト云フ考ハゴザイマセヌ、唯私トシテハ、將來ニ向ツテ、今ノ二點ノ意見ヲ保留シテ置キタイ、斯ウ考ヘマスノデ申上ゲタ譯デアリマス

○内田委員 私ハ鈴木サンノ御意見ガ、此ノ八條ノ五號ニ對シテアリマシタノデ、ソレニ付テ賛成ヲ致シテ居ルモノデアリマス、唯此處ニ所有地ニ編入スルト云フ文字ガ供用ノ場合デモ實際ハ御認メニナルカドウカ、編入ト云フコトニシテ置カナケレバ手續上困ル、併ナガラ供用ノ場合デモ御認メニナツテ事實ハ御扱ヒニナルカドウカヲ御伺ヒシテドウシテモ編入デナイト文字ハ使ヘヌト云フコトデアレバ已ムヲ得マセヌガ、サモナイ以上ハ供用ノ場合ニハ實際減免ノ出來ルヤウナコトニ願ヒタイ、斯ウ存ジテ居ルノデアリマス、何故ナレバ、日暮里、志村ノ兩町村長ヨリ出テ居ル所此ノ受益者負擔金ニ於テモ、區劃整理施行以前ノ從前ノ土地ヲ以テ若シ之ヲ徵收サレルト云フヤウナコトナリマスルト、必ズ其ノ都市計畫路線ノ沿道ノ從前ノ土地ガソコニ換地ヲ受ケ得ラル、ヤ、但シハ又

受益者負擔區域外ニ換地ガ幾分行カナケレバナラヌコトニナルヤ、ソレ等ノ點ニ付テモ不都合ナ事ガ後日起リハシナイカト云フ事ヲ考ヘル場合ニ於テハ、此ノ供用ノ場合ヲ御認メニナルコトヲ望ミマスケレドモ、サモナイ場合ニハドウシテモ從前ノ土地ニ於テ受益者負擔ヲ掛ケル、施行後ニ於テ換地スル、又受益者負擔區域外ニモ行クト云フヤウナコトガアツテ所有者ガ變ハルト云フヤウナ事ガ整理中ニ起ルトスレバ、洵ニ負擔ノ上ニ不均衡ナモノガ生ジハシナイカ、ドウシテモ換地ノ上實際ノ上ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシハシナイカト云フ事ヲ考ヘルノデアリマスカラ、供用ニ之ヲ御變ヘ下サツタナラバ、宜イト思フノデアリマスカラ、鈴木サンノ八條五號ノ御意見ニ付テハ同意ヲ致シテ居ルノデアリマス

○武部復興局書記官 他ノ府縣ノ例デモ供用トナツテ居ル例ガ多イノデアリマス、敢テ差支ナク施行シテ居ラレルノデアリマスケレドモ、私ノ方デ編入ト云フ風ニ書キマシタノハ、耕整理法ノ十一條ニ、耕地整理ヲヤツテ新ニ道路ガ出來ルトソレヲ國有地ニ編入スルト云フ規定ガアル、斯ウ云フヤウナ規定ガアルデアリマス、區劃整理ノ換地處分ノ濟ンダ後ニ新ニ出來タ道路ハ之ヲ國有地ニ編入サレル、隨ツテ供用ノ問題ハ、換地處分ノ起ル前ニ大體起ルト云フヤウナ場合ニ一番該當シハシナイカト思フノデアリマスガ、區劃整理ノ進行中換地處分ガマダナイ、其ノ間ニ受益者負擔規程デ受益者負擔ヲ掛ケルト云フ場合ニハ供用ノ場合ガ起ツテ來ルト思フ、コ、デ少シ難カシイ問題ガ起ル

ノハ、換地處分前ニ其ノ土地ヲ道路ニ供用シテ居ル譯デアリマス、ソレハ、換地處分ガ濟メバ今迄其處ニ居ツタノガ、他ノ方ニ移轉スルコトガアル、飛地ニ換地ヲ受ケル場合ガアル、サウ云フ場合ニハ、果シテ何處ヘ賦課シテ宜イノカ疑問ガアリマスノデ、是ハモウ少シ研究サシテ戴キタイト思ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此ノ次マデニ研究シテ戴イテハ如何デセウ

○菅原委員長 其ノ他色々御意見ノアツタ所ヲ研究シテ戴イテ此ノ次ニ決議スルコトニ致シマス

○前田委員 此ノ次ニ御決定ニナルナラバ、今撤回シマシタガ、私ノ申上ゲタ點モ御研究ヲ願ヒマス

○菅原委員長 今日ハ是デ止メマシテ、次ノ會議ニ質問ヲ續行シ、審議ヲスルコトニ致シマス、次回ノ日ハ幹事ノ方デ然ルベク取極メテ戴クコトニ致シマス

午後一時散會

道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業受益者負擔ノ件
第二回特別委員會議事速記録

昭和五年三月三日(月曜日)復興局ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 菅原通敬君

委員

從四位勳四等	渡邊鐵藏君
内務書記官	鈴木敬一君
東京市會議員	古島宮次郎君
東京府知事	牛塚虎太郎君
東京市長堀切善次郎君代理東京市助役	廣瀬久忠君
内務省地方局長	次田大三郎君